小樽市　デジタル技術活用
観光入込客数調査
分析結果（2026年4～6月編）

2026.10.27



Producing The Future™

Pacific Consultants

業務概要

全国インバウンド統計

デジタル技術活用観光入込客数調査（令和8年度）

【業務目的】

- 小樽市では、昭和35年度から観光入込客数調査を実施しているが、外国人の日帰り客数や観光客の移動等については把握していない。また、適時性・迅速性に欠け、調査協力施設等（観光地点）の確保が難しいといった課題がある。
- 外国人観光客が増加するなど小樽観光を取り巻く状況は変化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じ、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（日本人・外国人）の把握を目的とするほか、令和8年度上期から、従前より実施してきた観光入込客数の調査手法を人流データに切り替え、本格運用していくものである。

【調査対象地】

- 小樽市全域　　※市内エリア別の分析は、今年度は実施していない

【主に使用した人流データ】

- GPS人流データ「全国インバウンド統計」　　※日本人・外国人を同時に分析可能



© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

主に使用した人流データの概要

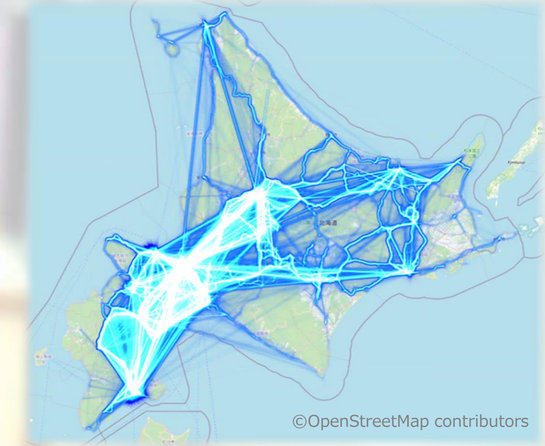
全国インバウンド統計

全国インバウンド統計

【網羅性】24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供



できること

インバウンド携帯端末のGPS位置情報　Powered by Azira™

メニュー	分析項目（※選択内容によりお見積りいたします。）
施設来訪分析	来訪人数 / 宿泊客数
エリア来訪分析	滞在時間 / 宿泊日数
広域周遊分析	居住国・自治体
	移動経路 / 交通手段

＋オプション　・性/年代　・拡大推計(居住国別)　・集客施策案、観光地経営戦略の検討

ユースケース

観 光

- 各観光地等への来訪状況の把握
- in-out空港や周遊ルートの把握
- 重点ターゲット・ペルソナの検討
- プロモーション検討、効果検証　等



交 通

- 二次交通検討・周遊ルート造成
- 多言語対応コンテンツによる誘客
- 道路整備効果検討の多角化
- 交通安全対策検討の強化

商業・不動産

- 商品仕入・テナント誘致の最適化
- ライバル施設等への来客分析
- 出店候補地への来訪客層把握
- 開発・不動産投資の重点検討

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

参考）分析ロジックの詳細について

全国インバウンド統計

項　目	内　容
「（日本人）観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。　※「観光入込客統計に関する共通基準（令和５年改訂版）」（以下「共通基準」という）の定義に基づく。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率（日本人・インバウンド）、人口統計（日本人）、出入国管理統計（インバウンド）により、国別の拡大推計を実施している（いずれも詳細は非公開）。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」こととしているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①人流データ「モバイル空間統計」（株式会社ドコモ・インサイトマーケティング）から、「中国人」と「台湾人＋香港人＋韓国人」の比率を算出。 ②全国インバウンド統計における「台湾人＋香港人＋韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」を補完。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/自動車/徒歩　とクルーズの4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

※「全国インバウンド統計」は、パシフィックコンサルタンツ株式会社の登録商標です。「モバイル空間統計」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

入込客数等

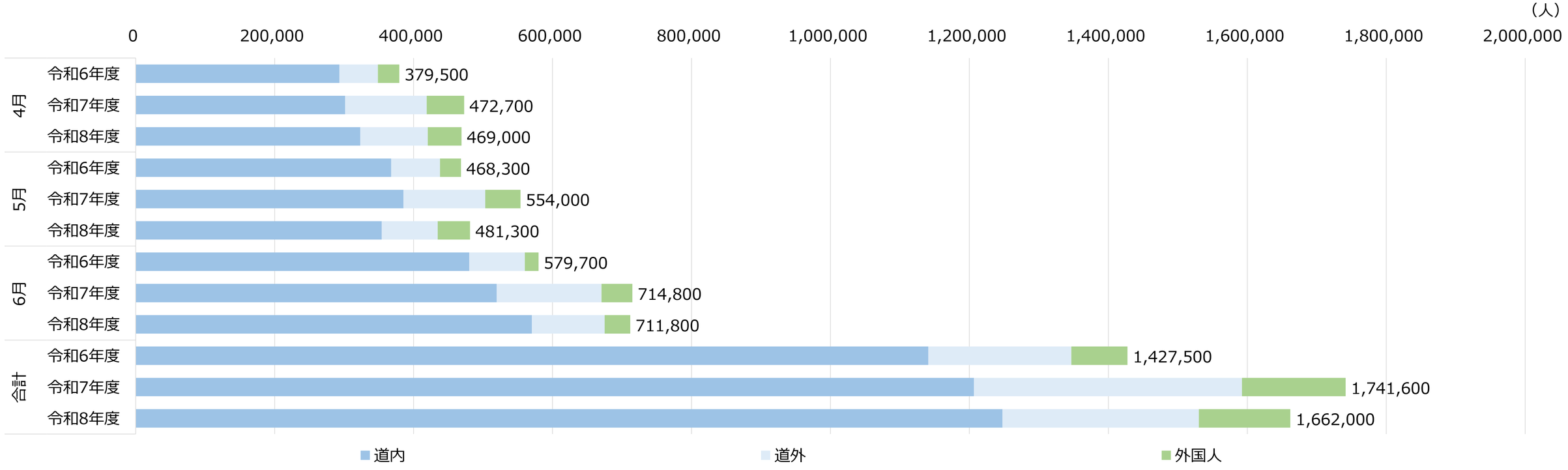
© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市の観光入込客数等
（令和6～8年度 4～6月の比較）

全国インバウンド統計

● 居住地別の入込客数

エリア	項目	4月			5月			6月			合計		
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小樽市全域	**観光入込客数**	379,500	472,700	469,000	468,300	554,000	481,300	579,700	714,800	711,800	1,427,500	1,741,600	1,662,000
小樽市全域	うち道内	293,200	301,500	323,200	367,600	385,500	354,300	480,100	519,600	570,200	1,140,900	1,206,600	1,247,700
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	86,300	171,300	145,800	100,700	168,400	127,000	99,700	195,300	141,600	286,600	534,900	414,300
小樽市全域	うち外国人	30,900	53,900	48,600	30,200	50,700	46,500	19,800	44,500	36,800	80,800	149,100	131,800



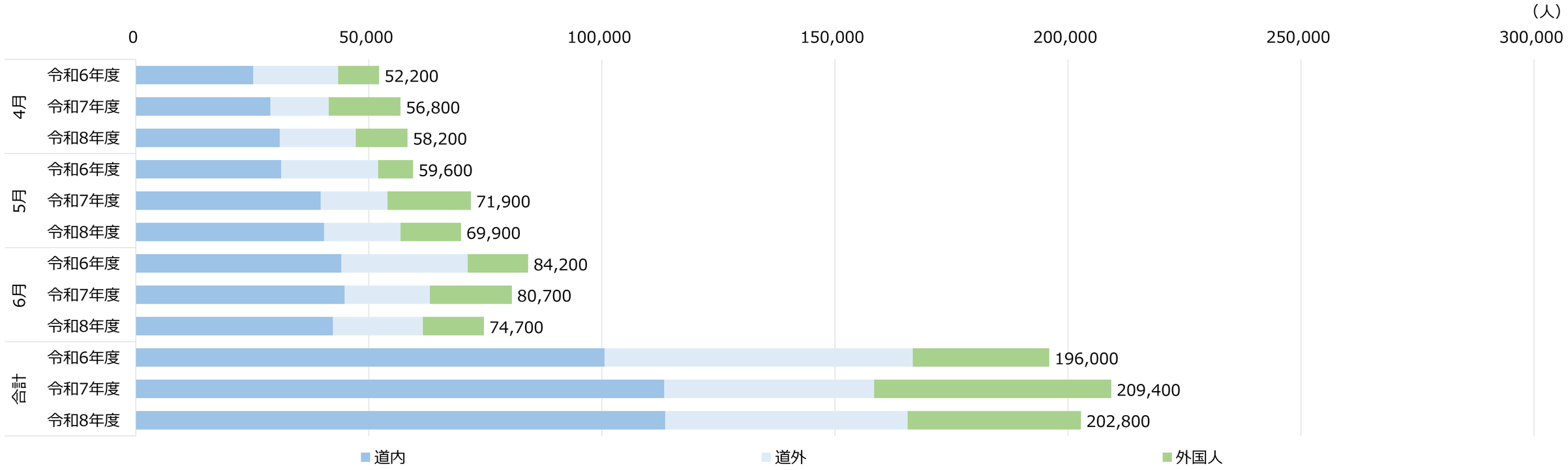
© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市の観光入込客数等
（令和6～8年度 4～6月の比較）

全国インバウンド統計

● 居住地別の宿泊客数

エリア	項目	4月			5月			6月			合計		
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小樽市全域	**宿泊客数**	52,200	56,800	58,200	59,600	71,900	69,900	84,200	80,700	74,700	196,000	209,400	202,800
小樽市全域	うち道内	25,200	28,900	30,900	31,200	39,700	40,400	44,100	44,800	42,300	100,600	113,400	113,600
小樽市全域	うち道外	18,200	12,500	16,300	20,800	14,300	16,400	27,100	18,300	19,300	66,100	45,000	52,000
小樽市全域	うち外国人	8,800	15,400	11,100	7,500	17,900	13,000	13,000	17,600	13,100	29,300	50,900	37,200



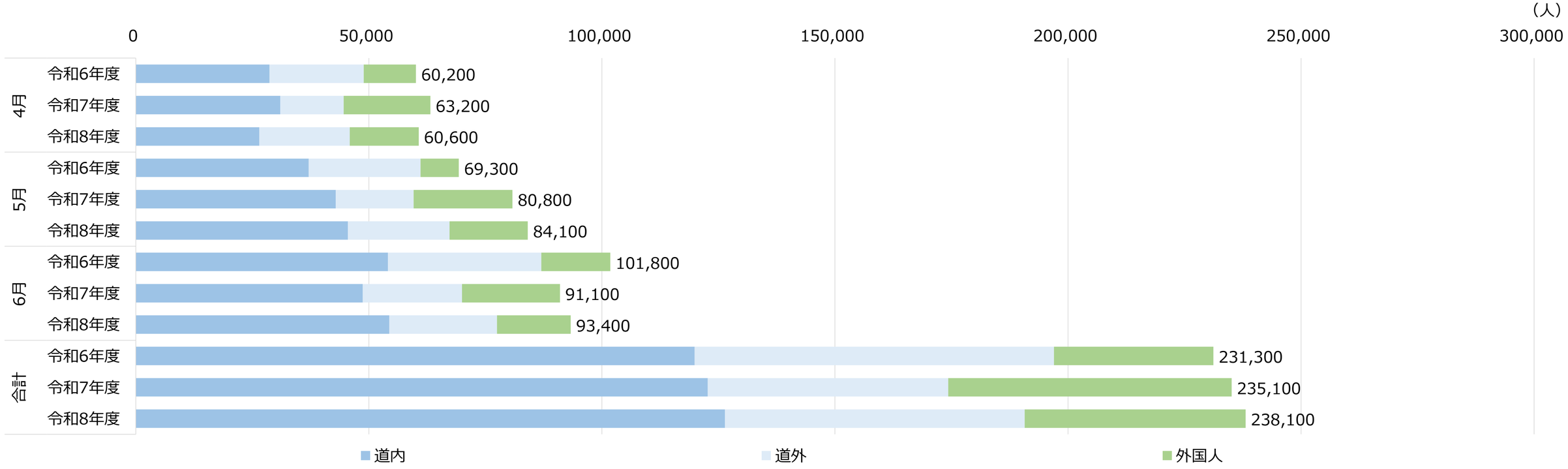
© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市の観光入込客数等
（令和6～8年度 4～6月の比較）

全国インバウンド統計

● 居住地別の宿泊客延べ数

エリア	項目	4月			5月			6月			合計		
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小樽市全域	**宿泊客延べ数**	60,200	63,200	60,600	69,300	80,800	84,100	101,800	91,100	93,400	231,300	235,100	238,100
小樽市全域	うち道内	28,700	31,000	26,500	37,100	42,900	45,500	54,100	48,700	54,400	119,900	122,700	126,400
小樽市全域	うち道外	20,200	13,600	19,400	24,000	16,700	21,800	32,900	21,300	23,100	77,100	51,600	64,300
小樽市全域	うち外国人	11,200	18,600	14,800	8,200	21,200	16,800	14,800	21,000	15,800	34,200	60,800	47,400



© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市全域（2026年4月）

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

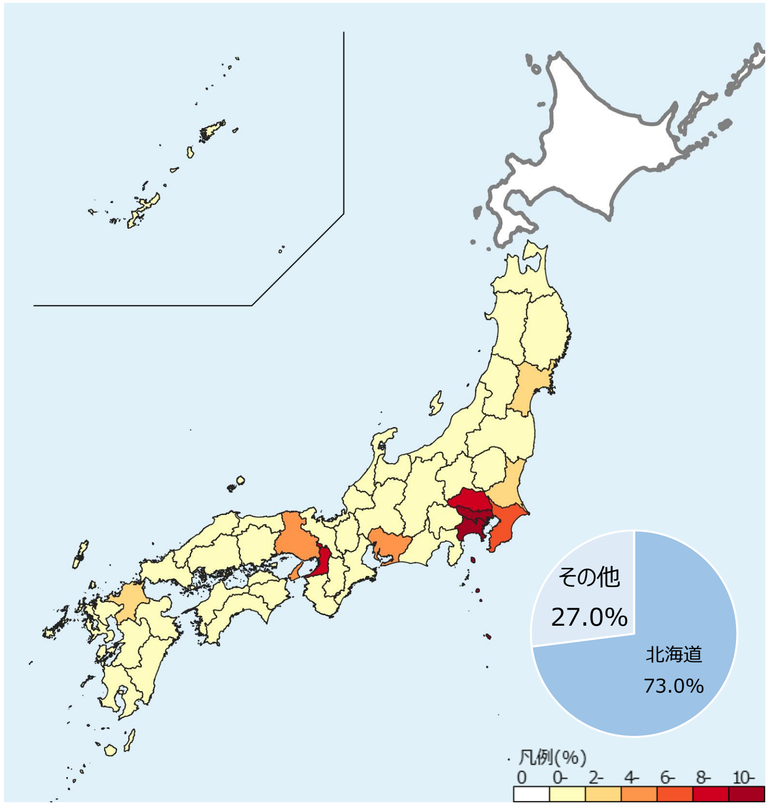
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

- 道外客は東京・神奈川・埼玉・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか函館・旭川・苫小牧・江別・石狩・余市が多い。
- インバウンドは台湾が最も多く2割程度を占め、次いで韓国・タイが多い。

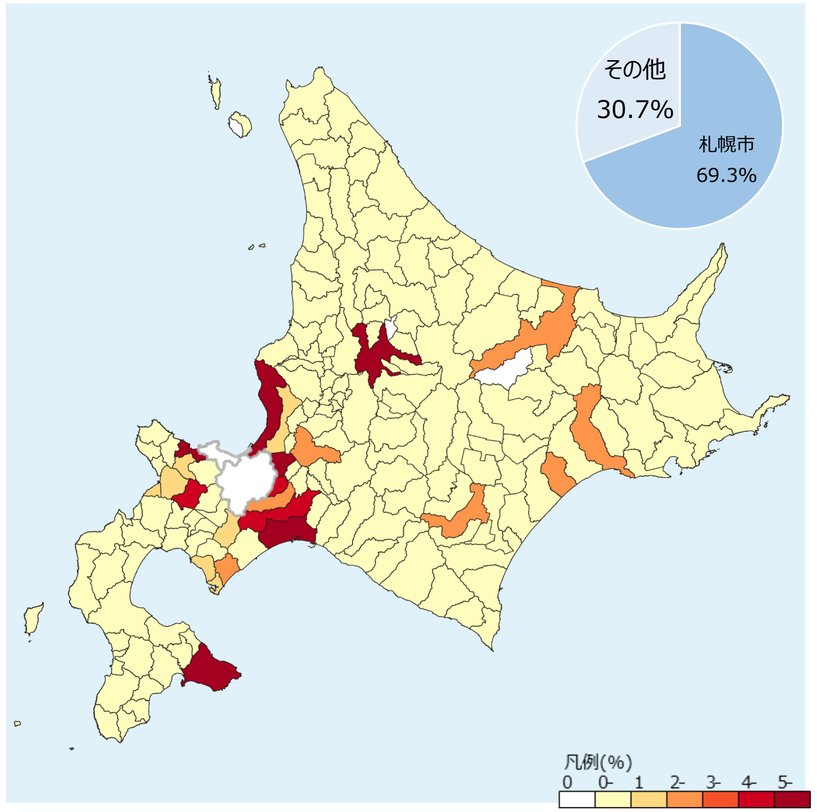
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客3,200人、道内客10,800人（一日当たり）



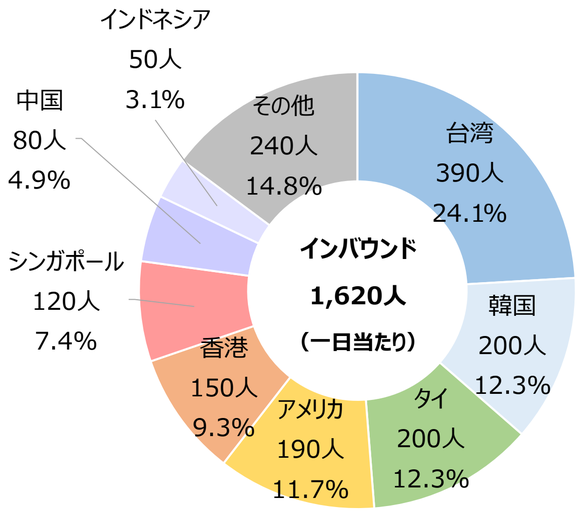
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

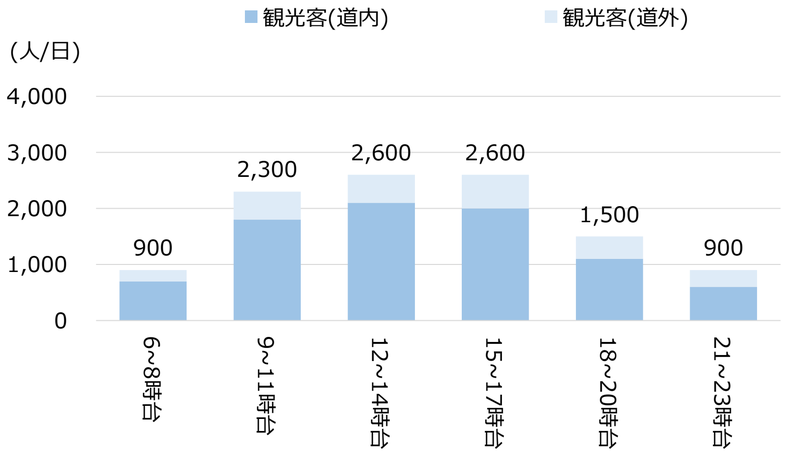
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

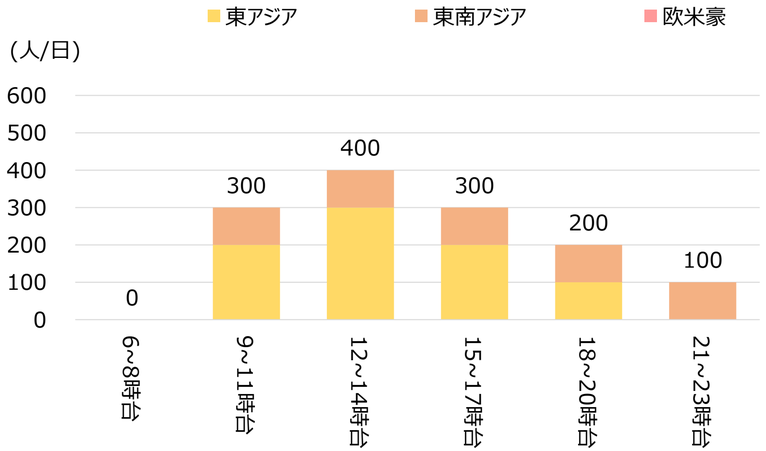
- 時間帯あたり滞在人数について、日本人は12~14時台・15~17時台、インバウンドは12~14時台がピークとなっている。
- 滞在時間について、道内客は比較的短時間の滞在が多い。

● 時間帯あたり滞在人数

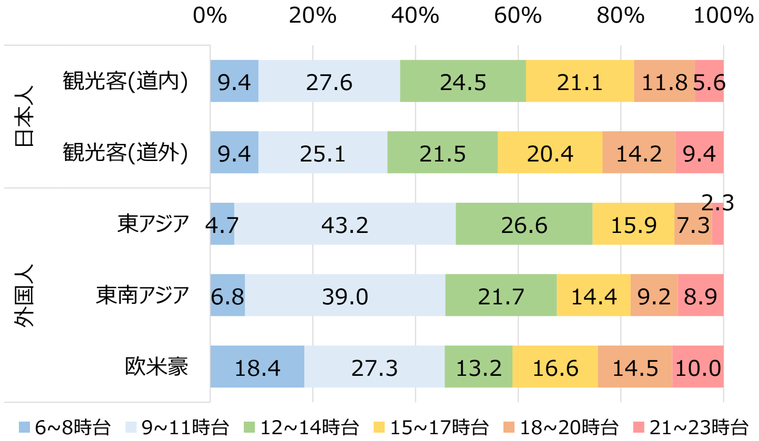
〈日本人〉



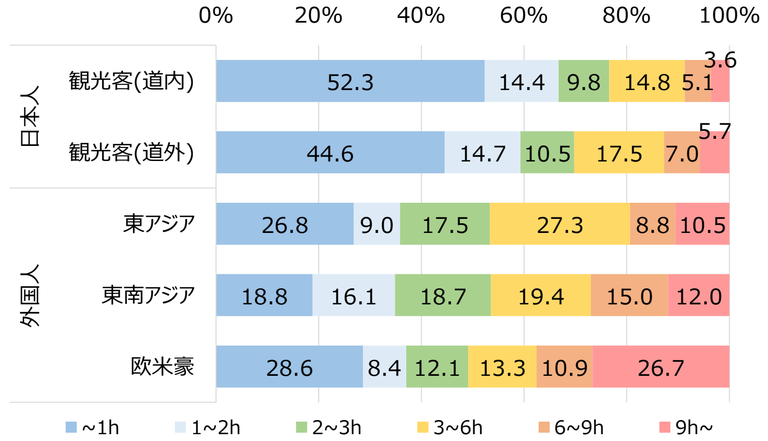
〈インバウンド〉



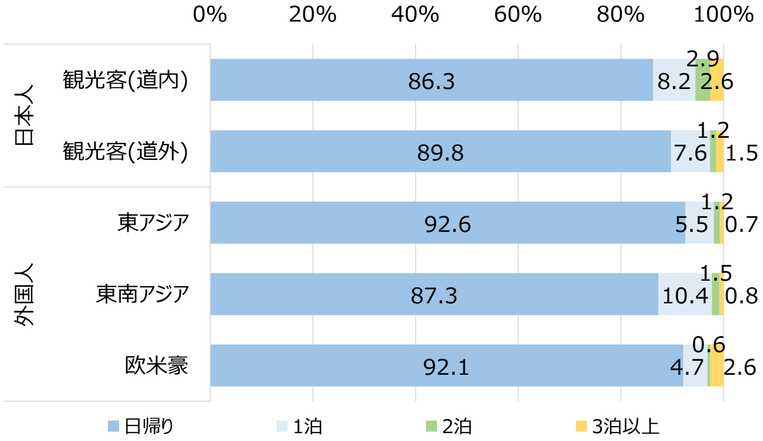
● 来訪時間帯分布



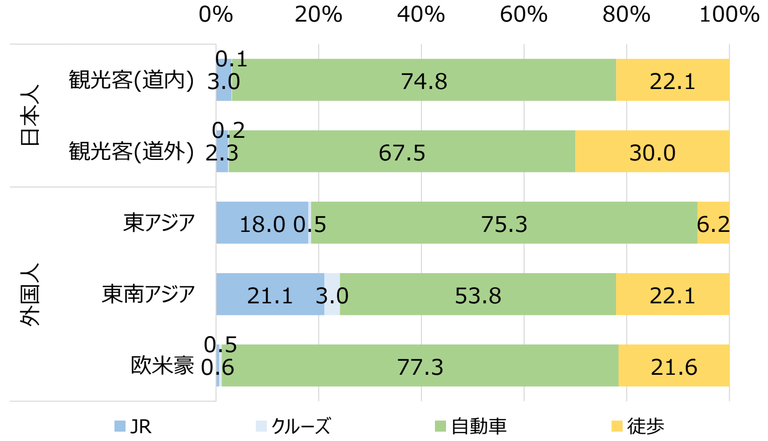
● 滞在時間分布



● 市内宿泊日数分布



● 利用交通手段分布



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

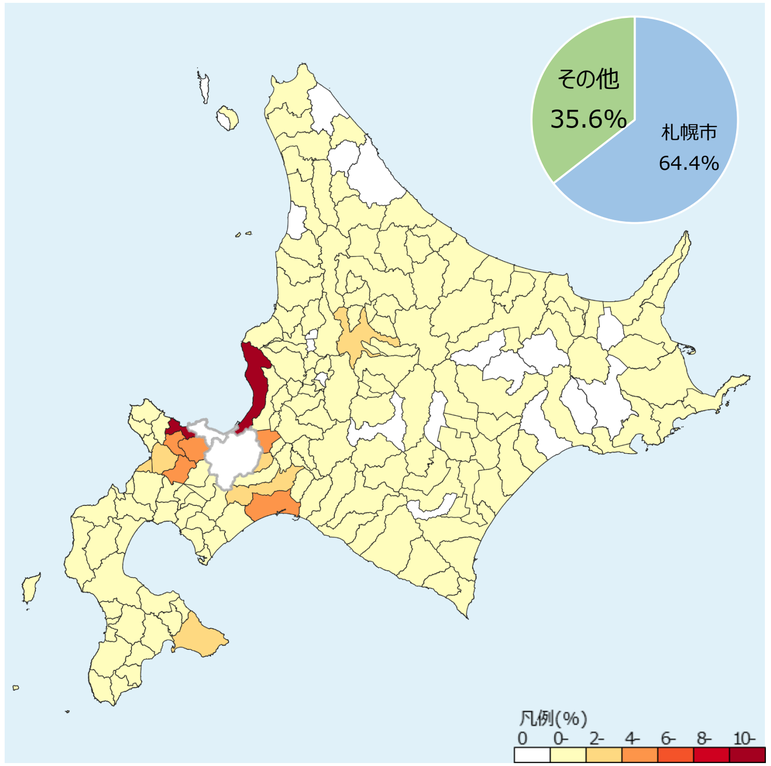
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

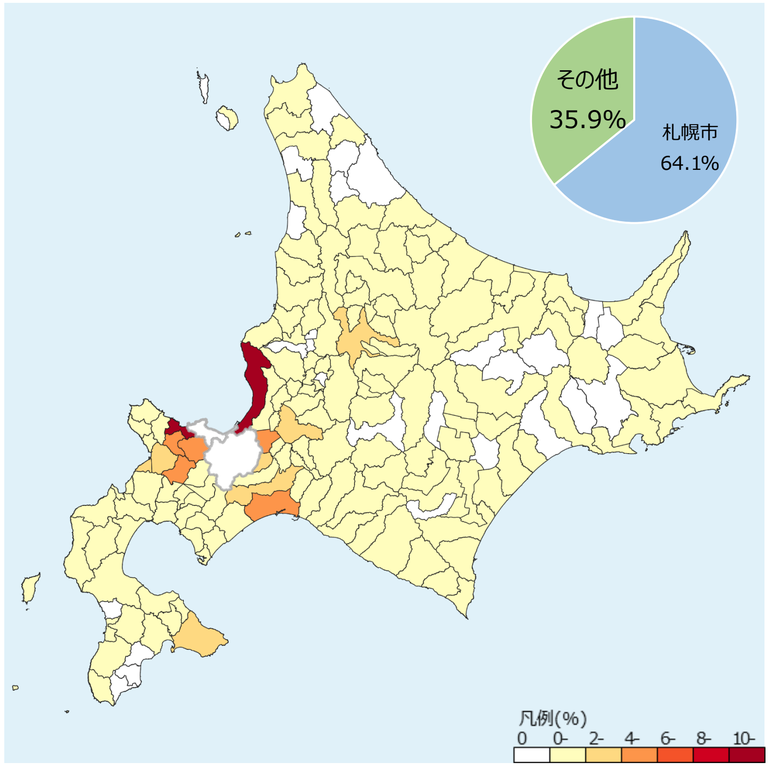
➢ 道全体では小樽・札幌のほか石狩・余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈全道〉

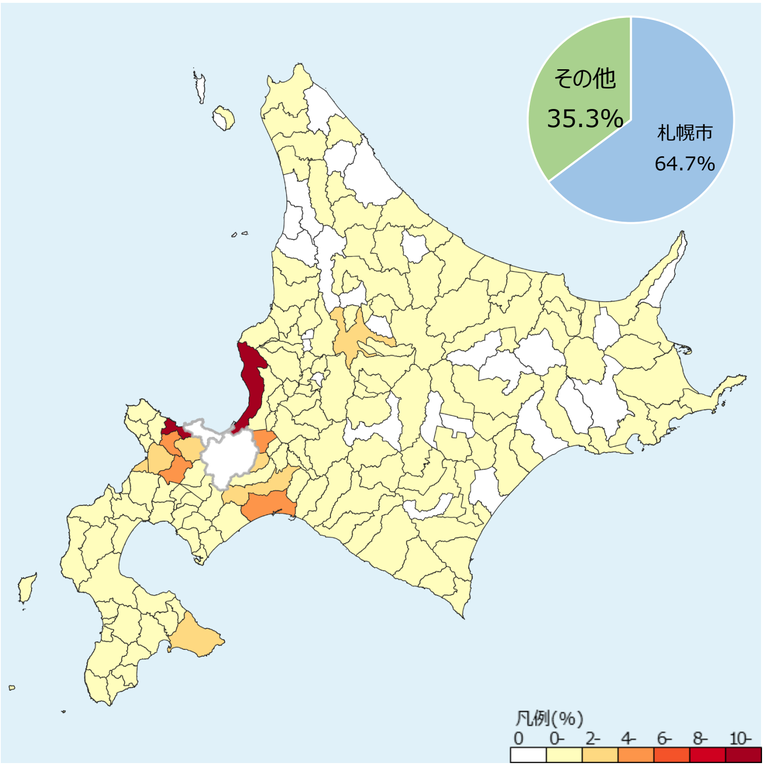
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

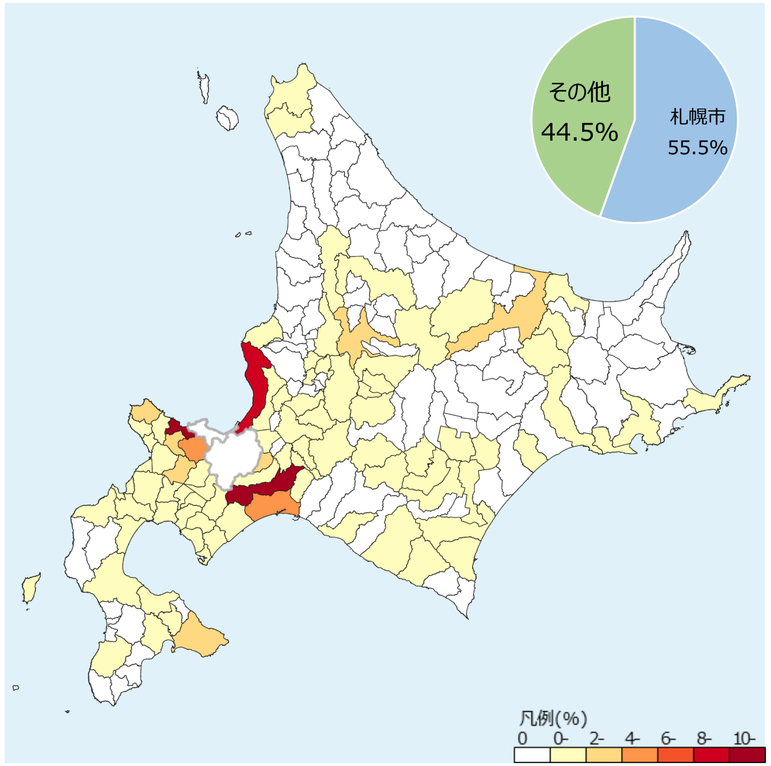
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

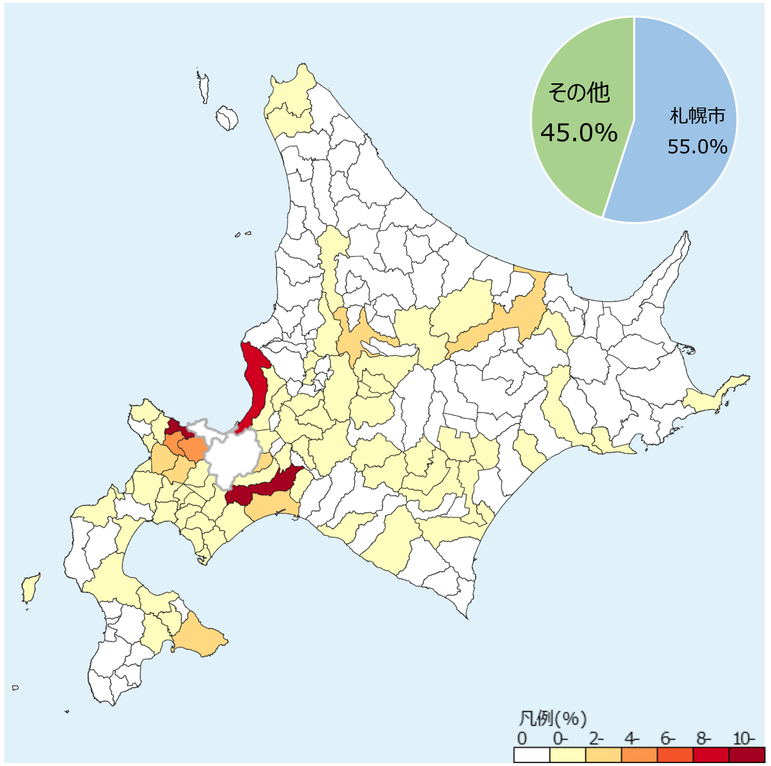
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで石狩が多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈全道〉

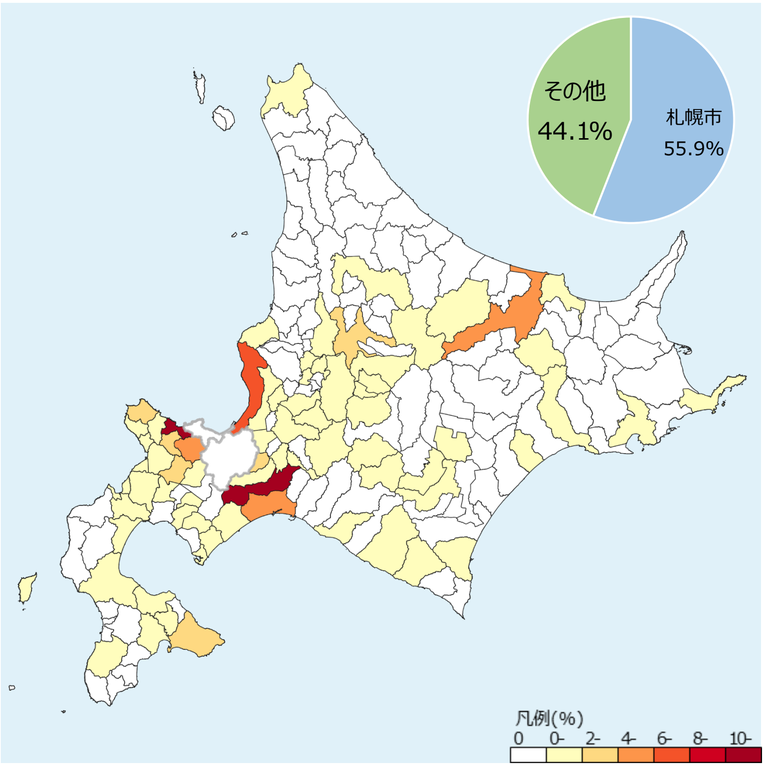
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

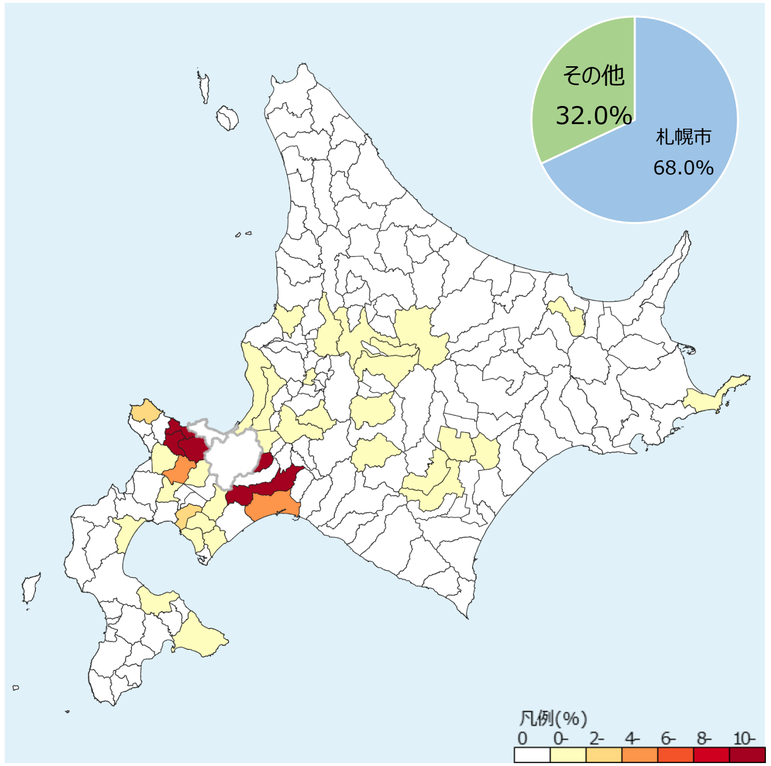
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

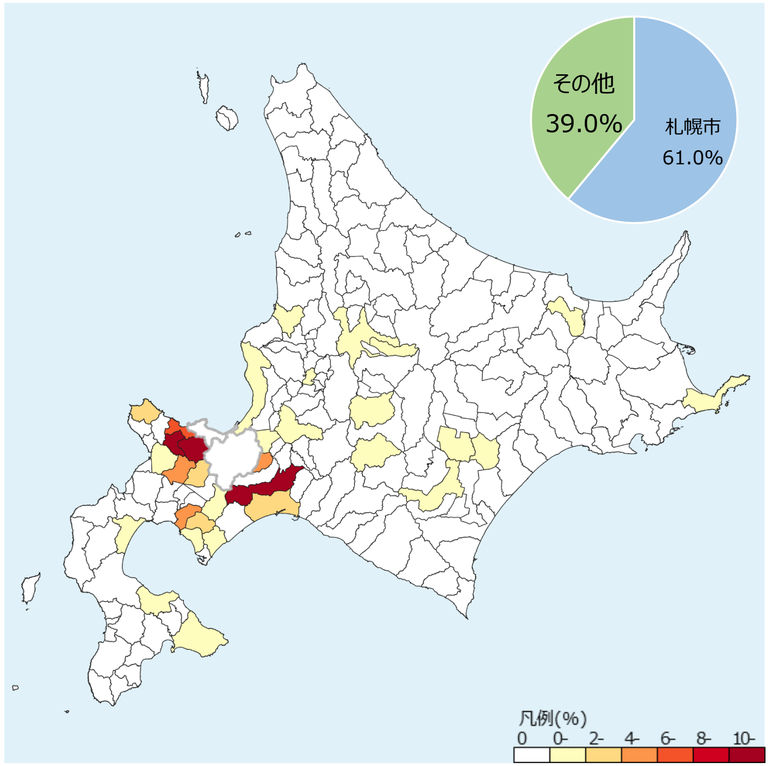
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・北広島・仁木・余市・赤井川との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈全道〉

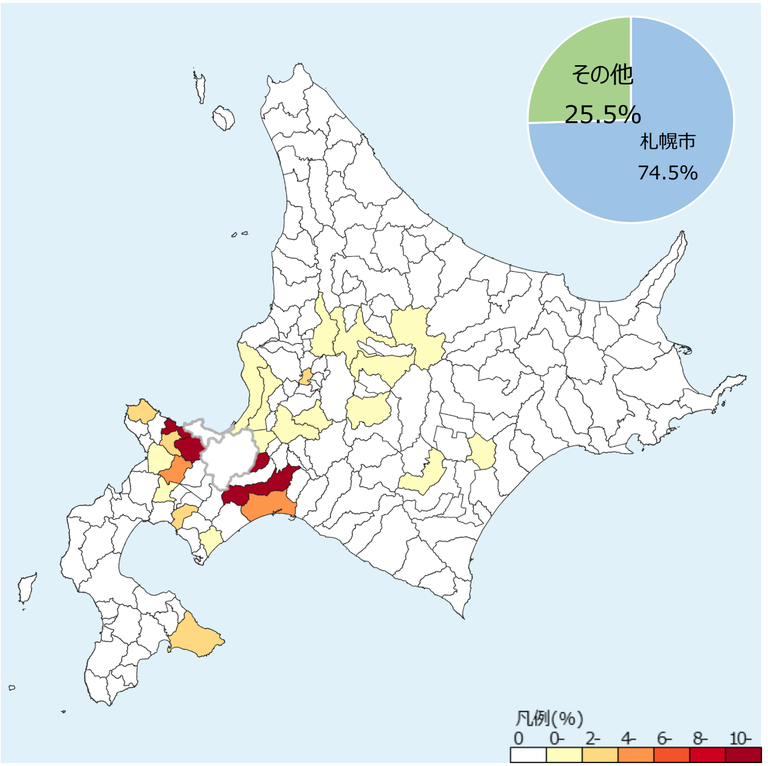
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

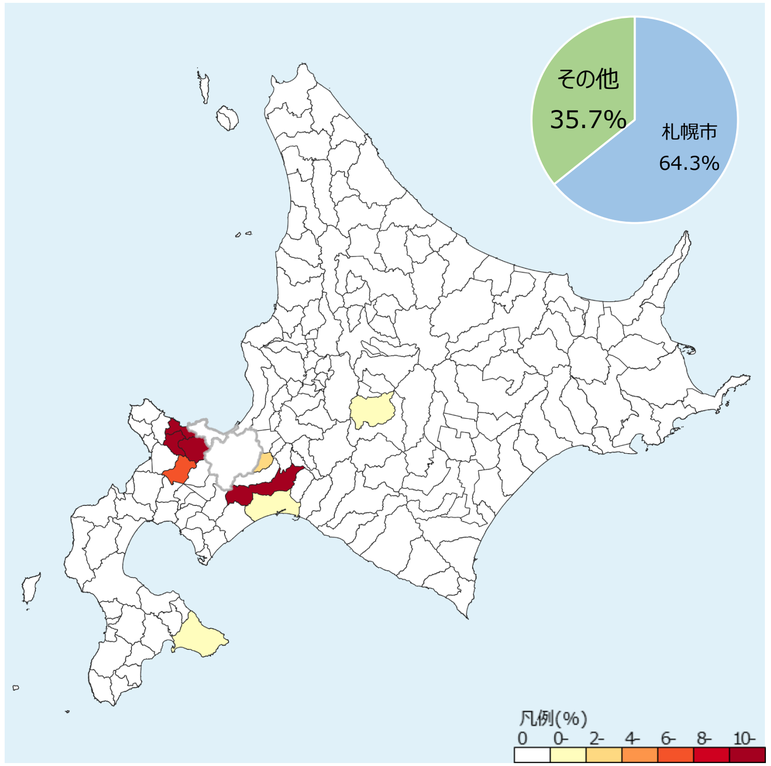
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

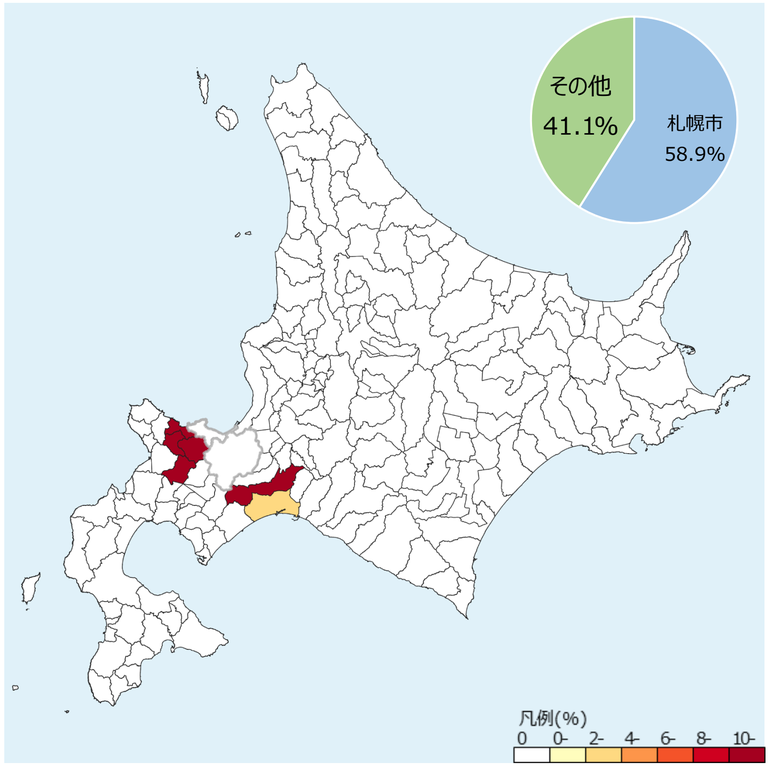
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・仁木・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで倶知安が多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈全道〉

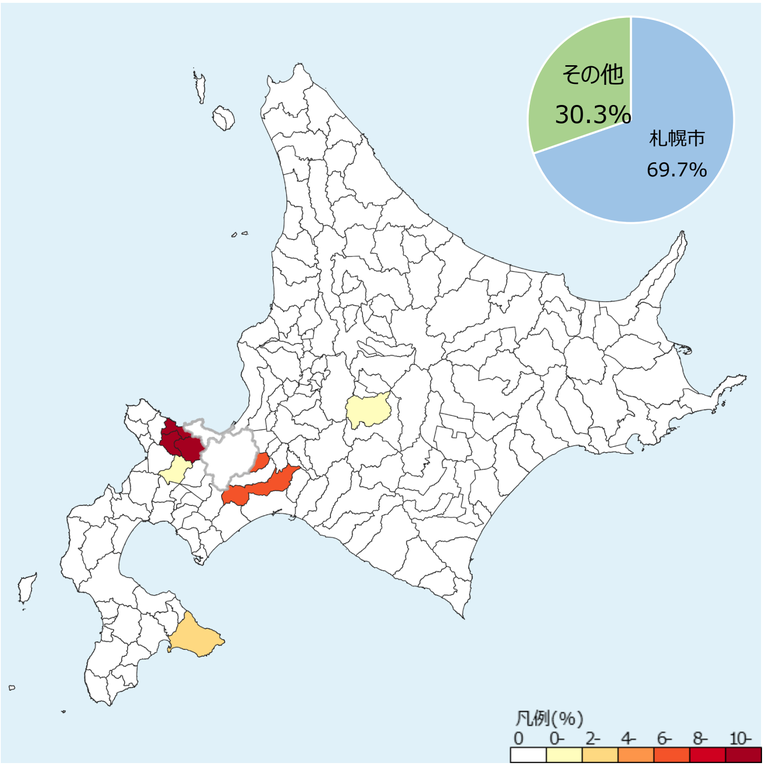
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

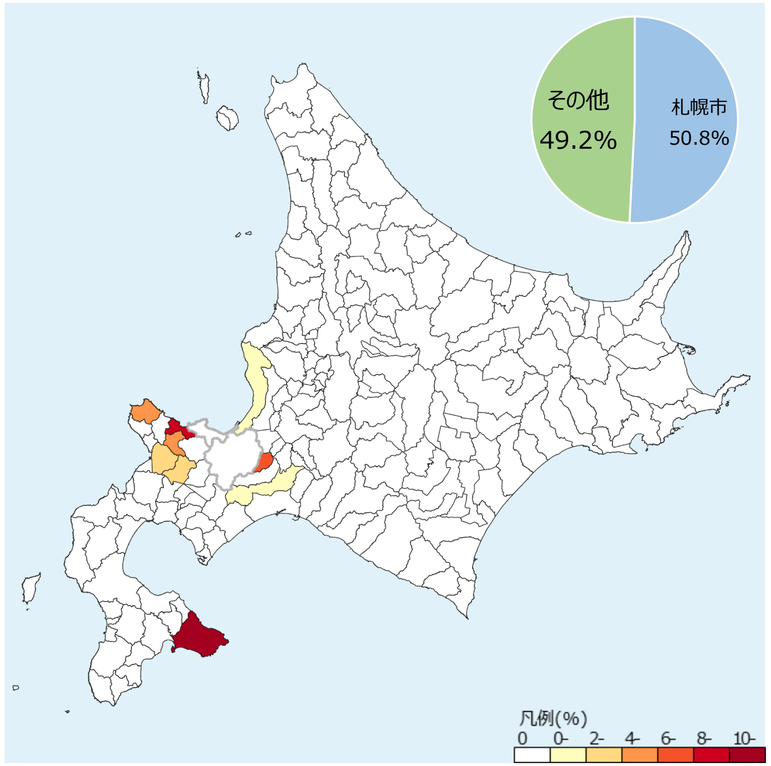
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

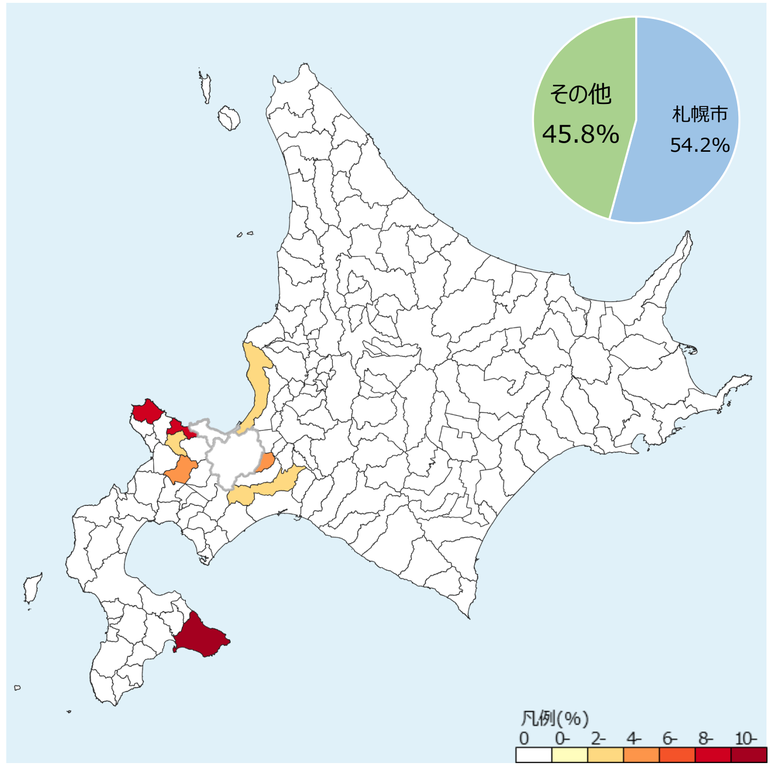
➢ 道全体では小樽・札幌のほか函館との周遊が特に多く、次いで余市・北広島が多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈全道〉

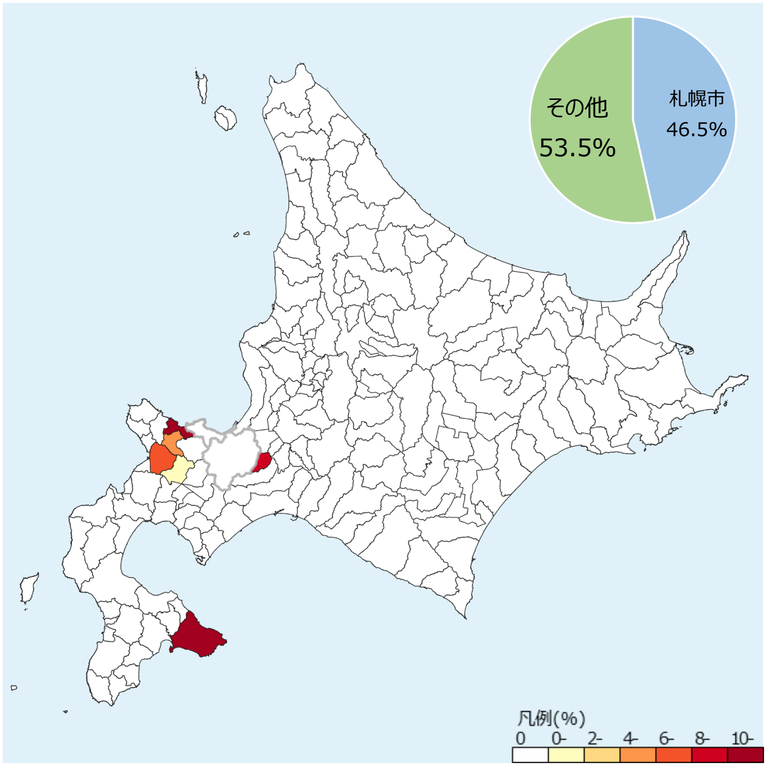
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

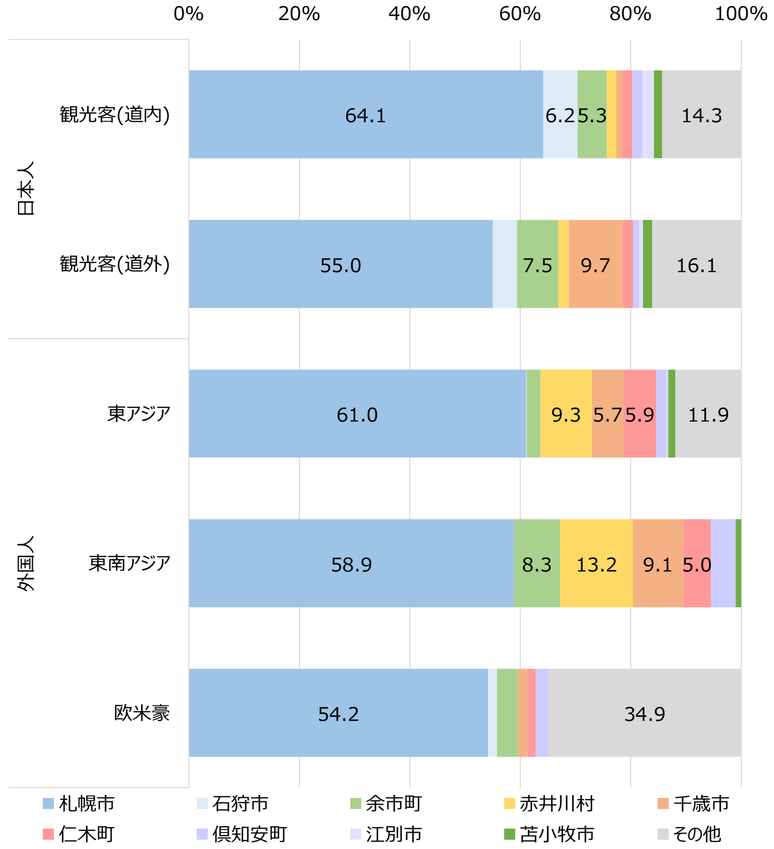
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

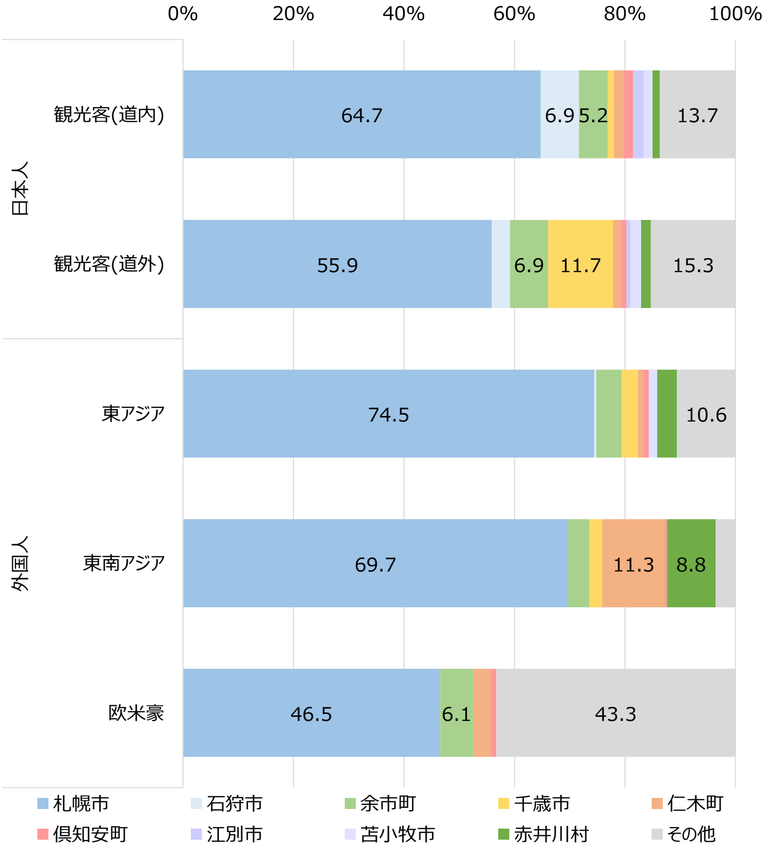
➢ 来訪前/後の周遊先について、各市場とも札幌市が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈全道〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

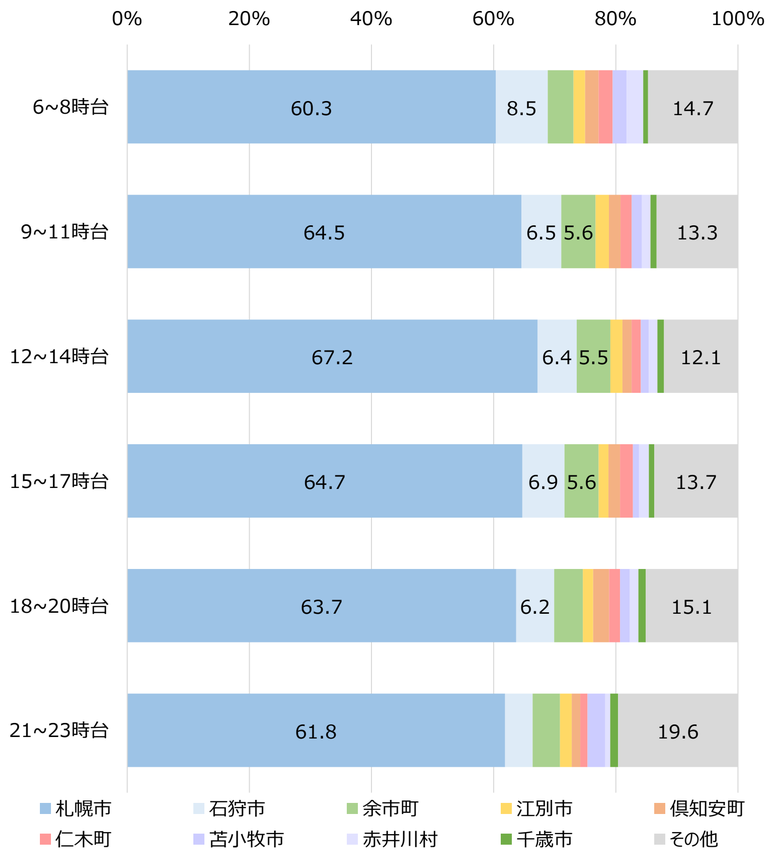
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

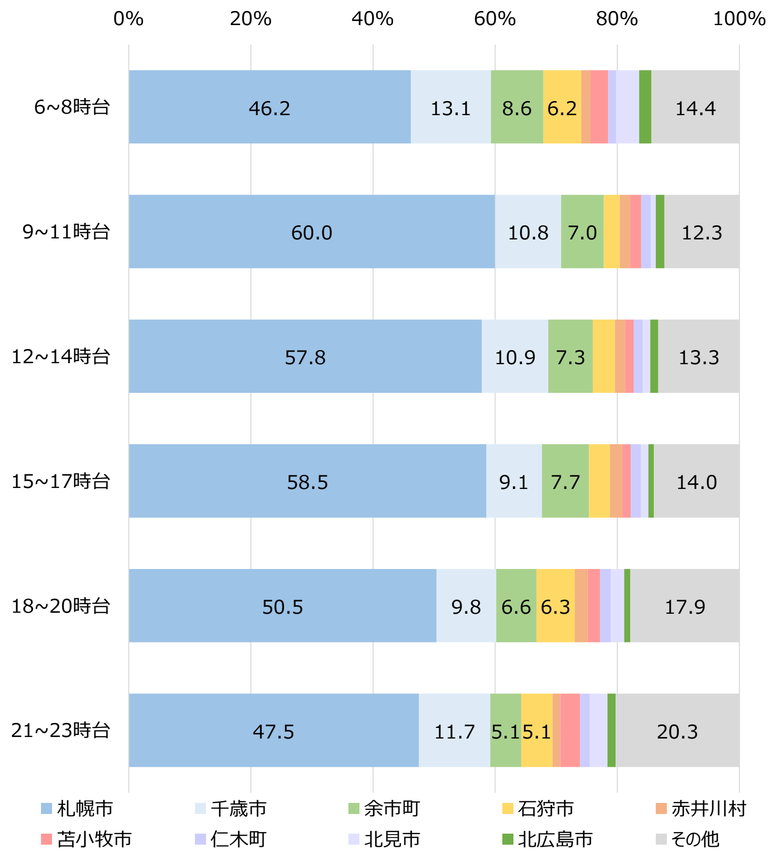
- 道外客は札幌市との周遊が9~11時台に特に多い。千歳市は6~8時台、余市町は6~8時台に特に多い。
- インバウンドは札幌市との周遊が12~14時台に特に多い。仁木町は21~23時台、余市町は6~8時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈全道〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

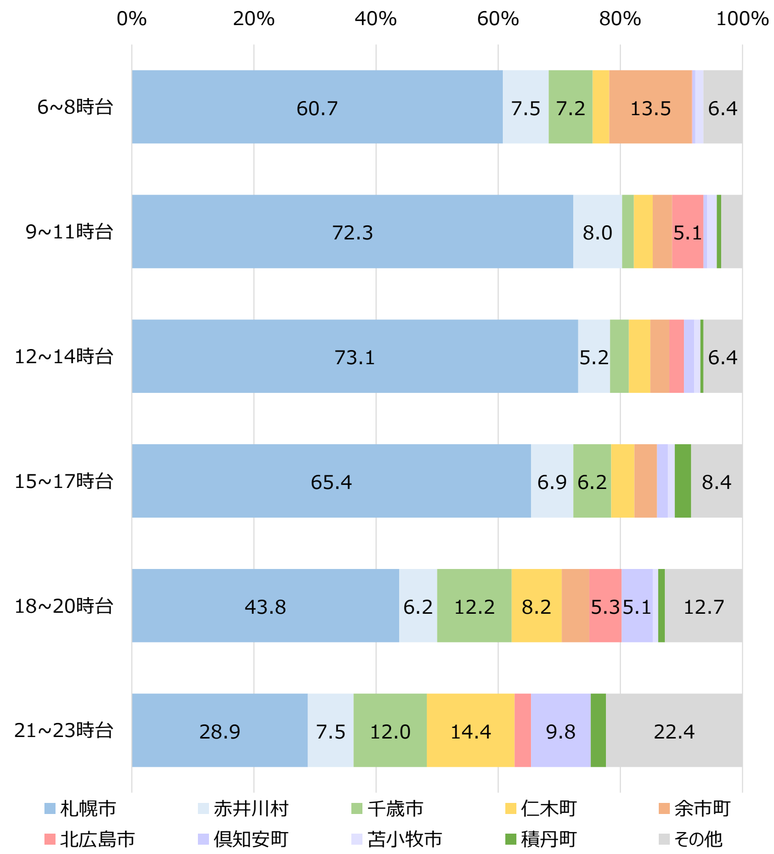
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

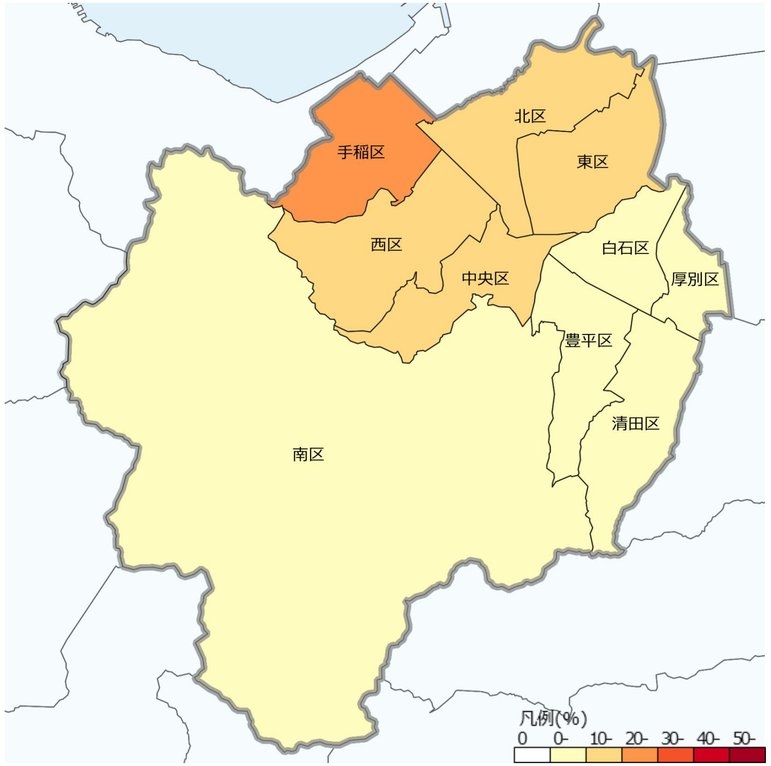
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

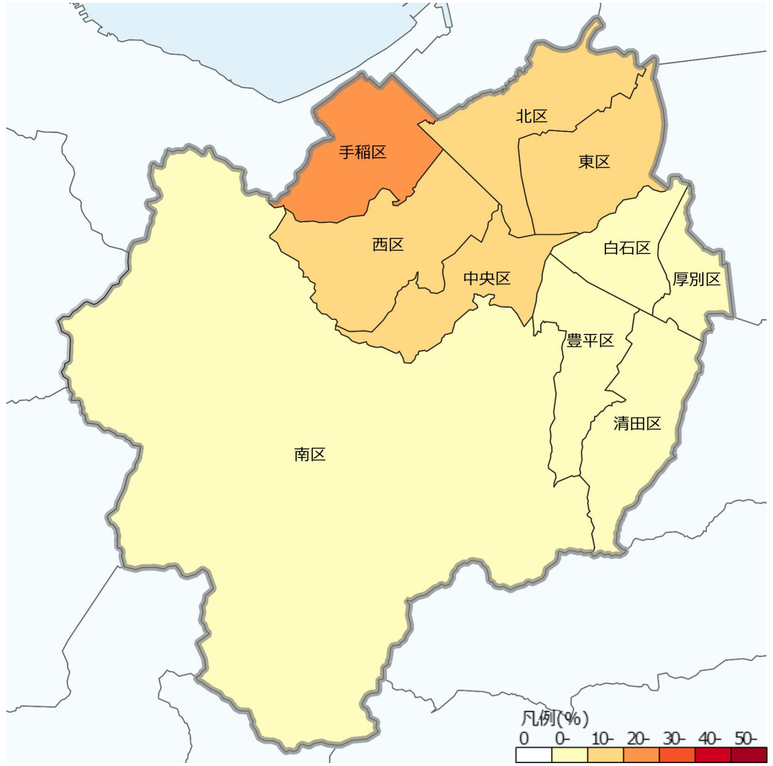
➢ 札幌市との周遊については、手稲区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈札幌市区別〉

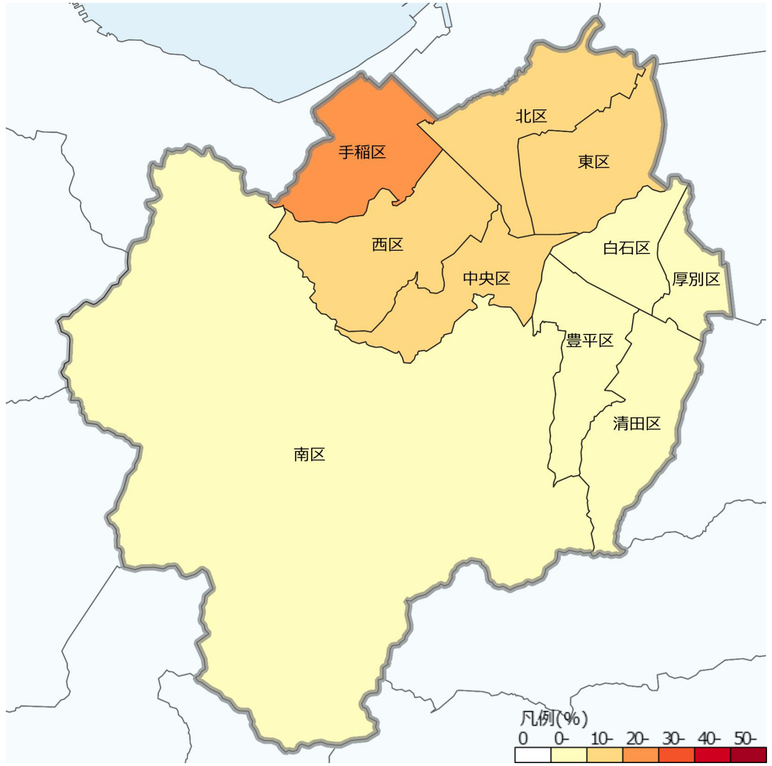
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

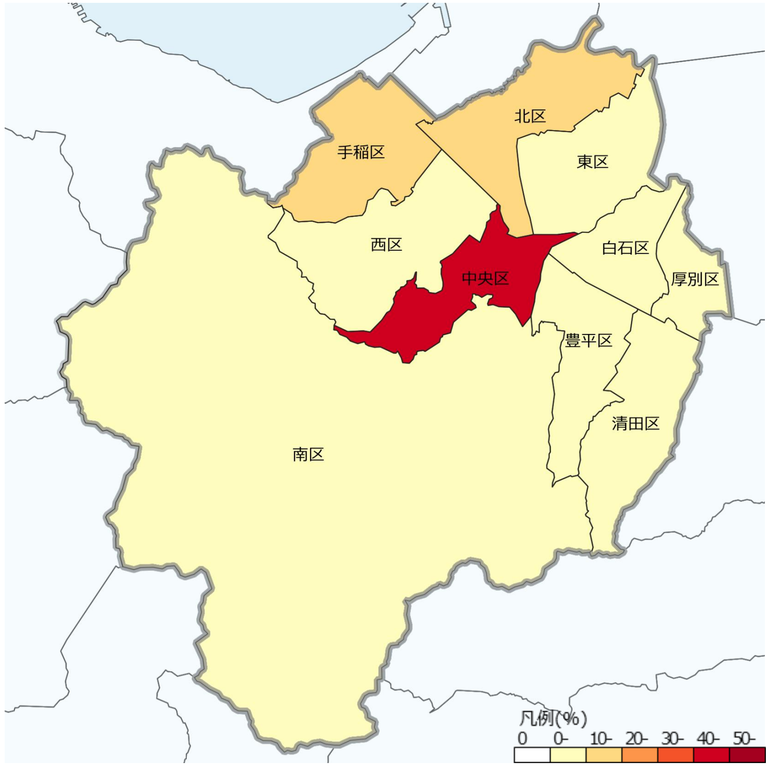
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

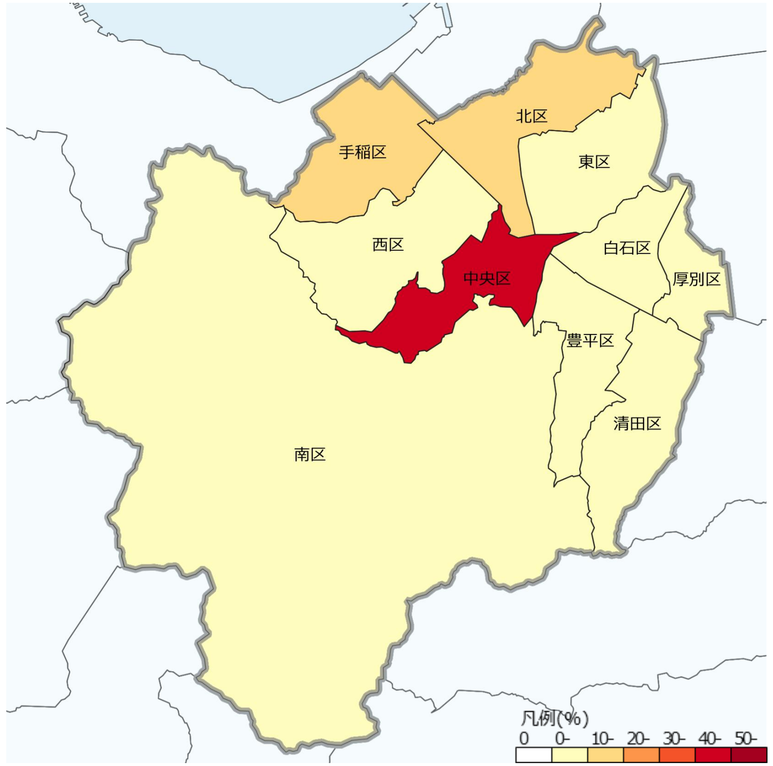
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈札幌市区別〉

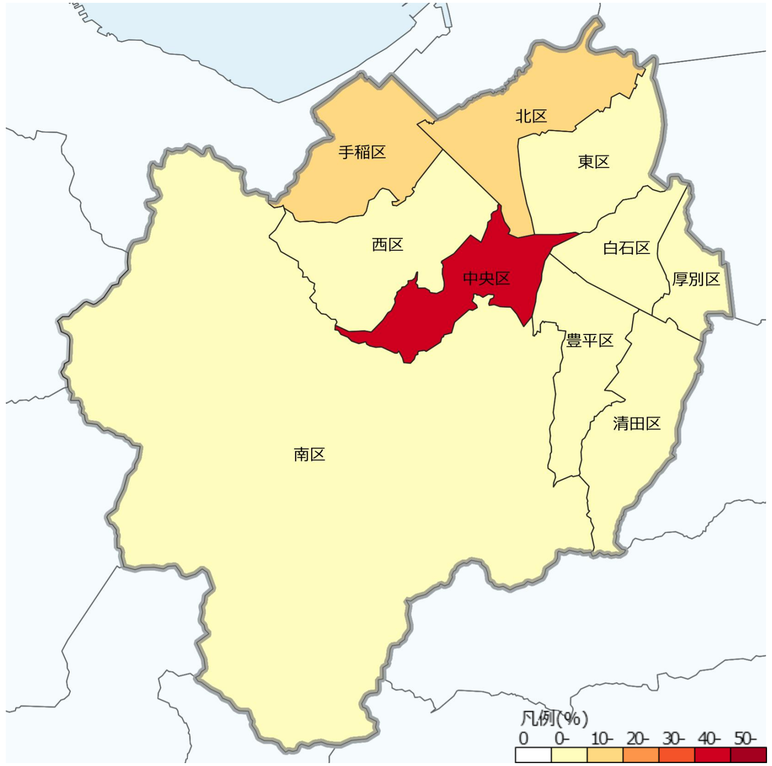
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

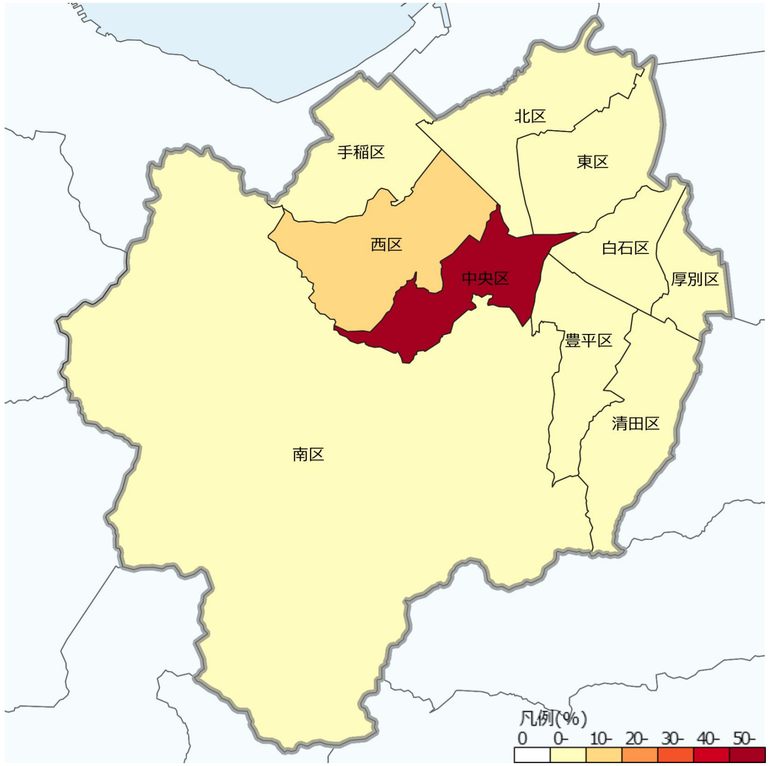
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

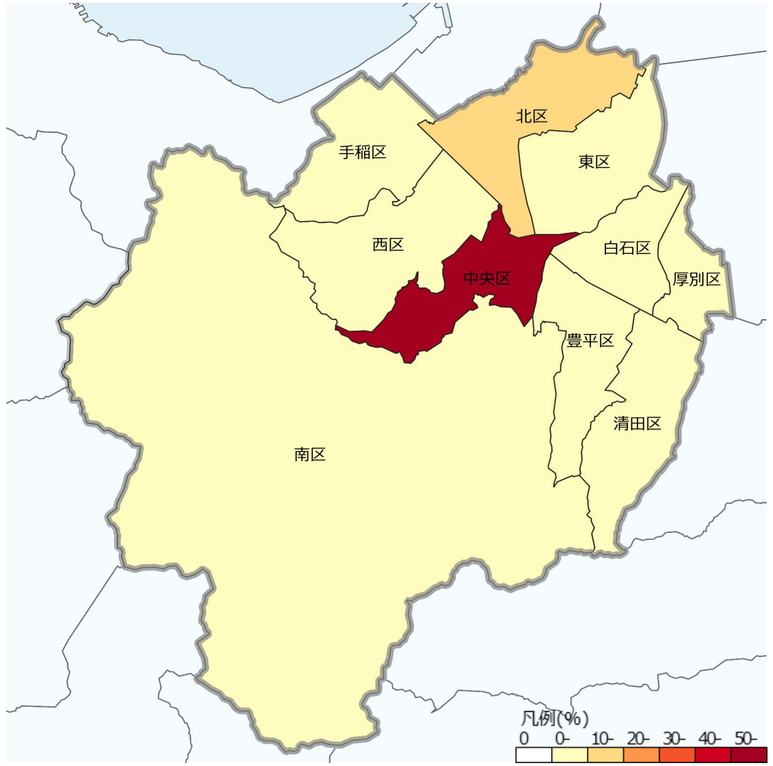
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈札幌市区別〉

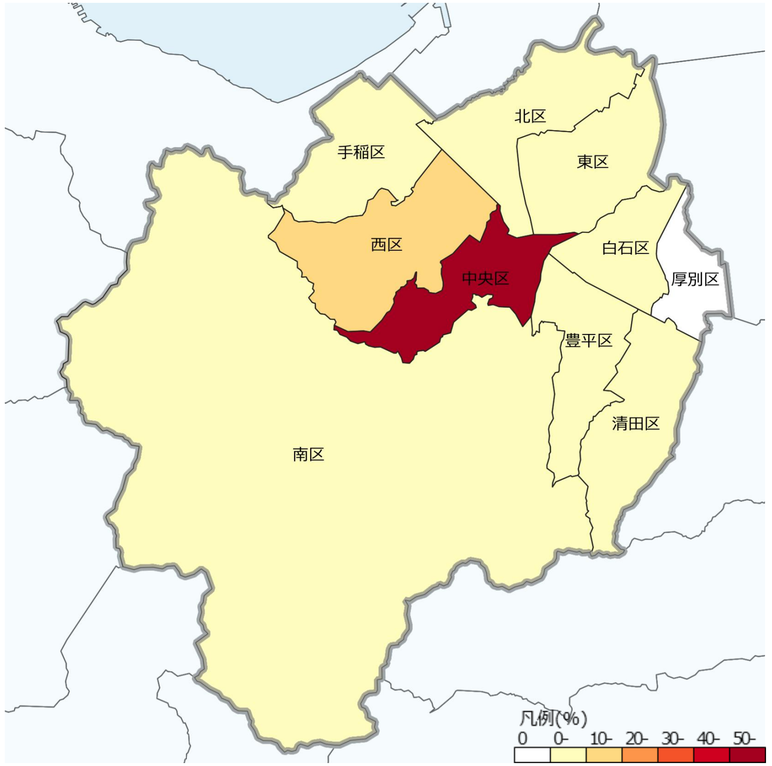
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

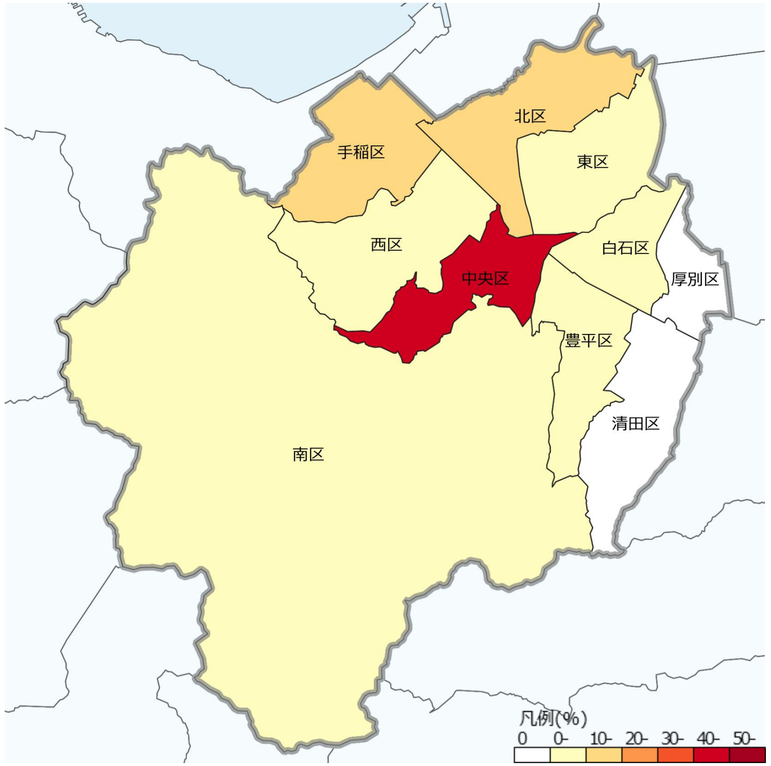
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

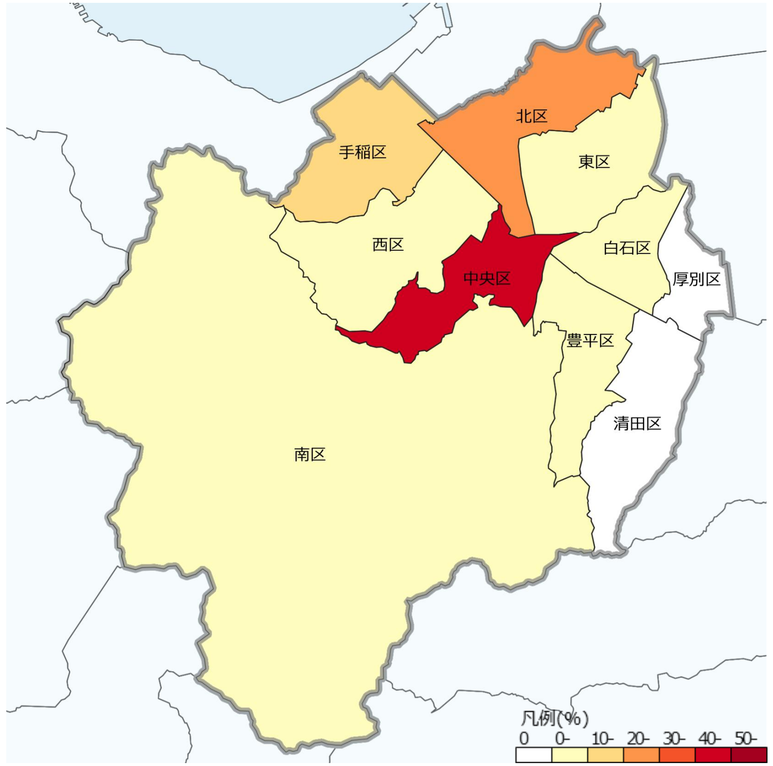
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈札幌市区別〉

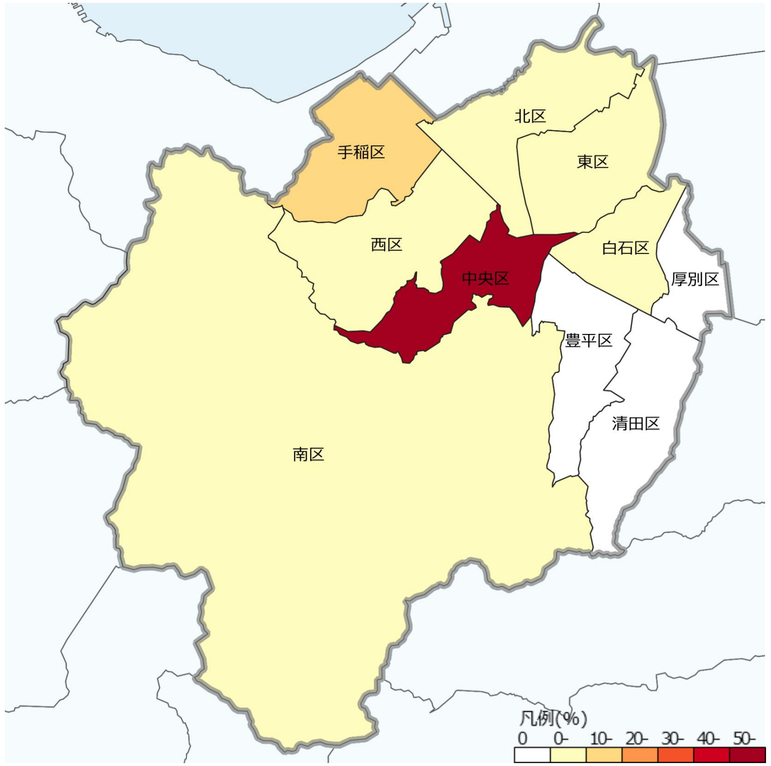
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

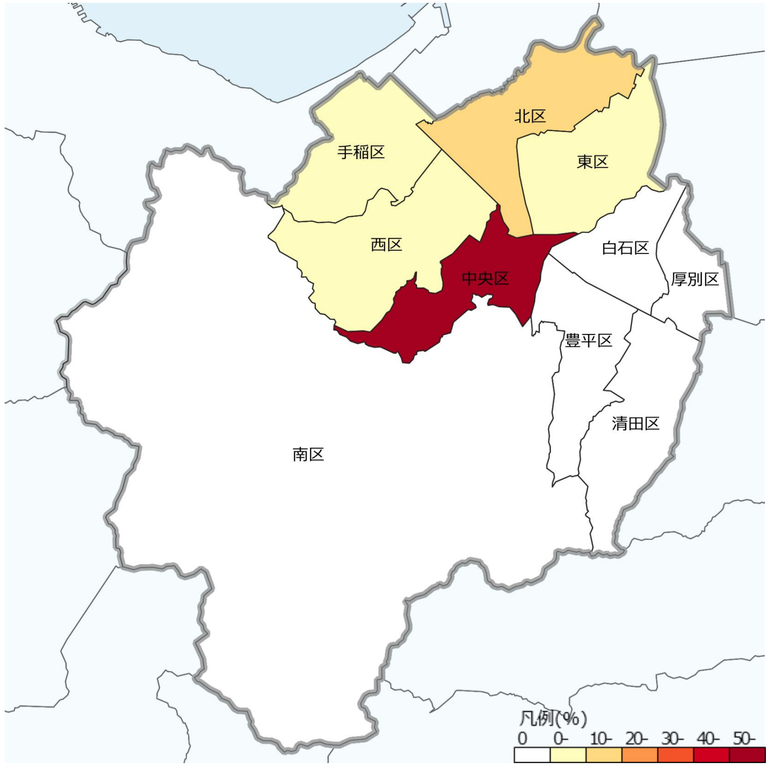
© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市全域の分析結果（2026年4月）

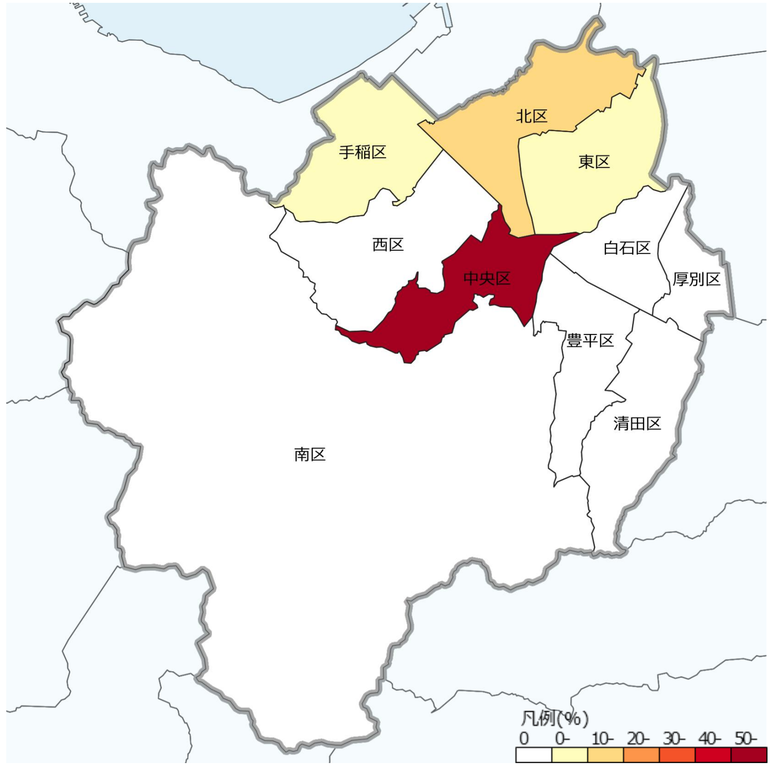
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈札幌市区別〉

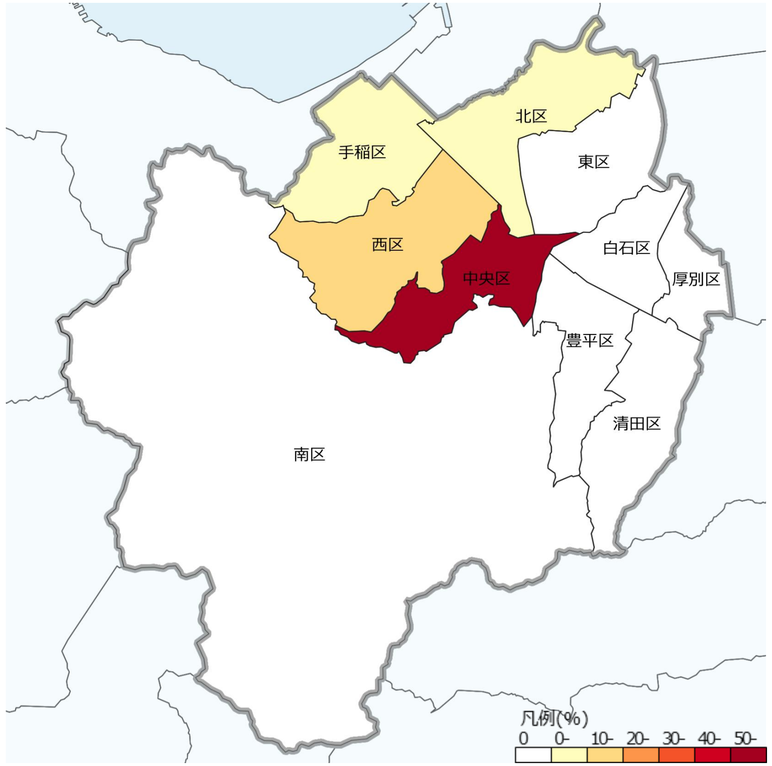
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

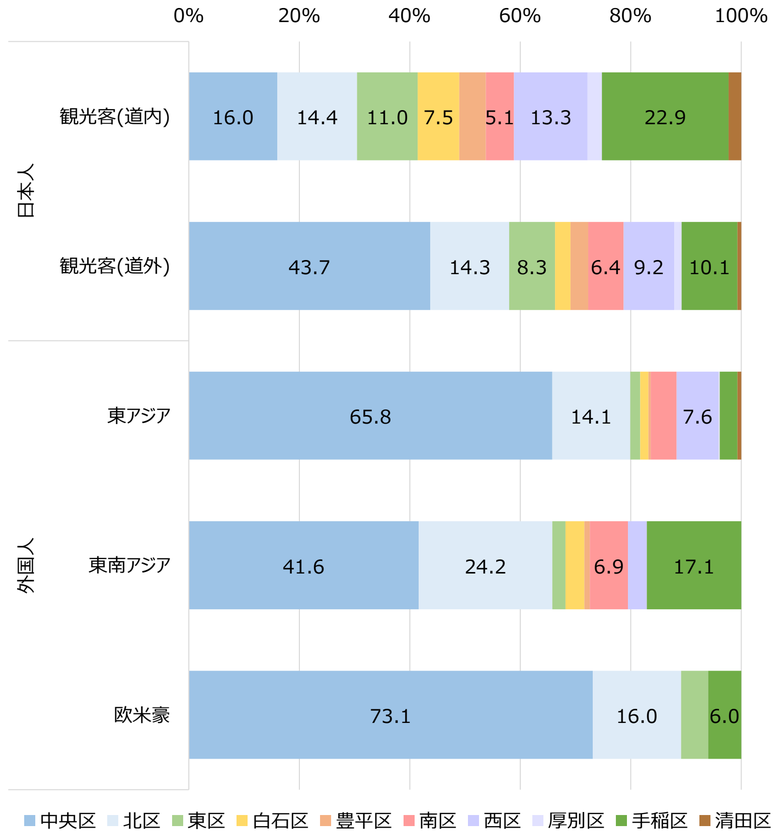
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

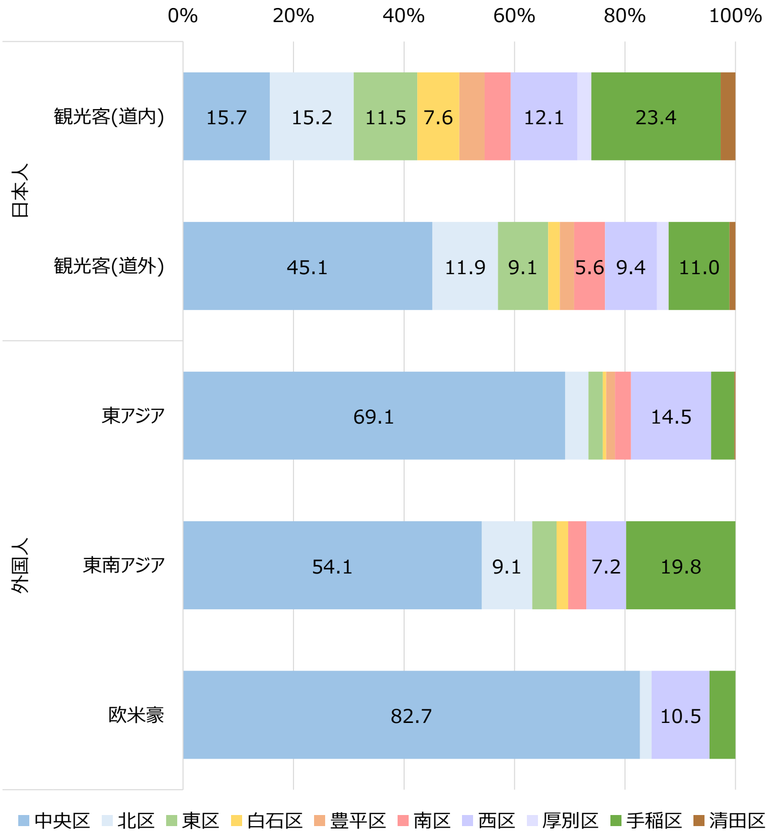
➢ 来訪前/後の周遊先について、インバウンド（特に欧米豪）で中央区が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈札幌市内〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

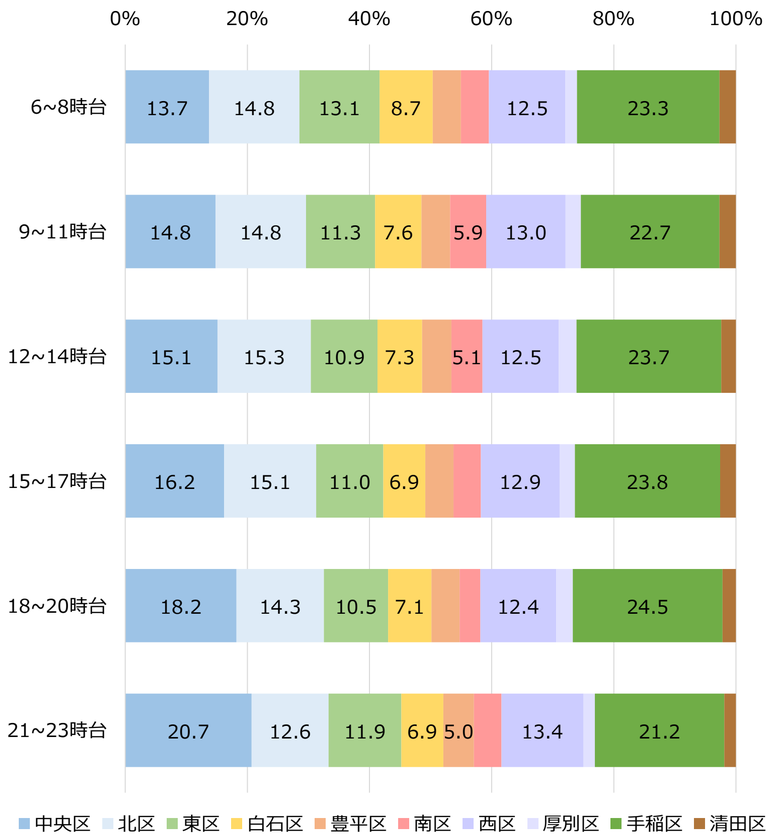
小樽市全域の分析結果（2026年4月）

全国インバウンド統計

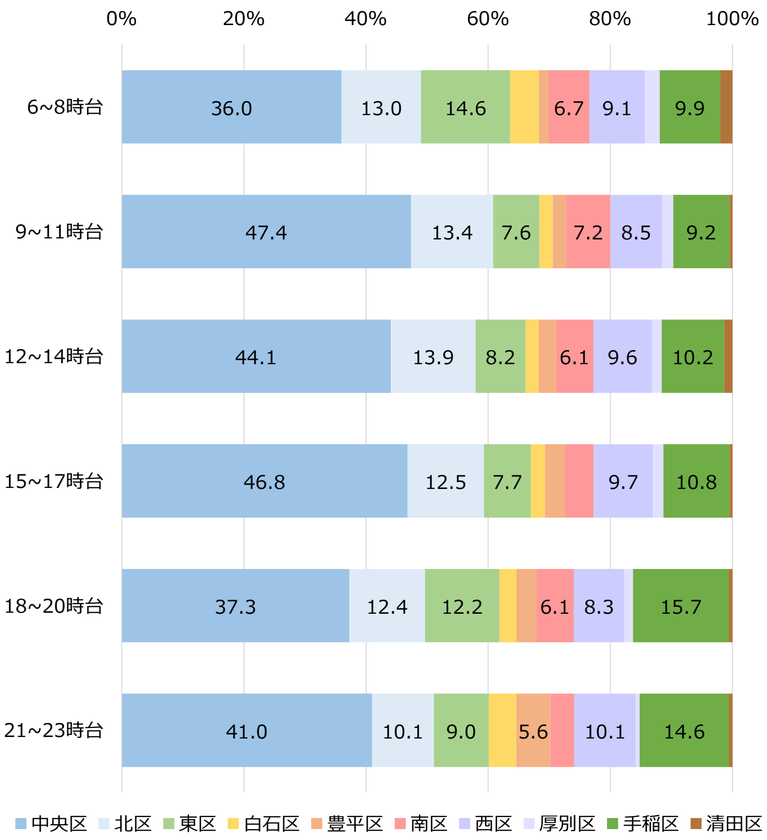
- 道外客は中央区との周遊が9~11時台に特に多い。手稲区は18~20時台、東区は6~8時台に特に多い。
- インバウンドは中央区との周遊が9~11時台に特に多い。北区は21~23時台、手稲区は6~8時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈札幌市内〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

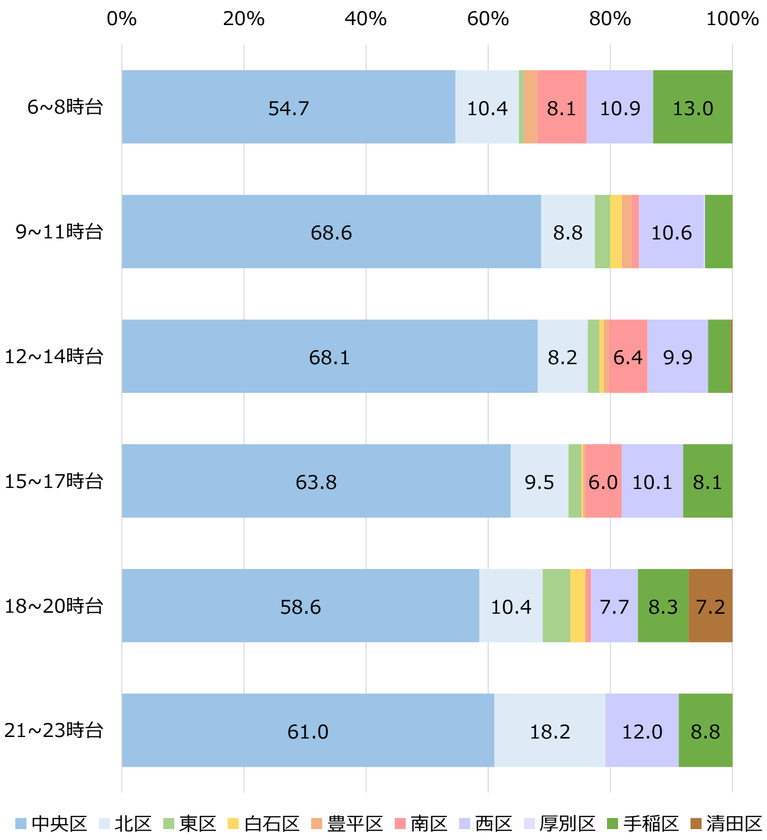
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市全域（2026年5月）

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

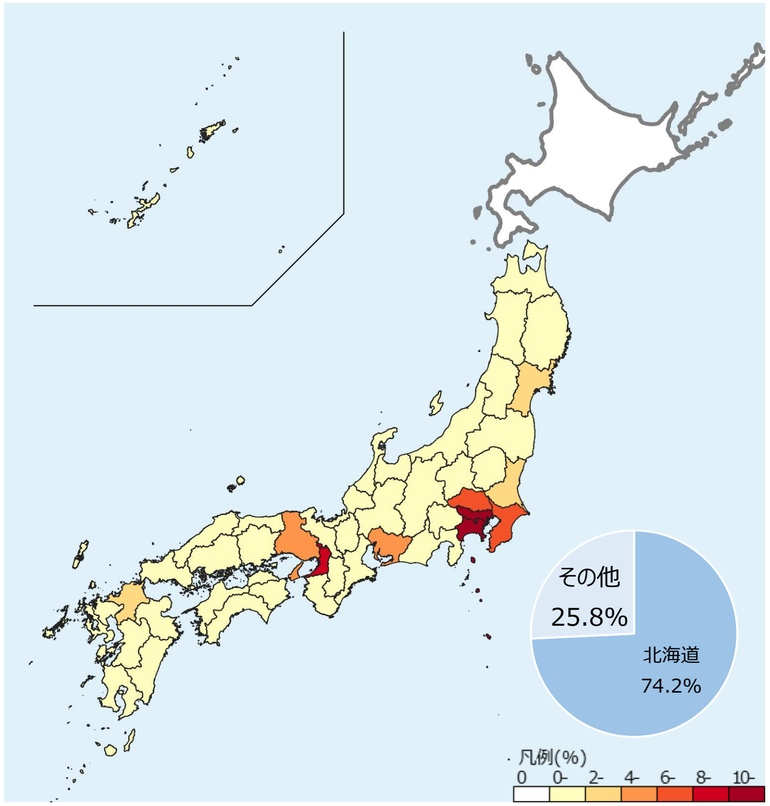
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか旭川・苫小牧・江別・石狩・余市が多い。
- インバウンドは台湾が最も多く2割程度を占め、次いで香港・韓国が多い。

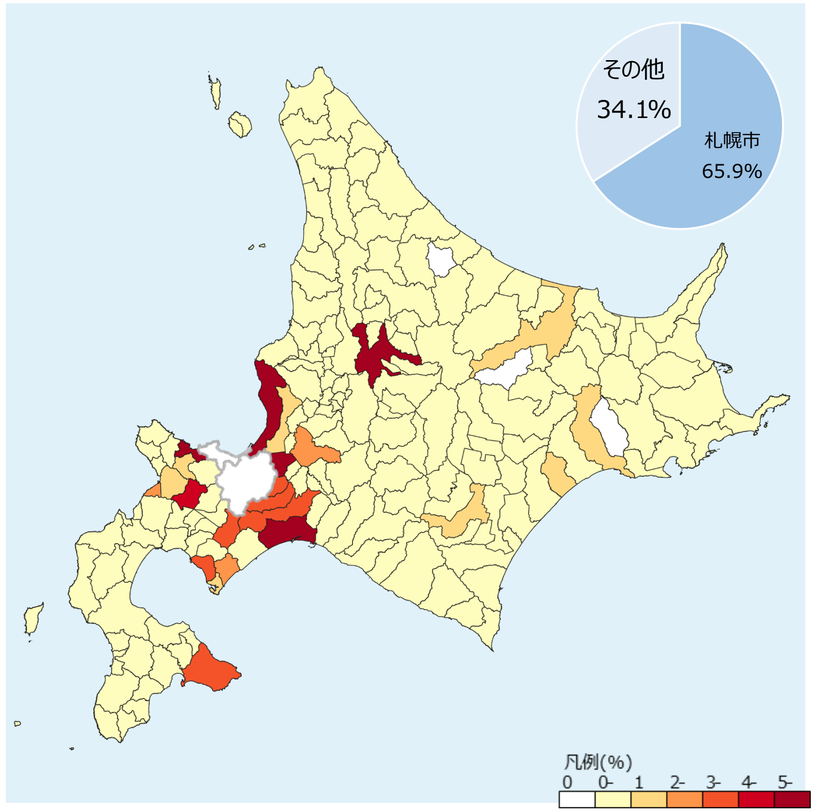
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客2,600人、道内客11,400人（一日当たり）



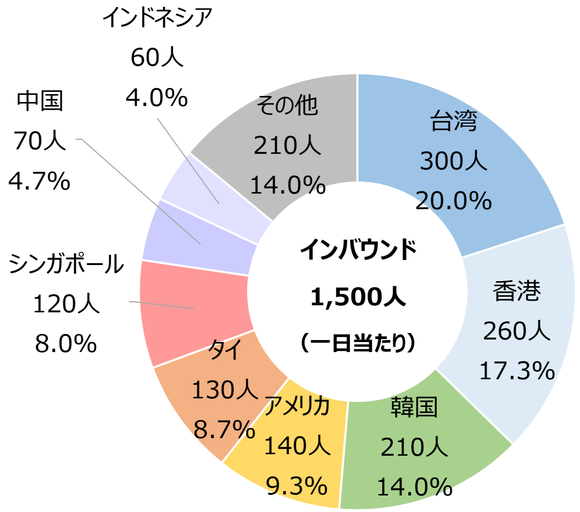
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

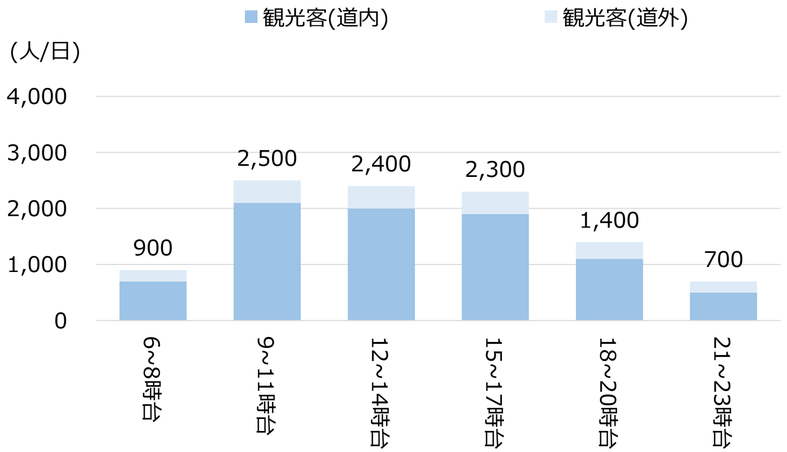
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

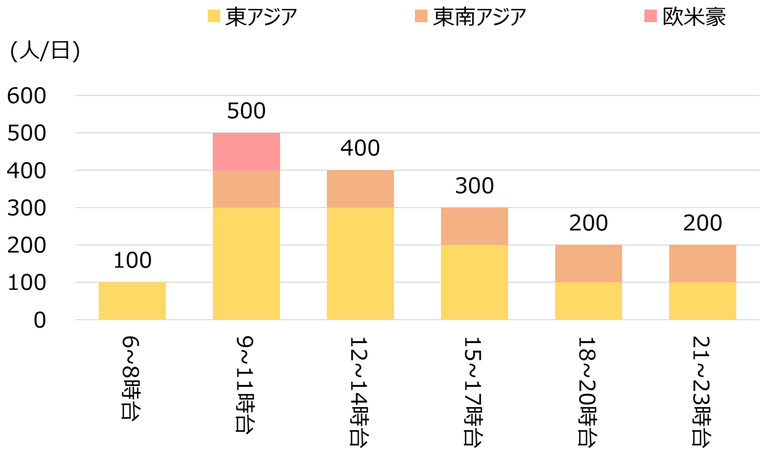
- 時間帯あたり滞在人数について、日本人・インバウンドともに9~11時台がピークとなっている。
- 滞在時間について、道内客は比較的短時間の滞在が多い。

● 時間帯あたり滞在人数

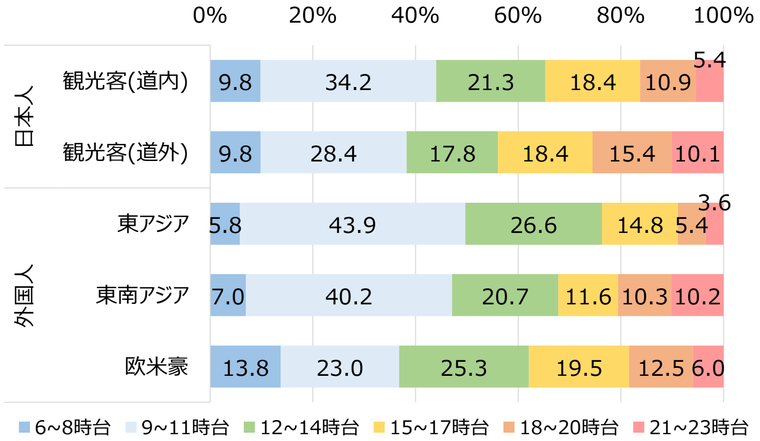
〈日本人〉



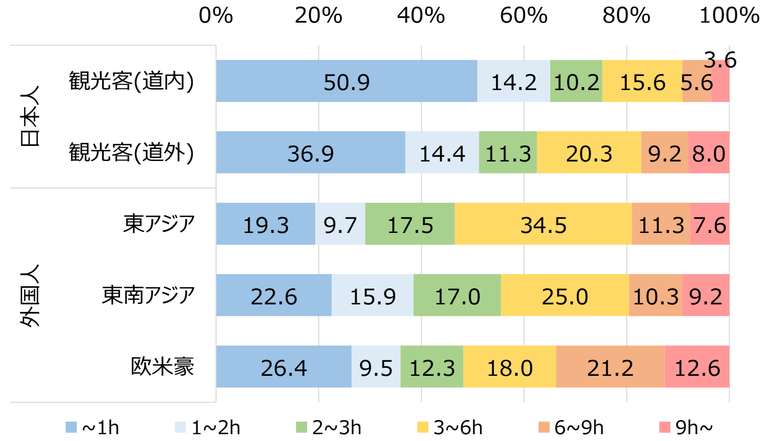
〈インバウンド〉



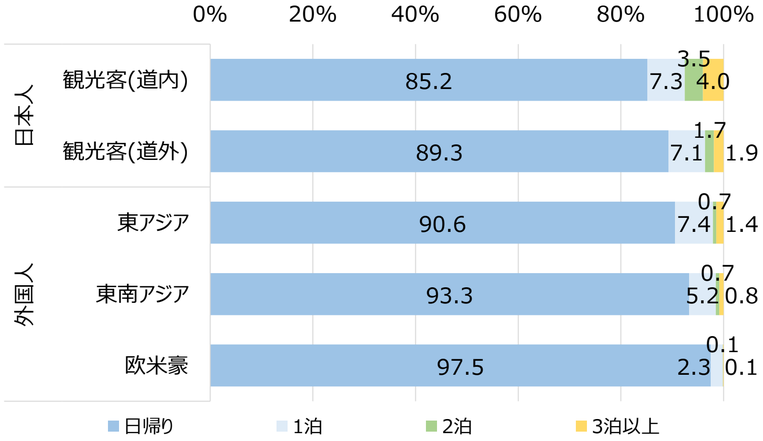
● 来訪時間帯分布



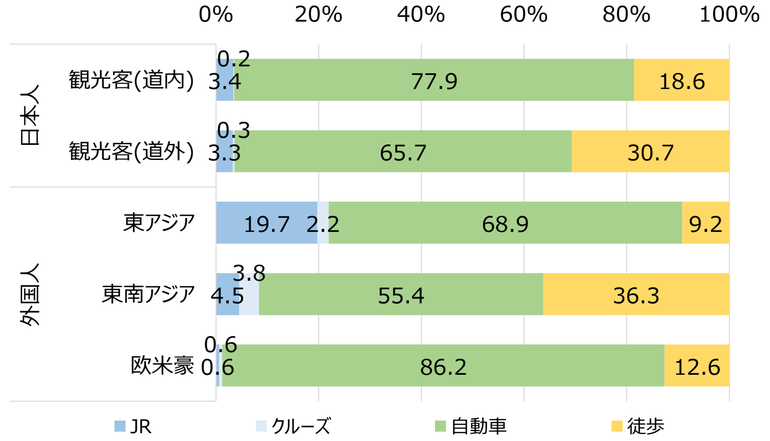
● 滞在時間分布



● 市内宿泊日数分布



● 利用交通手段分布



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

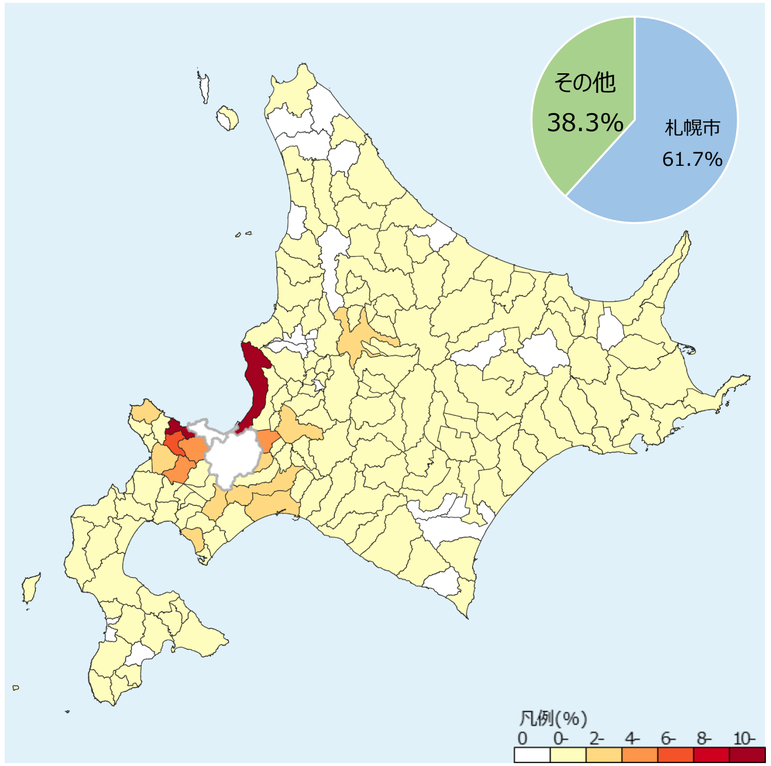
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

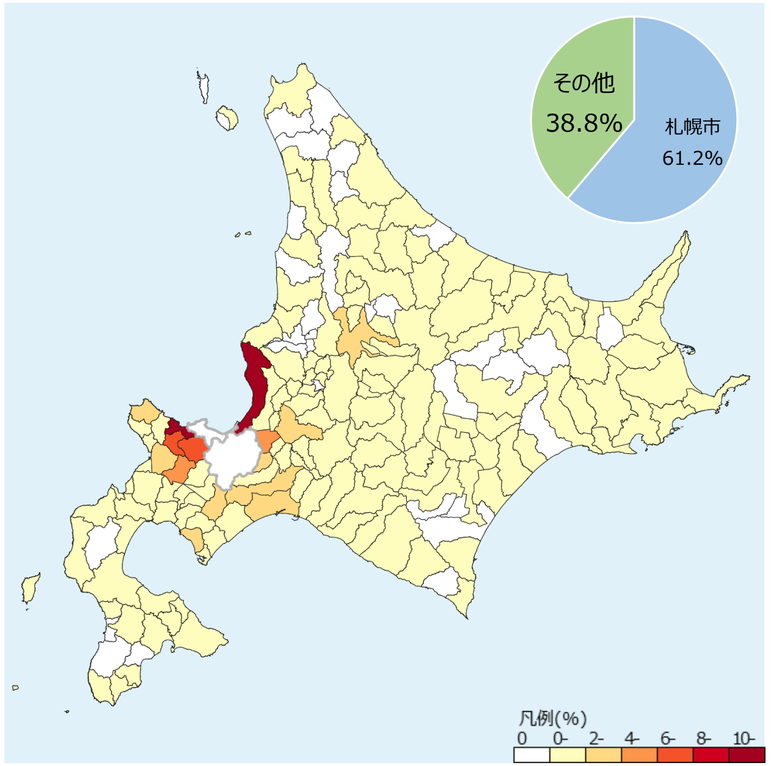
➢ 道全体では小樽・札幌のほか石狩・余市との周遊が特に多く、次いで仁木が多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈全道〉

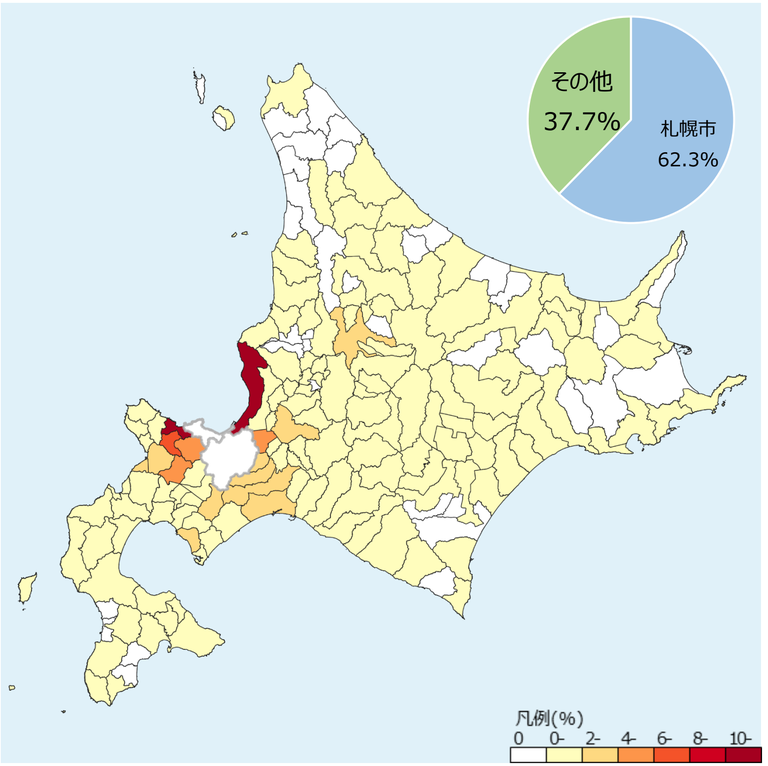
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

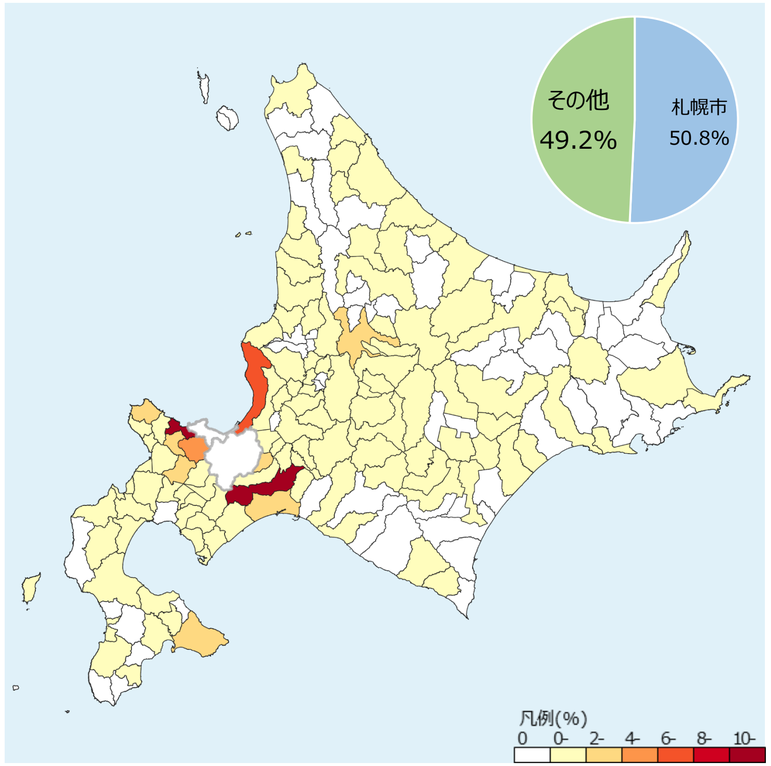
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

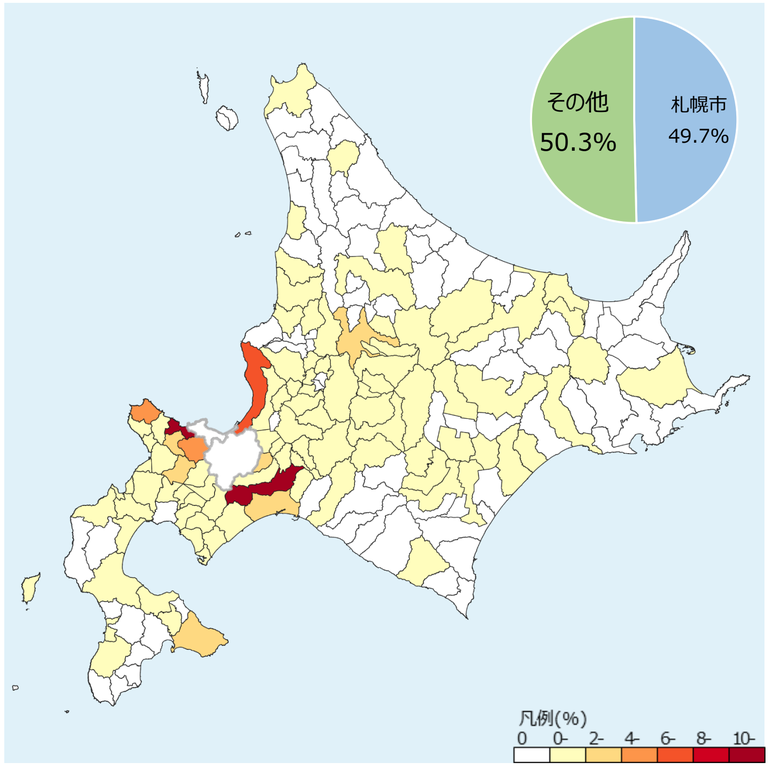
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで石狩が多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈全道〉

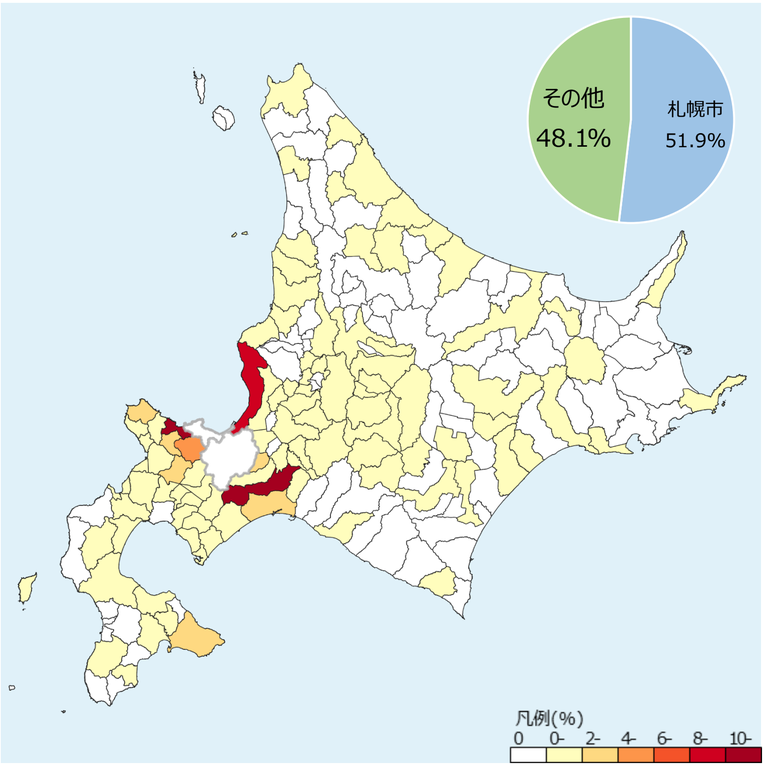
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

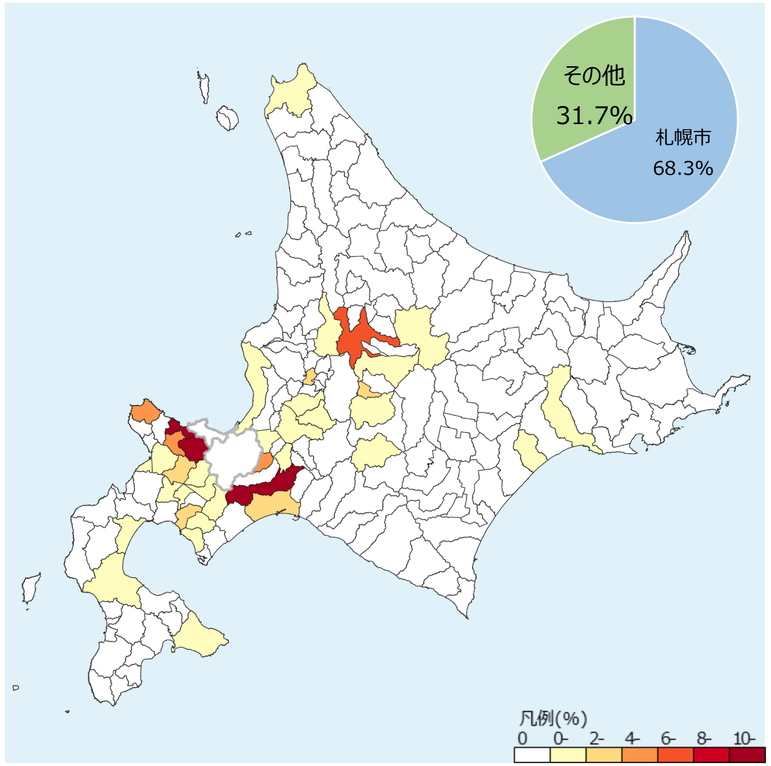
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

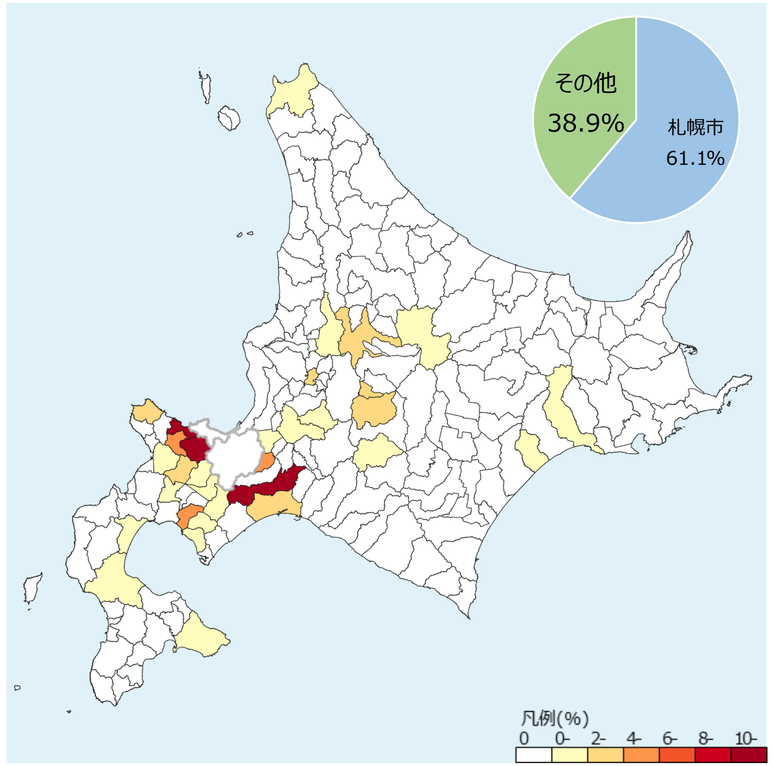
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで旭川が多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈全道〉

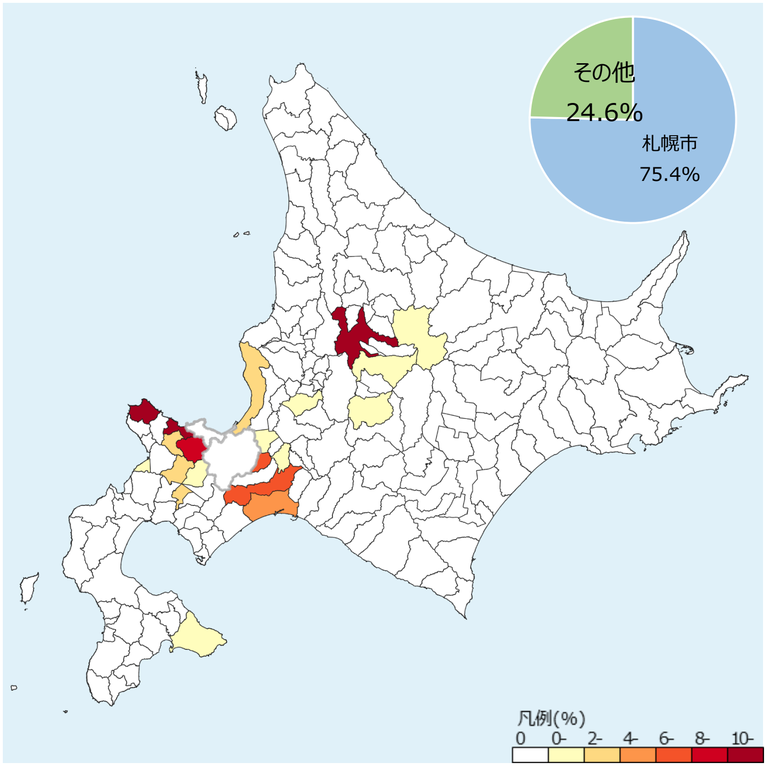
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

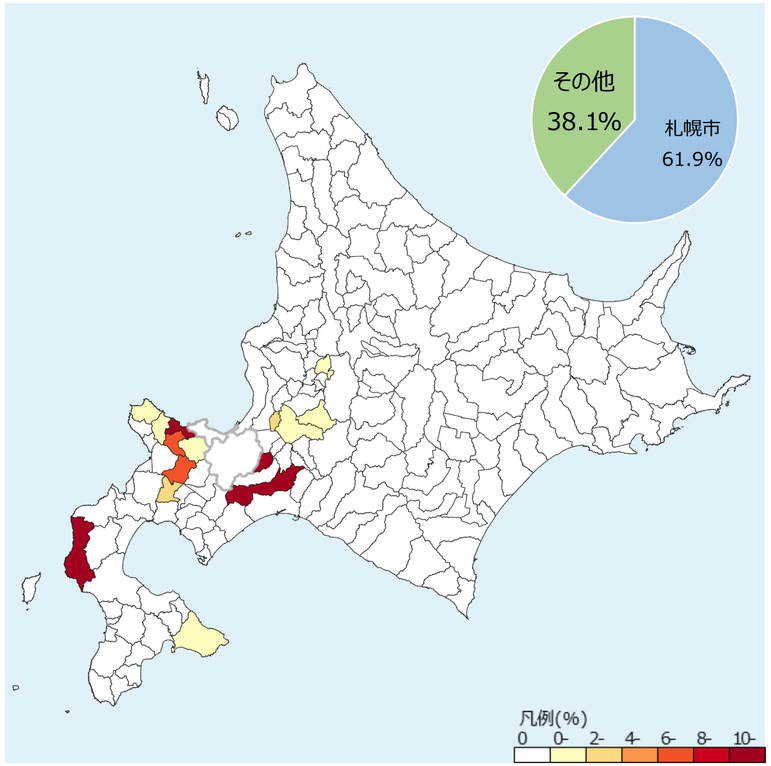
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

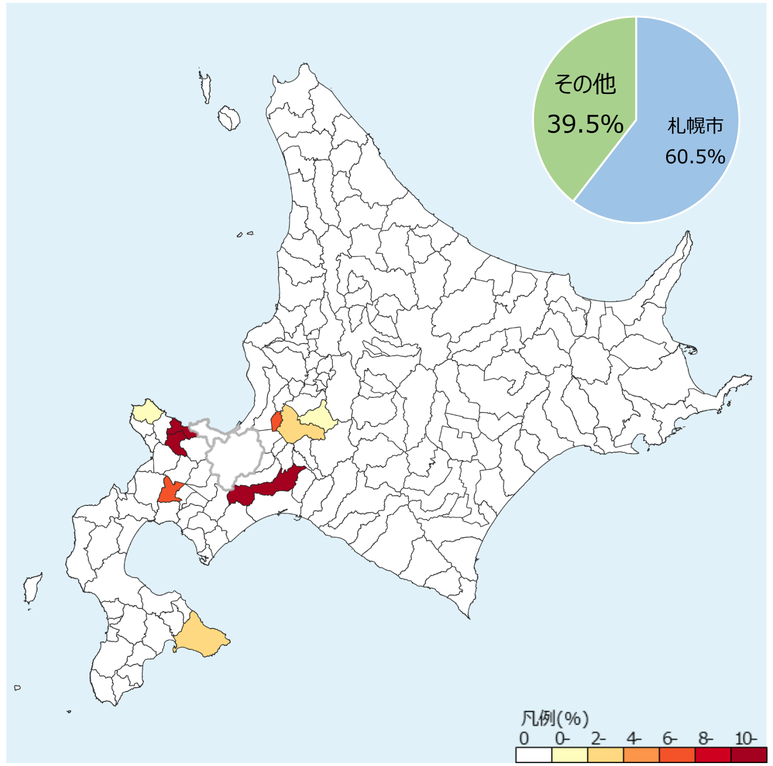
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・北広島・せたな・余市との周遊が特に多く、次いで倶知安・仁木が多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈全道〉

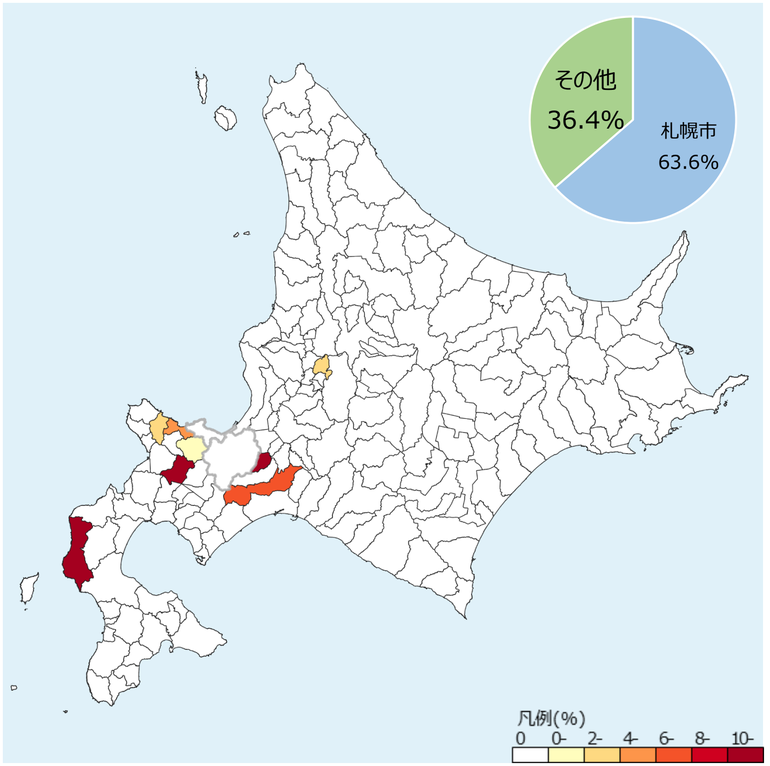
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

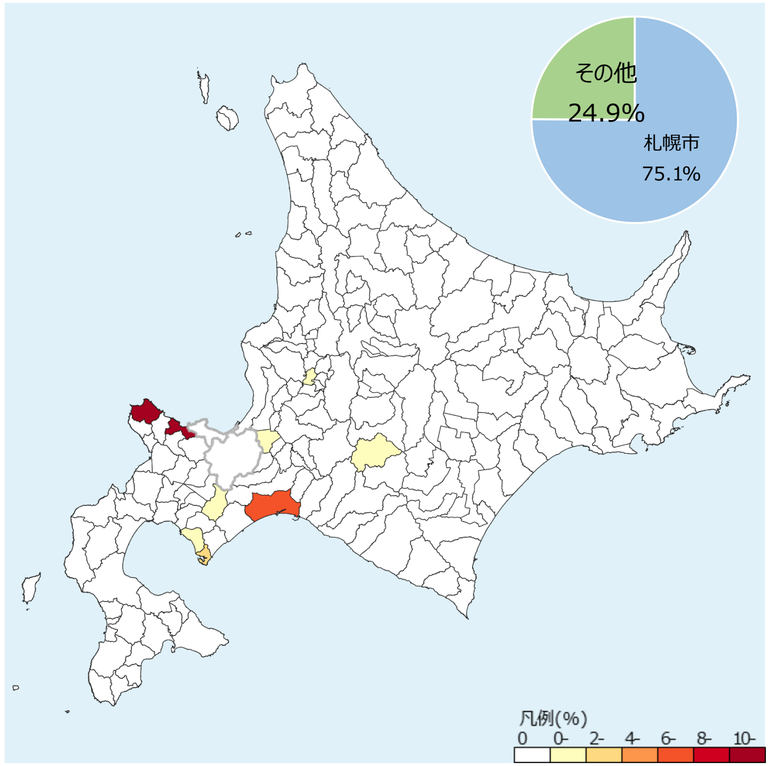
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

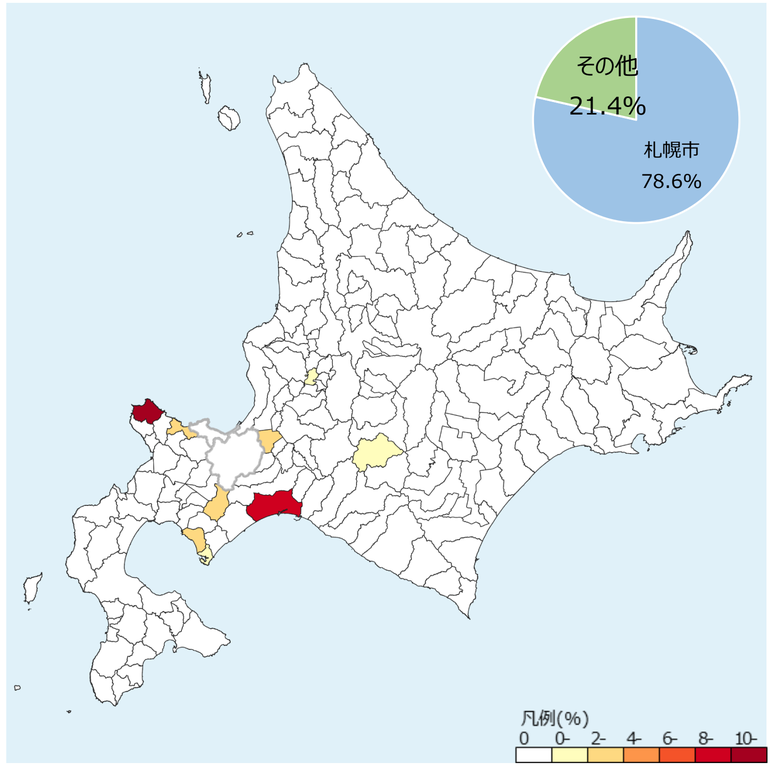
➢ 道全体では小樽・札幌のほか積丹・余市との周遊が特に多く、次いで苫小牧が多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈全道〉

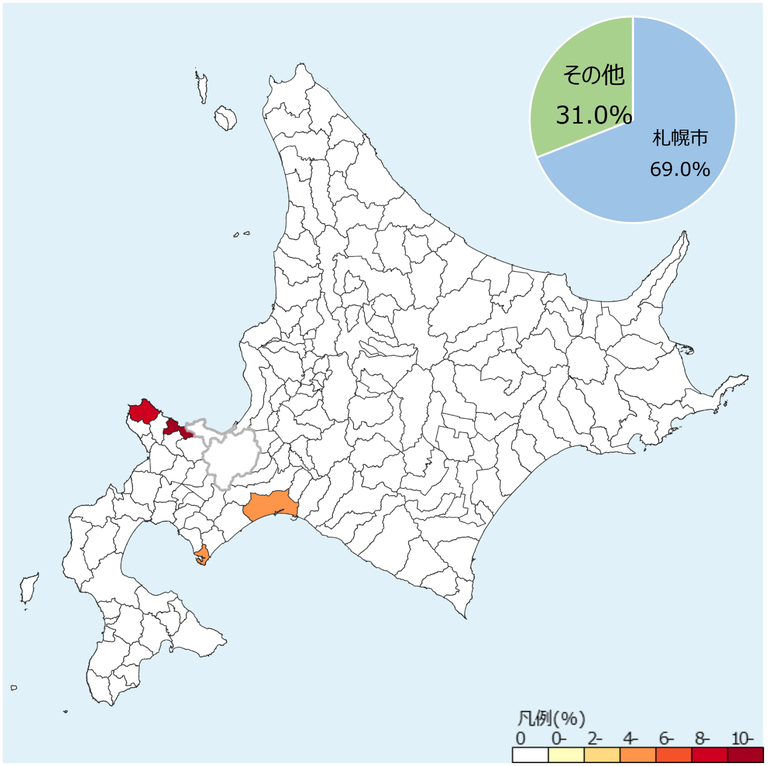
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

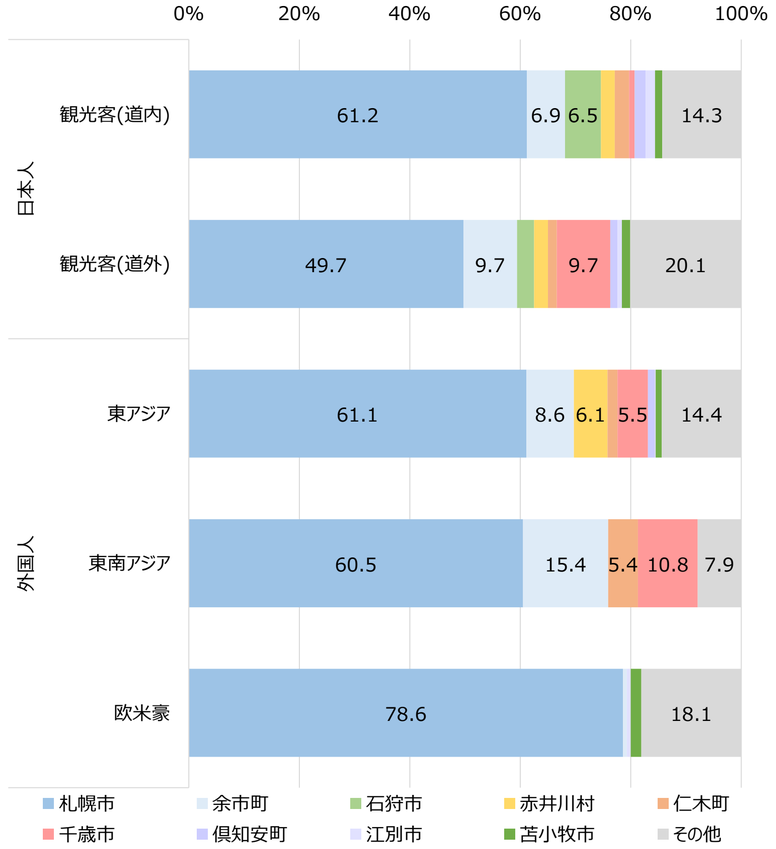
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

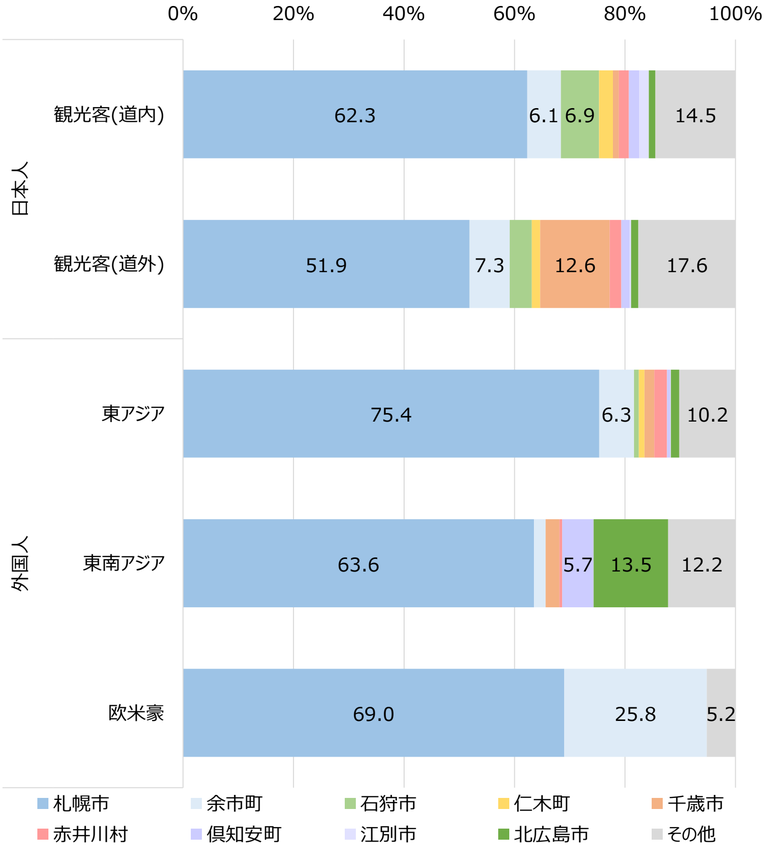
- 来訪前の周遊先について、インバウンド（特に欧米豪）で札幌市が特に多い。
- 来訪後の周遊先について、インバウンド（特に東アジア）で札幌市が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈全道〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

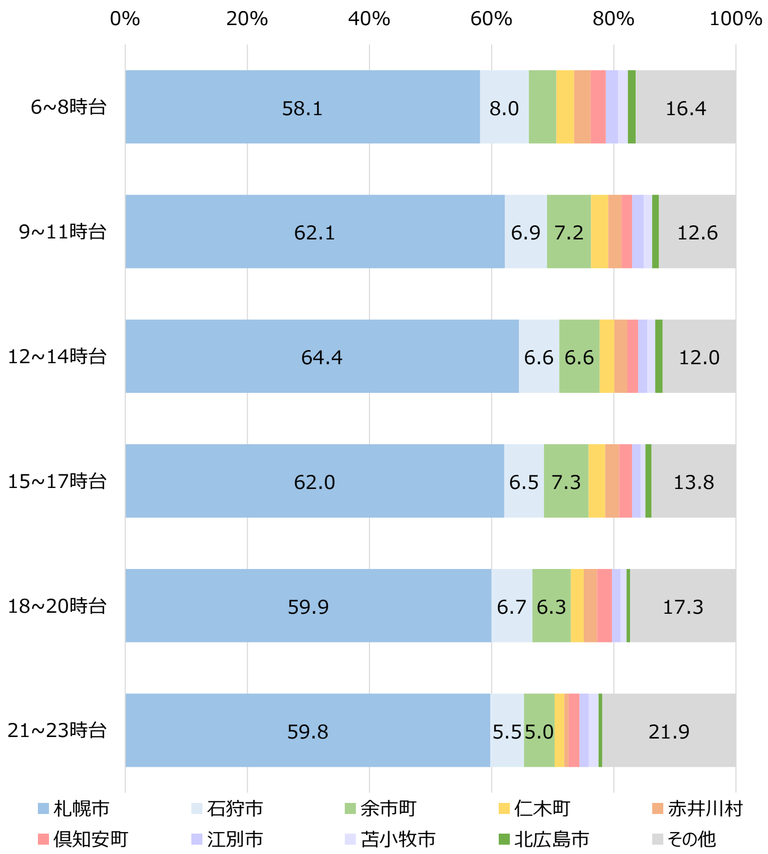
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

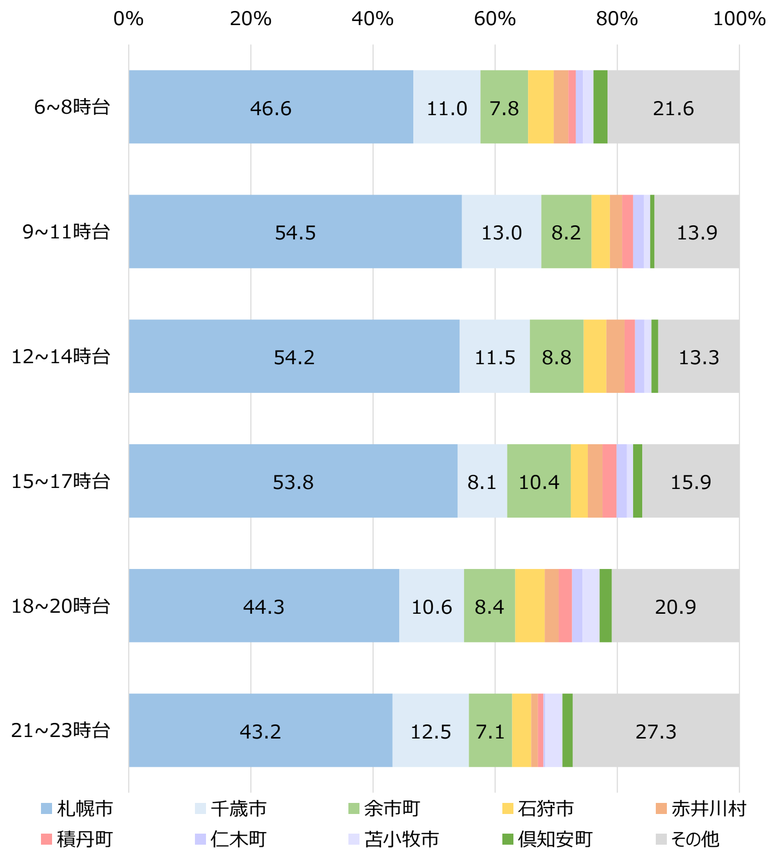
- 道外客は札幌市との周遊が9~11時台に特に多い。千歳市は9~11時台、余市町は15~17時台に特に多い。
- インバウンドは札幌市との周遊が9~11時台に特に多い。千歳市は21~23時台、余市町は15~17時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈全道〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

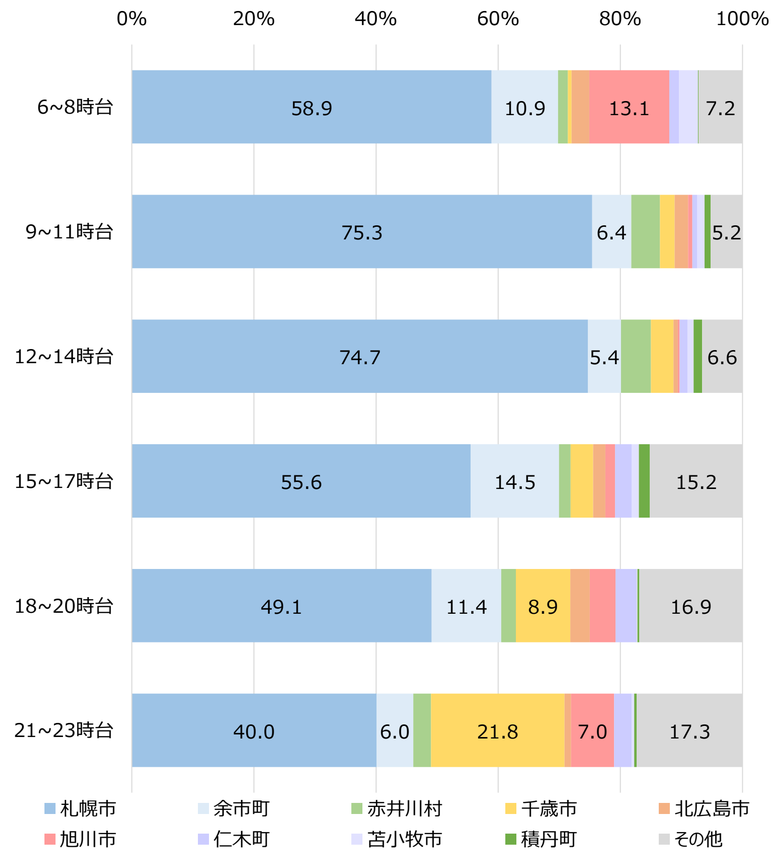
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

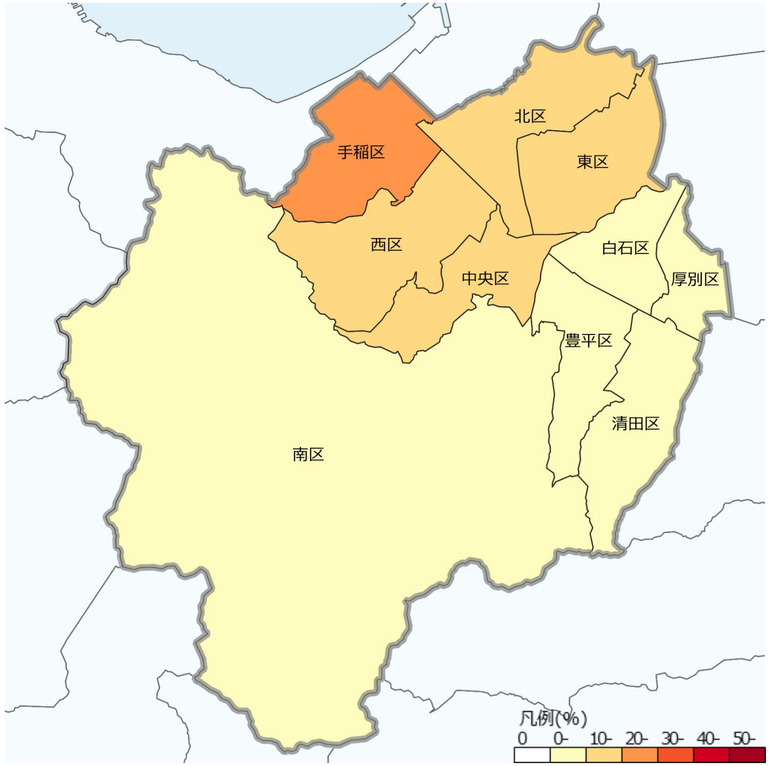
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

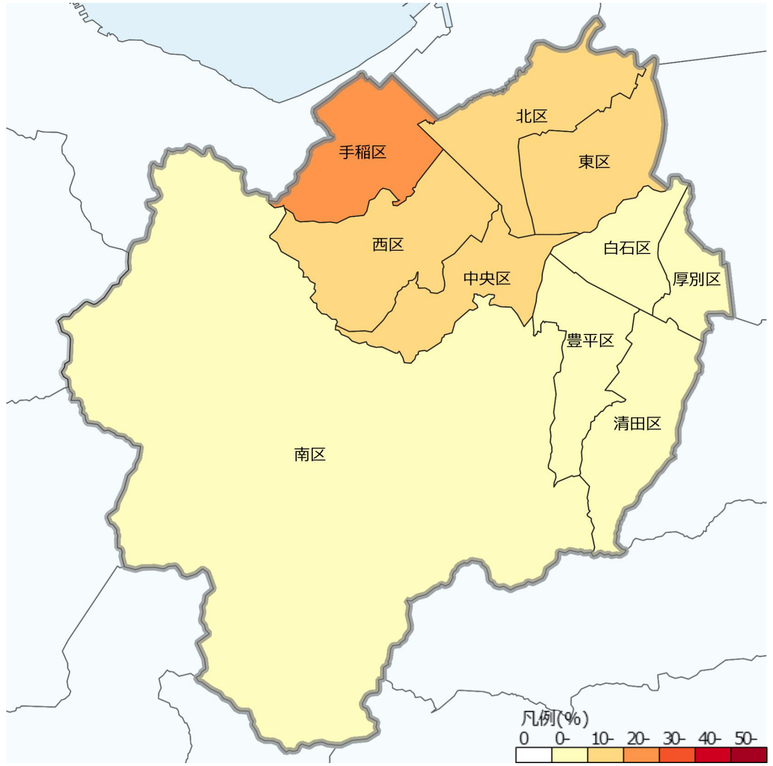
➢ 札幌市との周遊については、手稲区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈札幌市区別〉

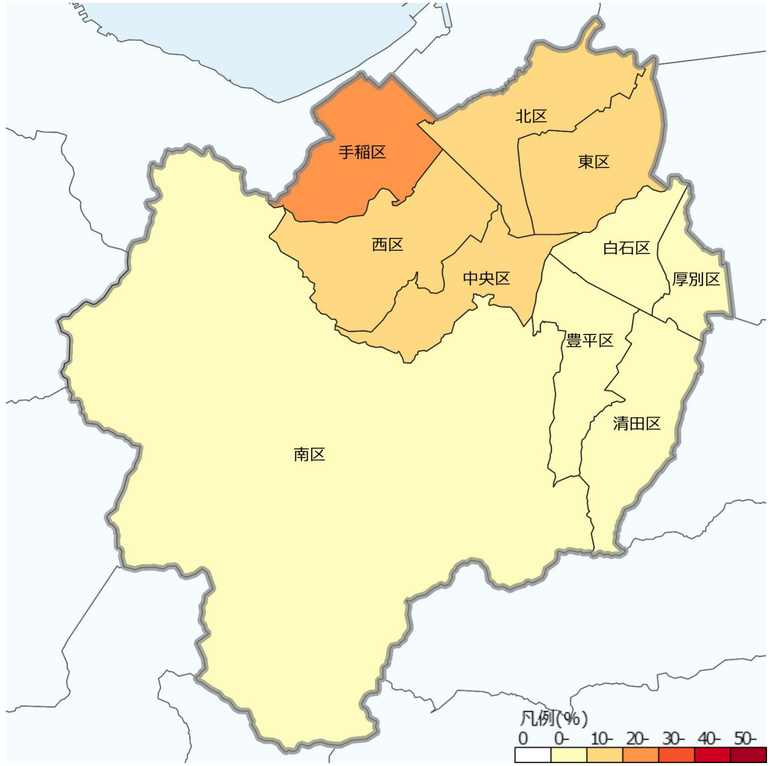
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

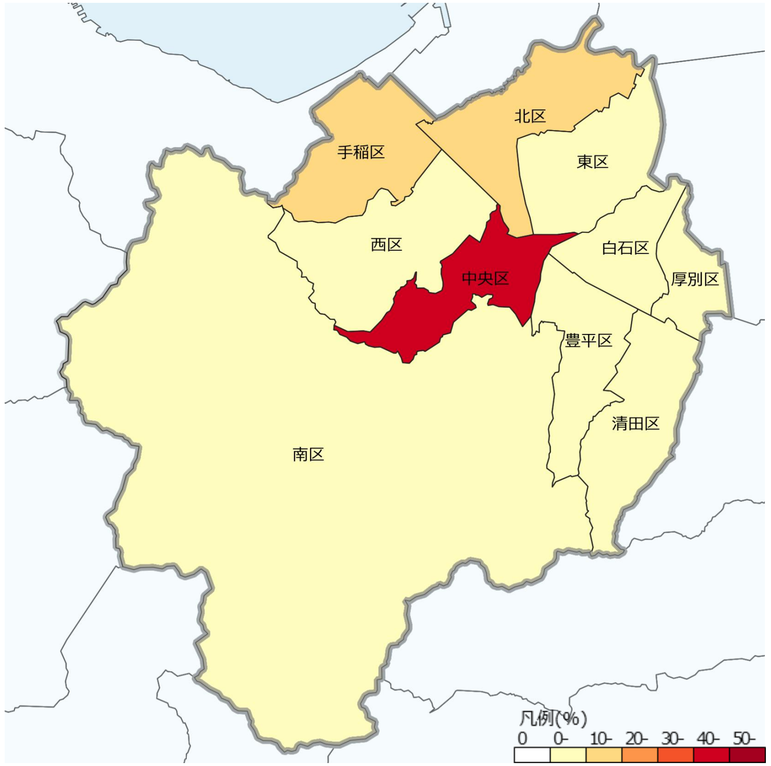
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

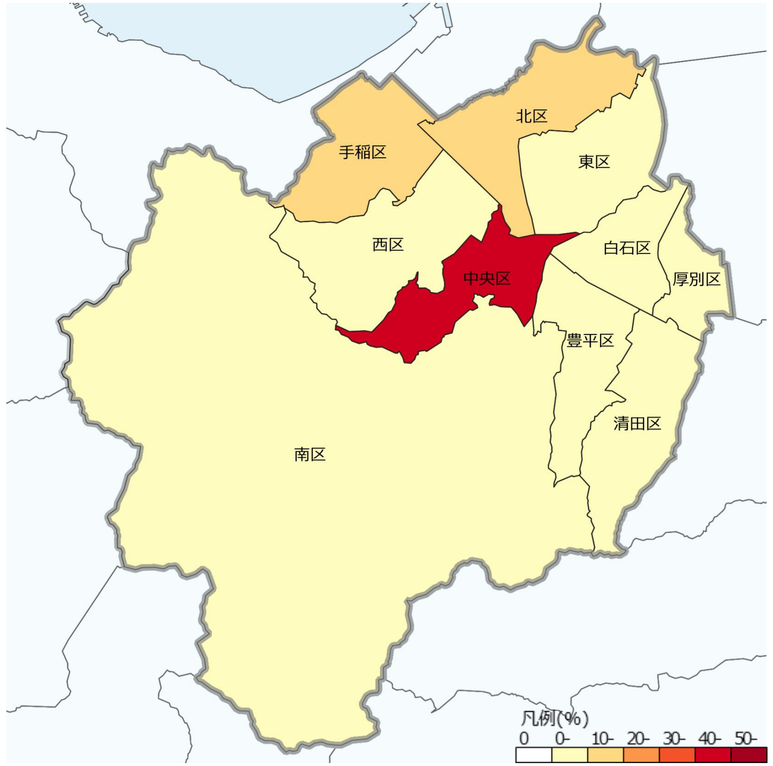
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈札幌市区別〉

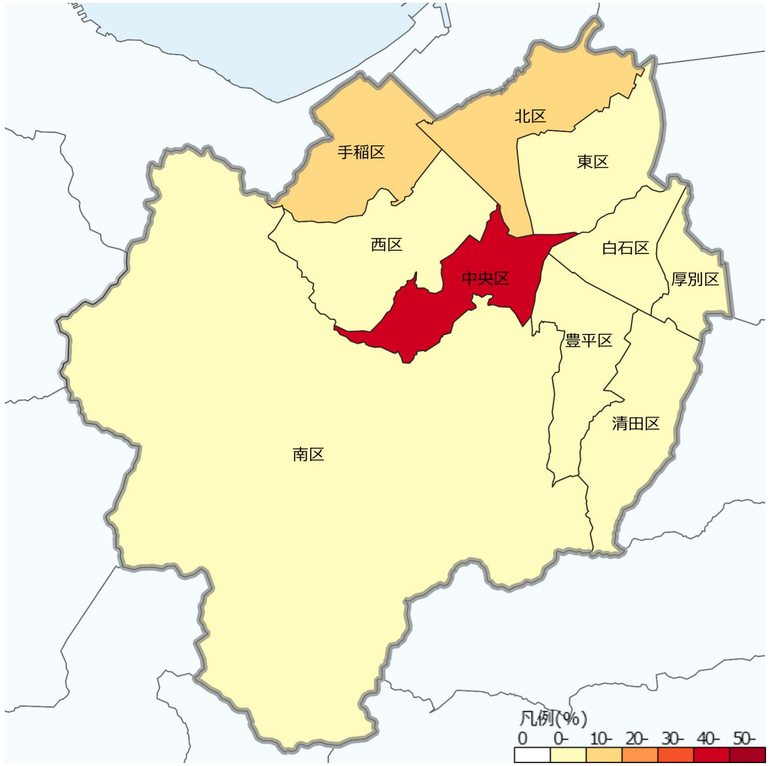
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

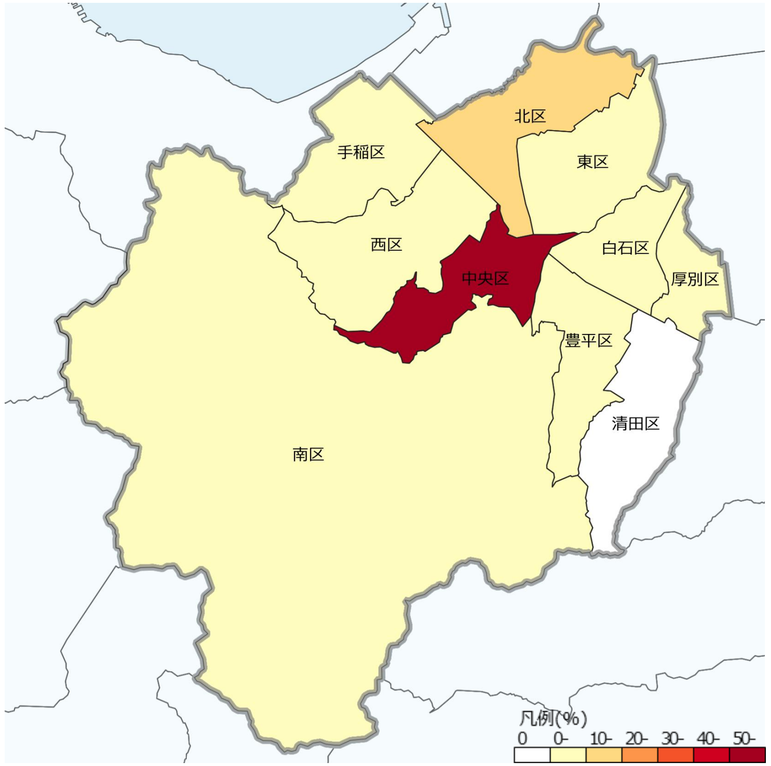
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

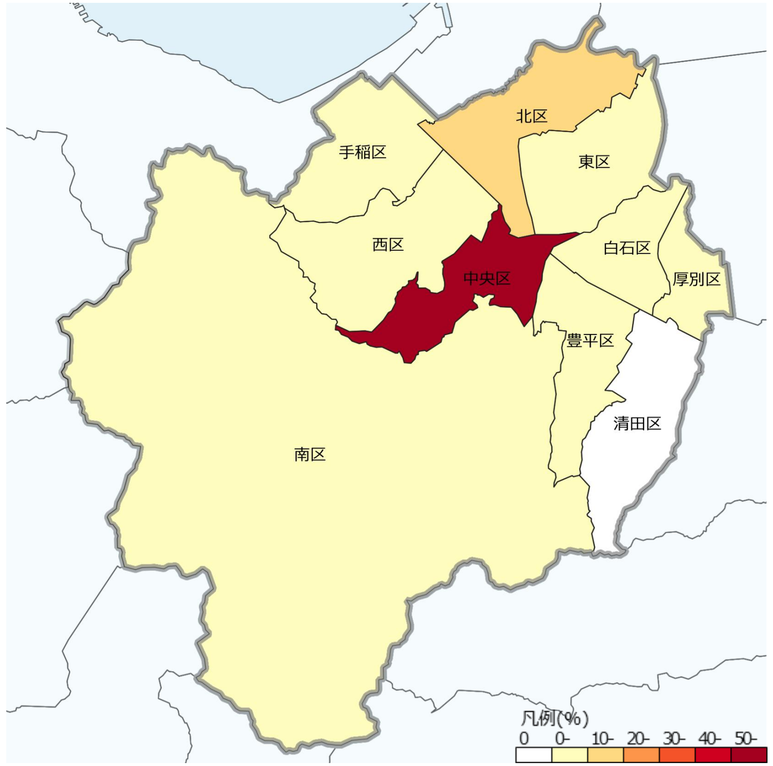
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈札幌市区別〉

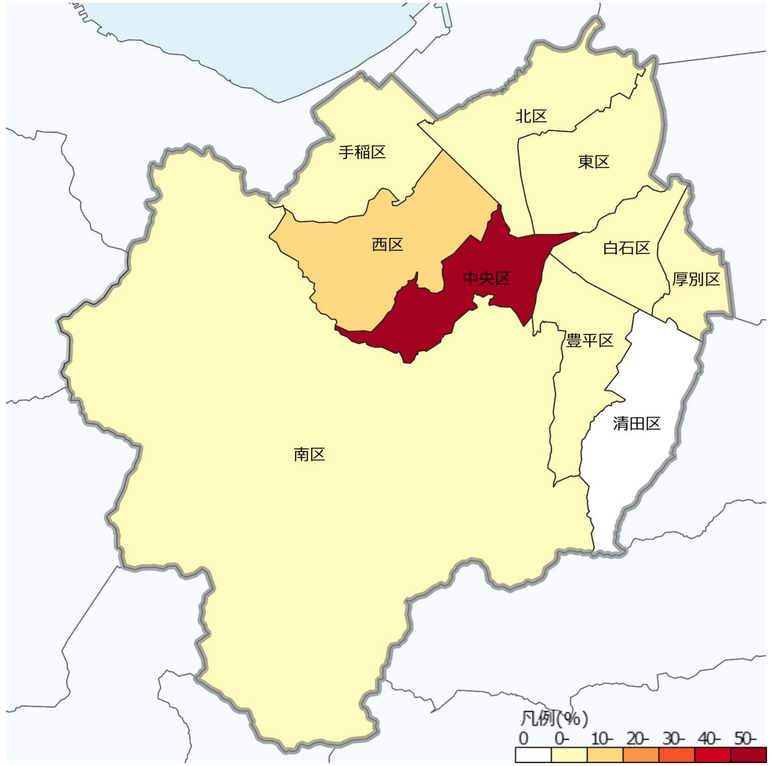
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

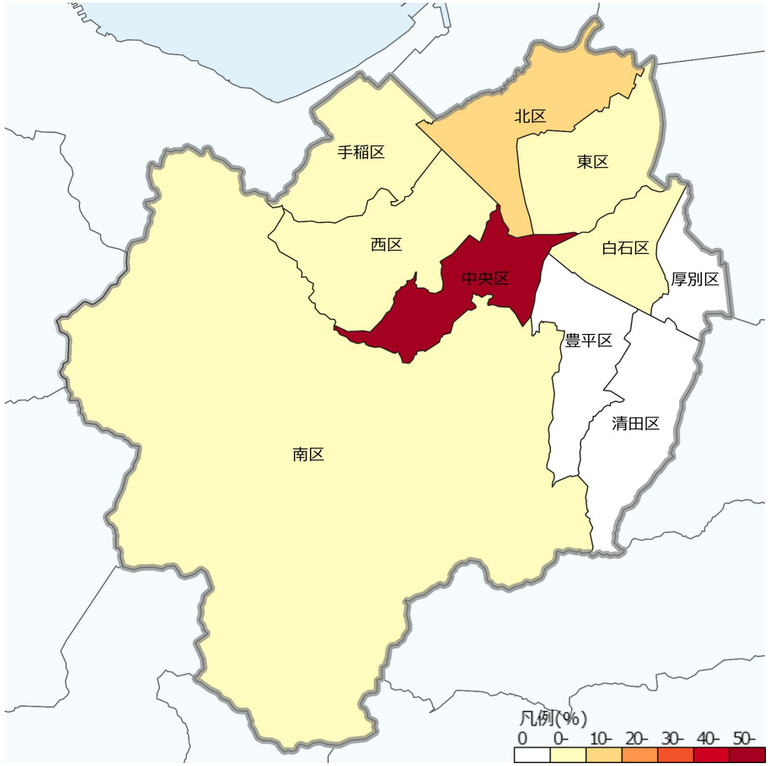
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

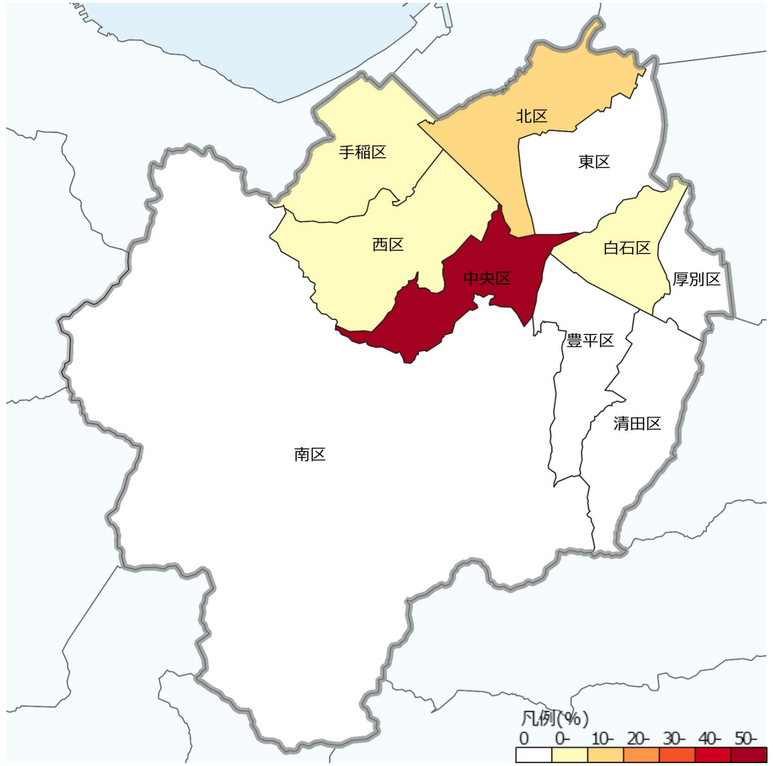
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈札幌市区別〉

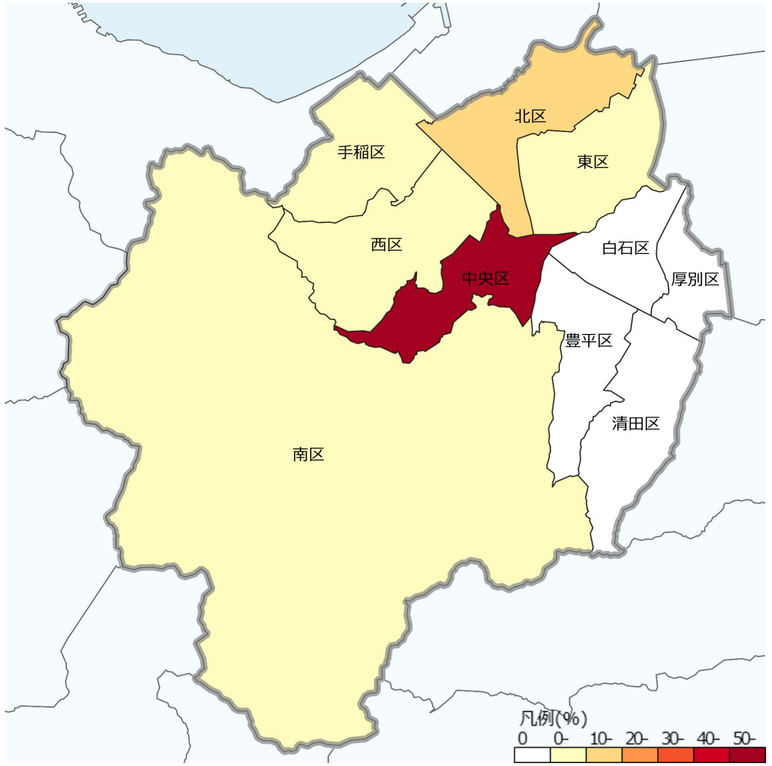
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

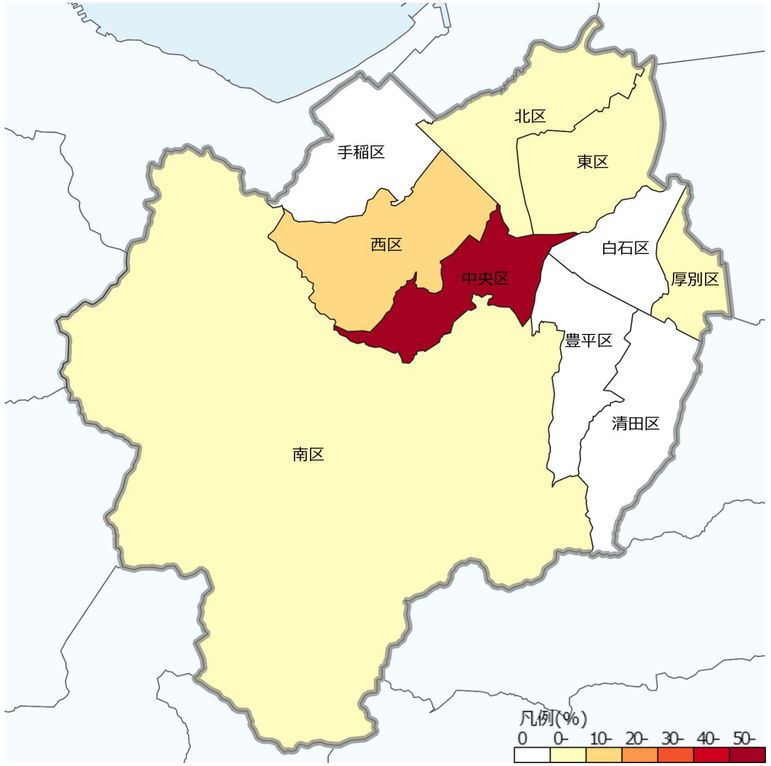
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

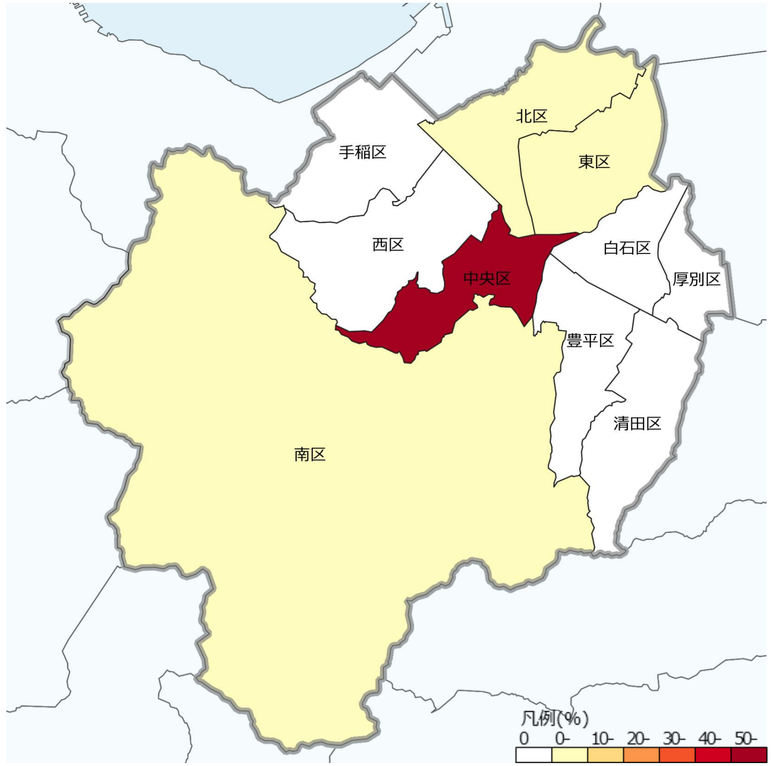
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈札幌市区別〉

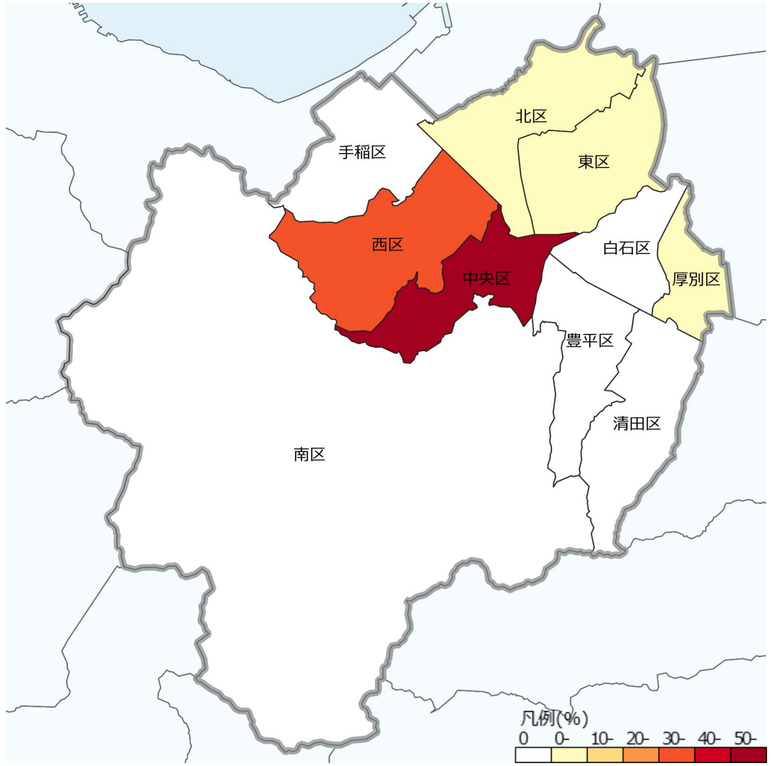
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

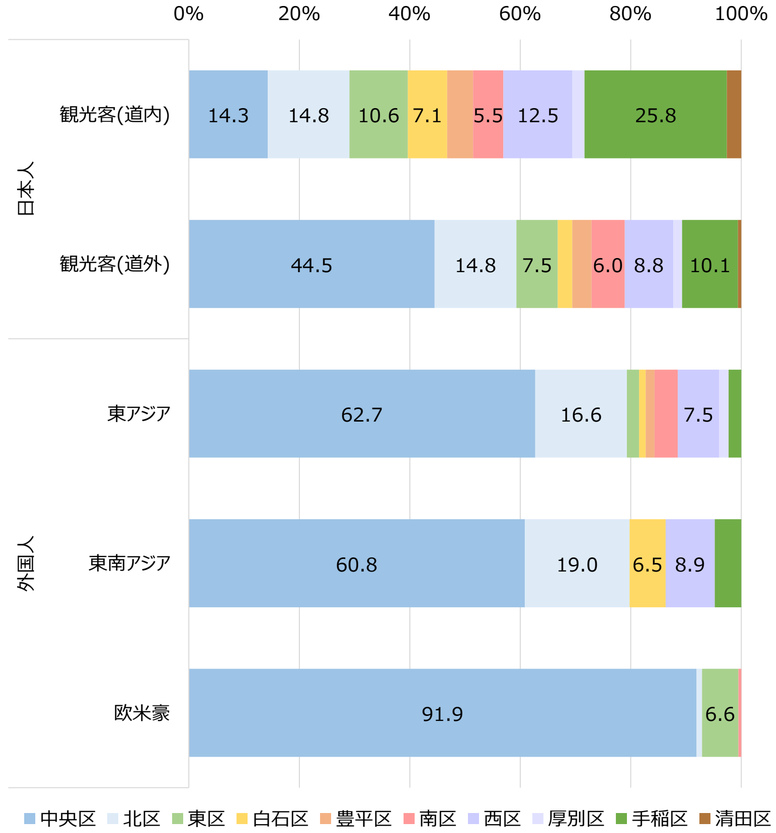
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

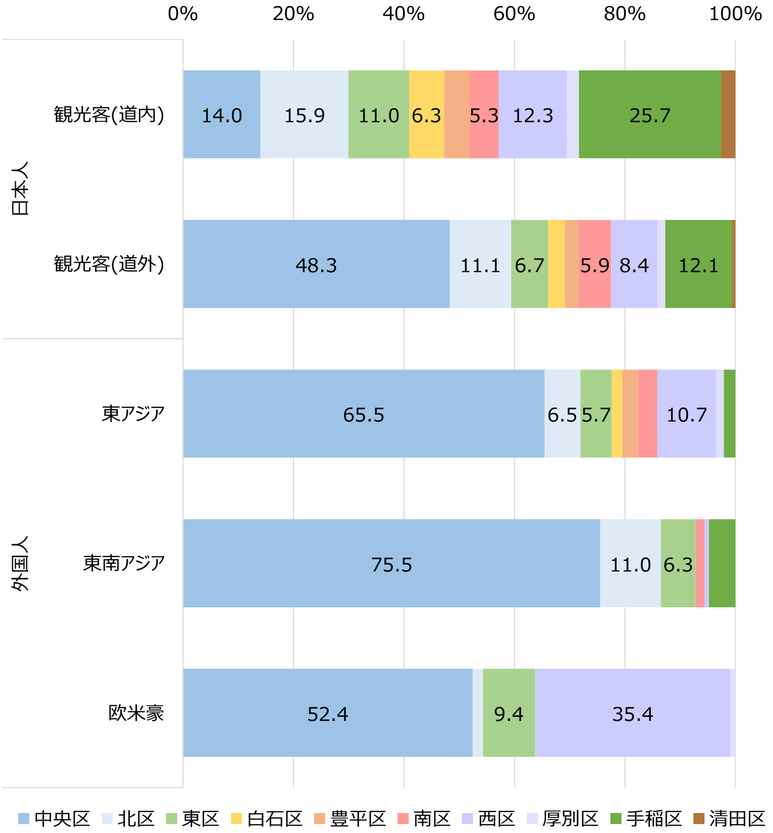
- 来訪前の周遊先について、インバウンド（特に欧米豪）で中央区が特に多い。
- 来訪後の周遊先について、インバウンド（特に東南アジア）で中央区が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈札幌市内〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

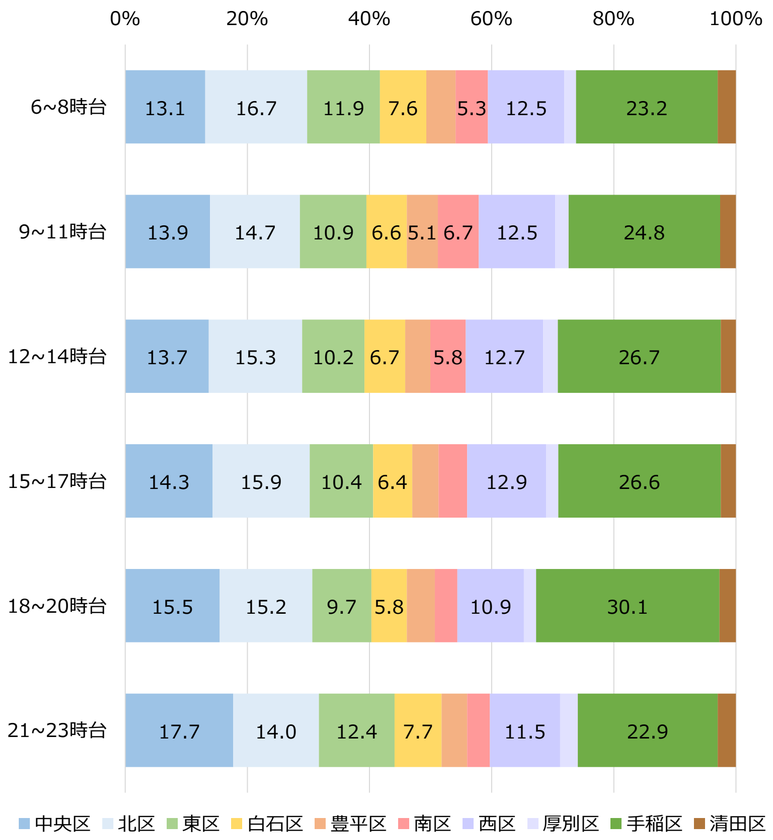
小樽市全域の分析結果（2026年5月）

全国インバウンド統計

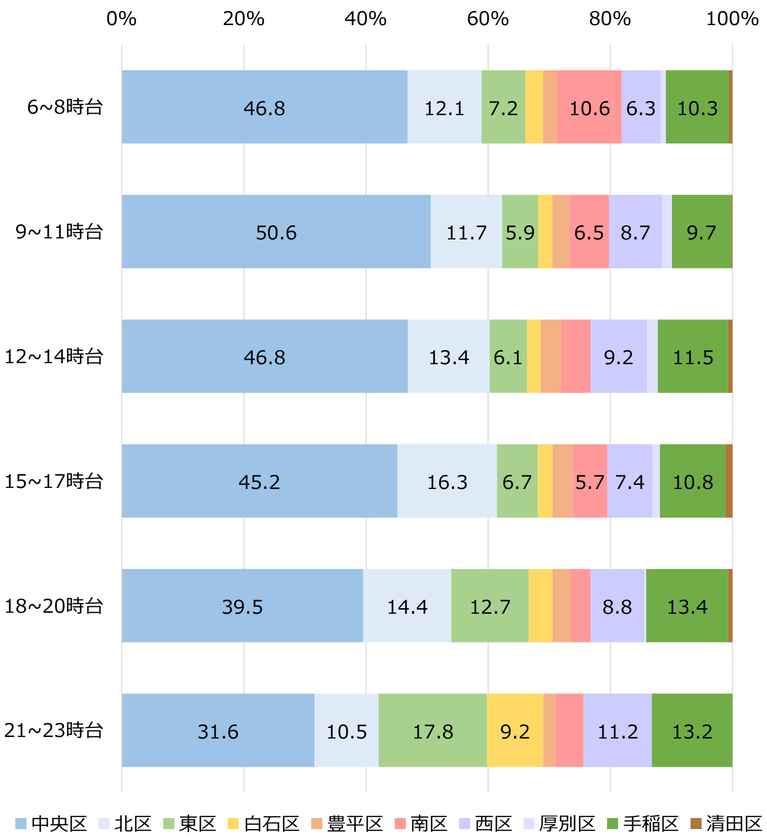
- 道外客は中央区との周遊が9~11時台に特に多い。東区は21~23時台、北区は15~17時台に特に多い。
- インバウンドは中央区との周遊が6~8時台に特に多い。北区は21~23時台、西区は21~23時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈札幌市内〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

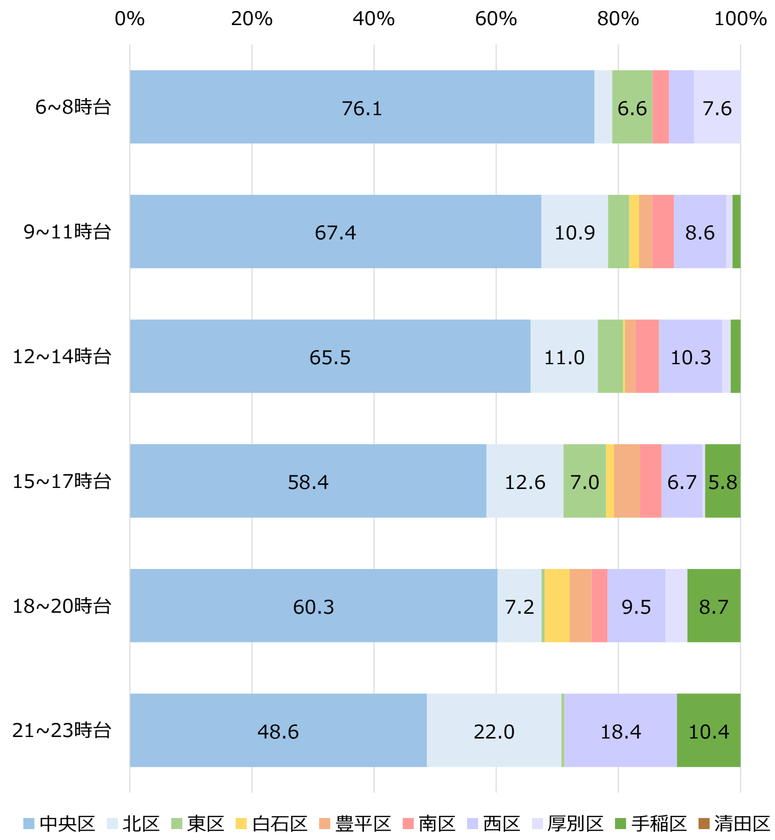
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市全域（2026年6月）

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

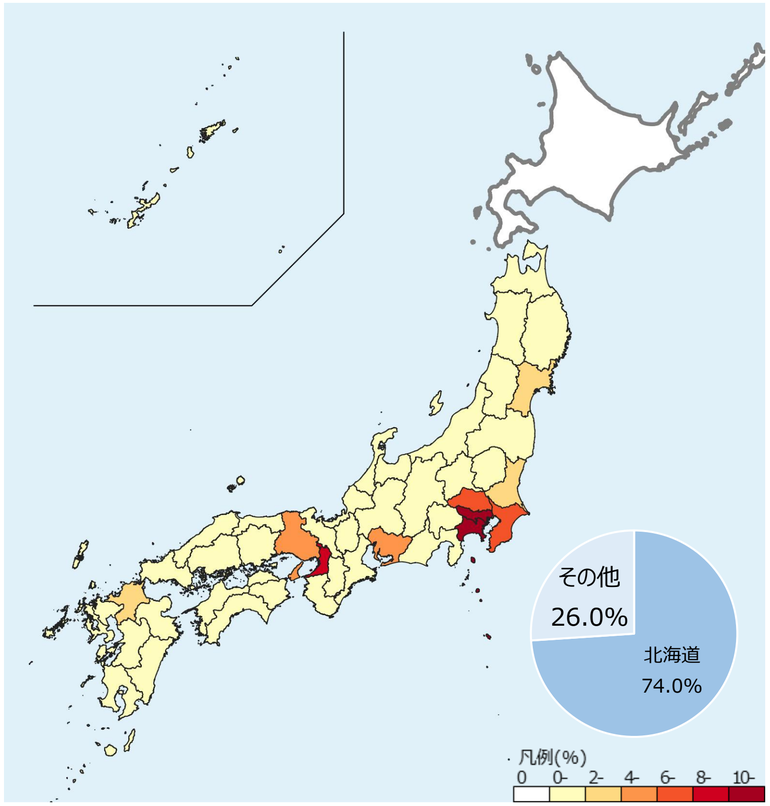
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

- 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか江別・石狩・余市が多い。
- インバウンドは台湾が最も多く2割程度を占め、次いでシンガポール・香港が多い。

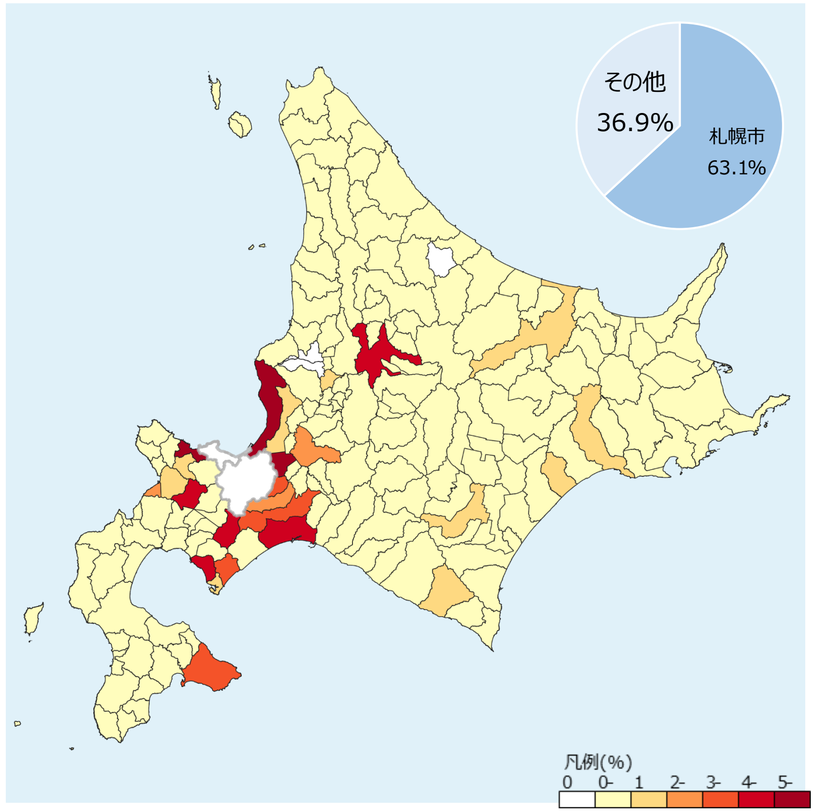
● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客3,500人、道内客19,000人（一日当たり）



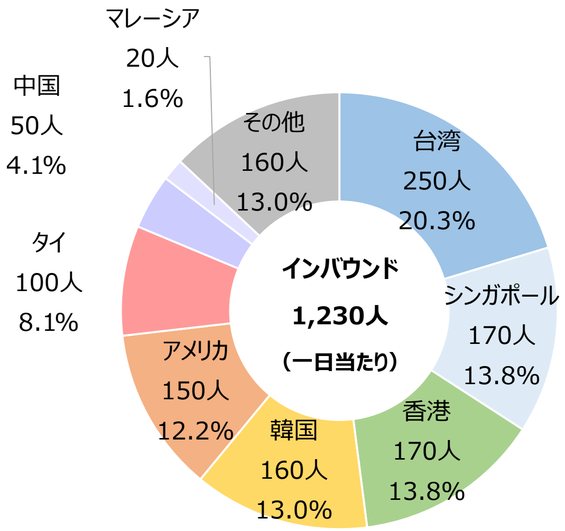
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

● 居住地（インバウンド）



※インバウンドの合計値を100%としている。
なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

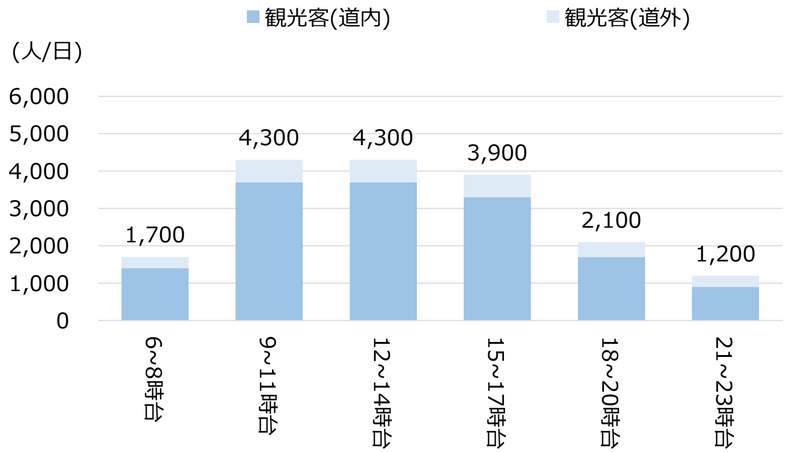
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

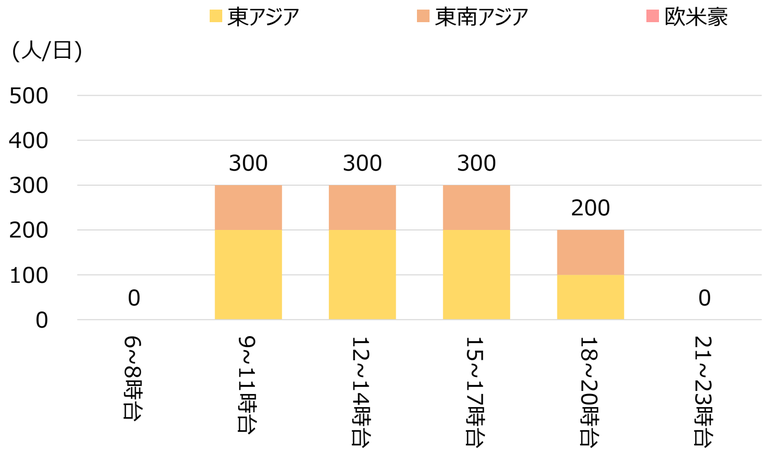
- 時間帯あたり滞在人数について、日本人は9~11時台・12~14時台、インバウンドは9~11時台・12~14時台・15~17時台がピークとなっている。
- 滞在時間について、道内客は比較的短時間の滞在が多い。

● 時間帯あたり滞在人数

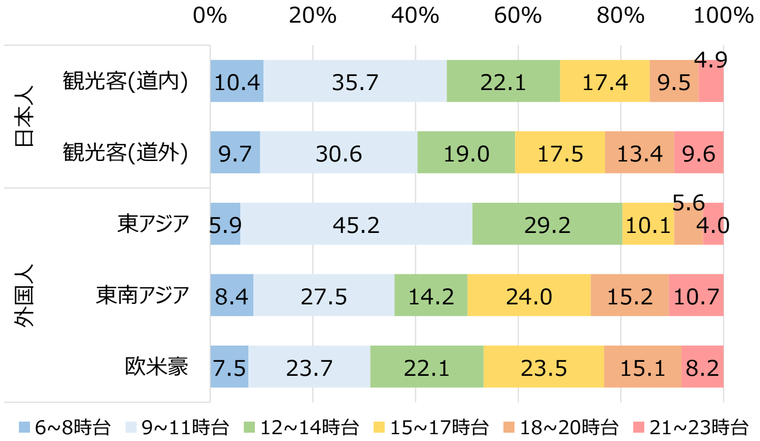
〈日本人〉



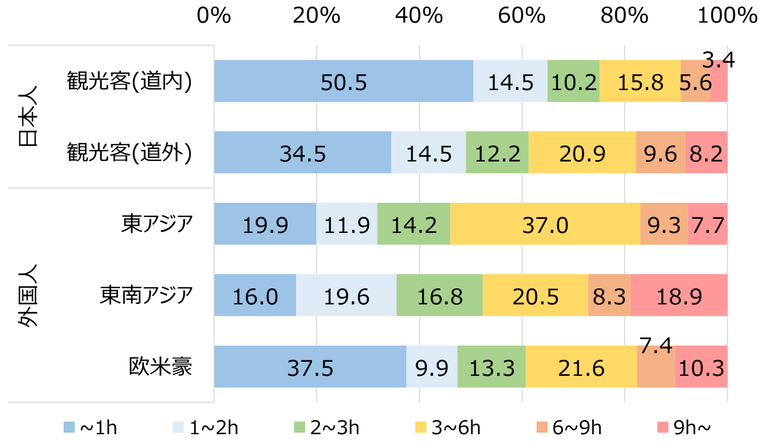
〈インバウンド〉



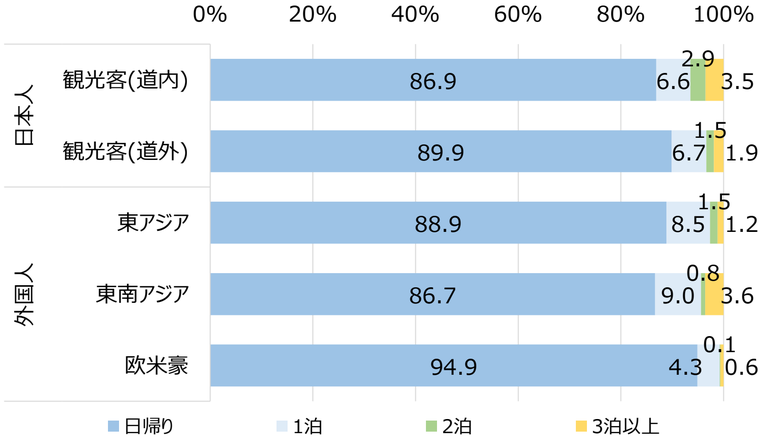
● 来訪時間帯分布



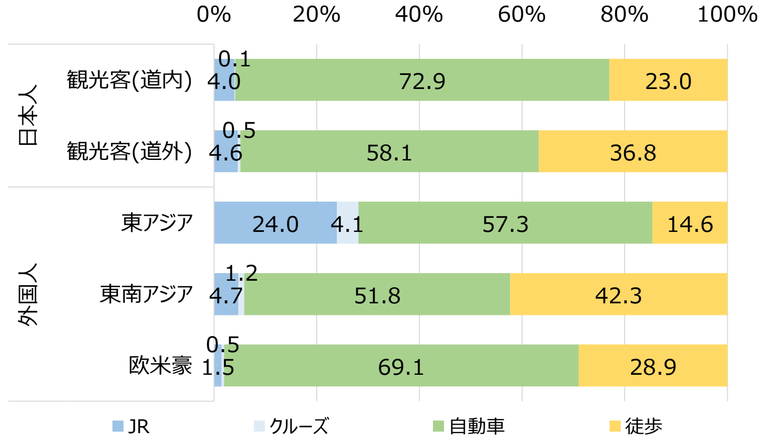
● 滞在時間分布



● 市内宿泊日数分布



● 利用交通手段分布



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

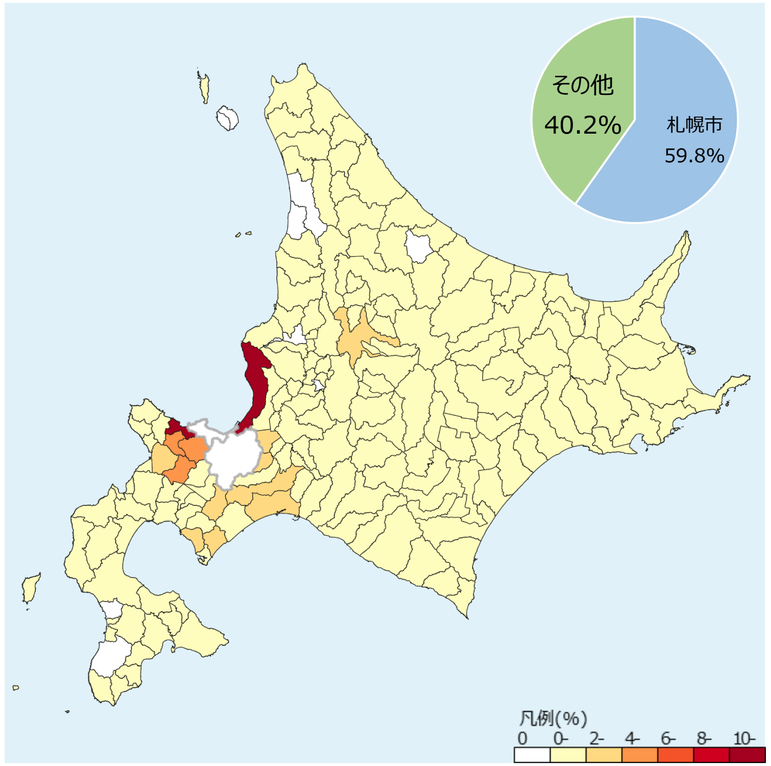
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

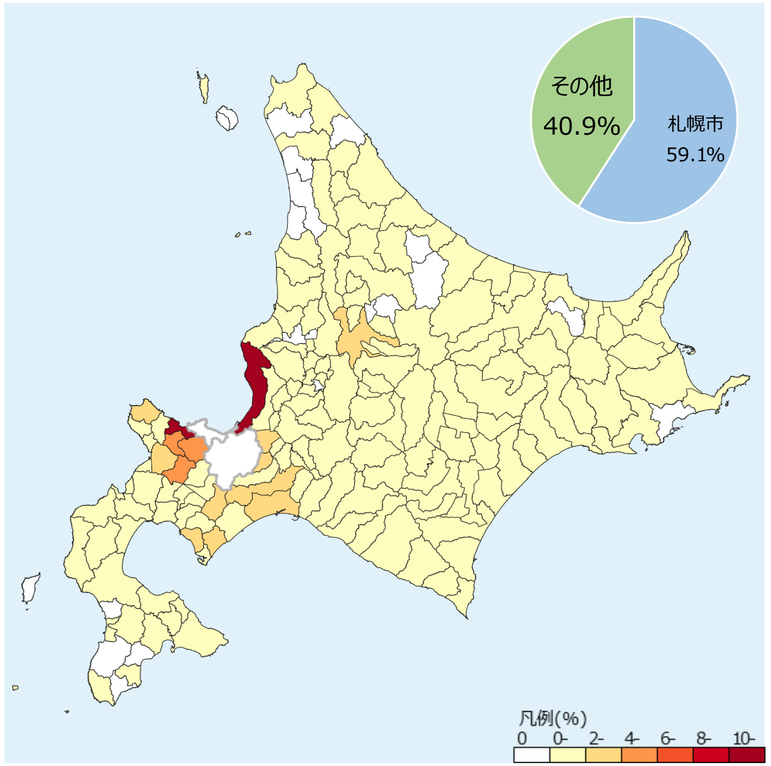
➢ 道全体では小樽・札幌のほか石狩・余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈全道〉

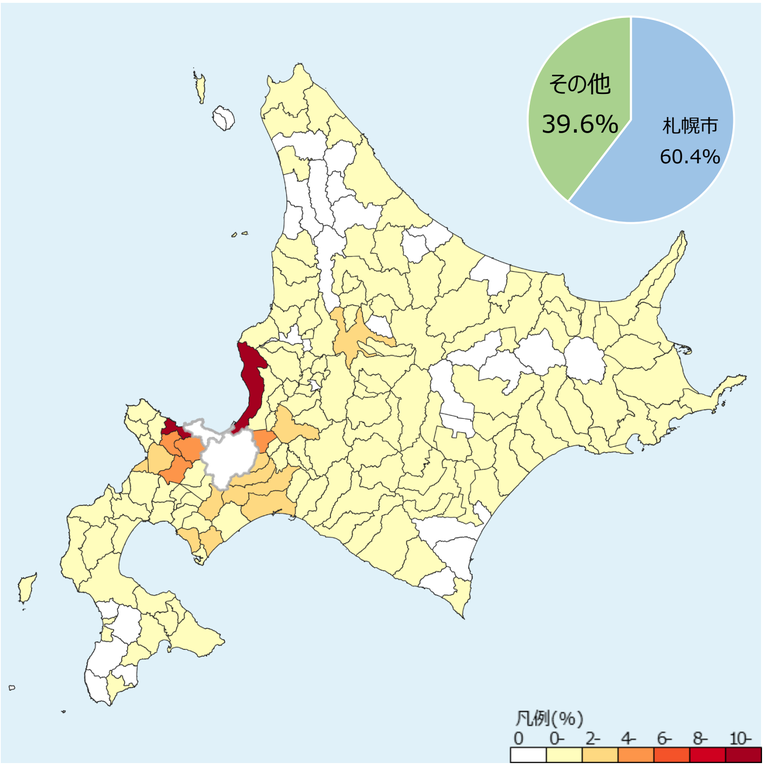
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

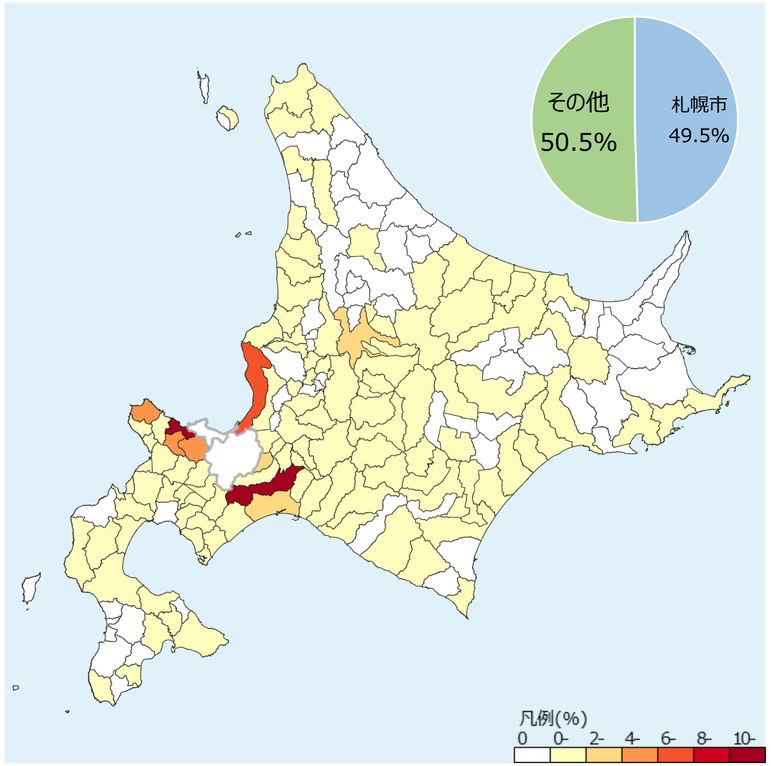
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

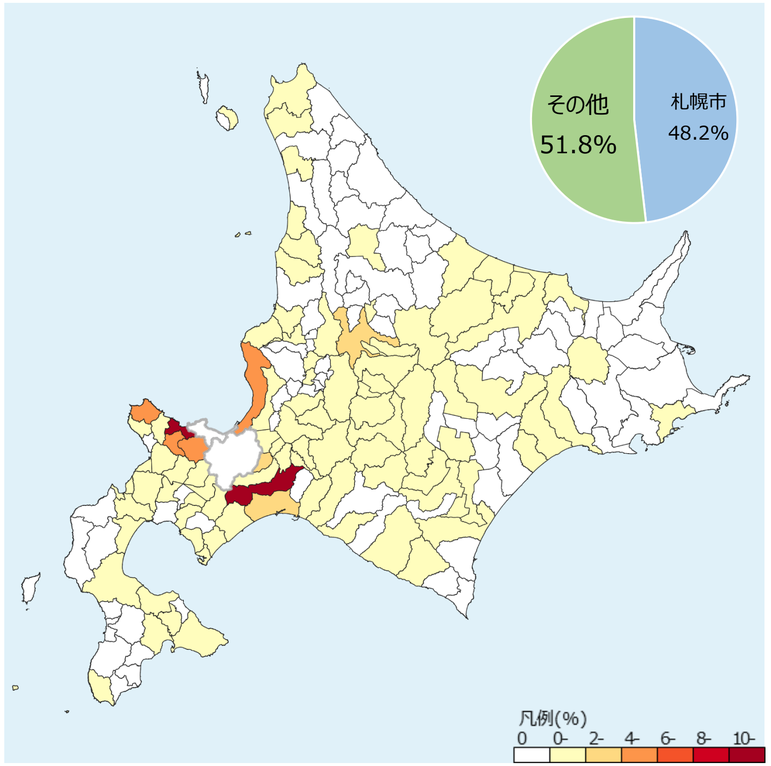
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで石狩が多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈全道〉

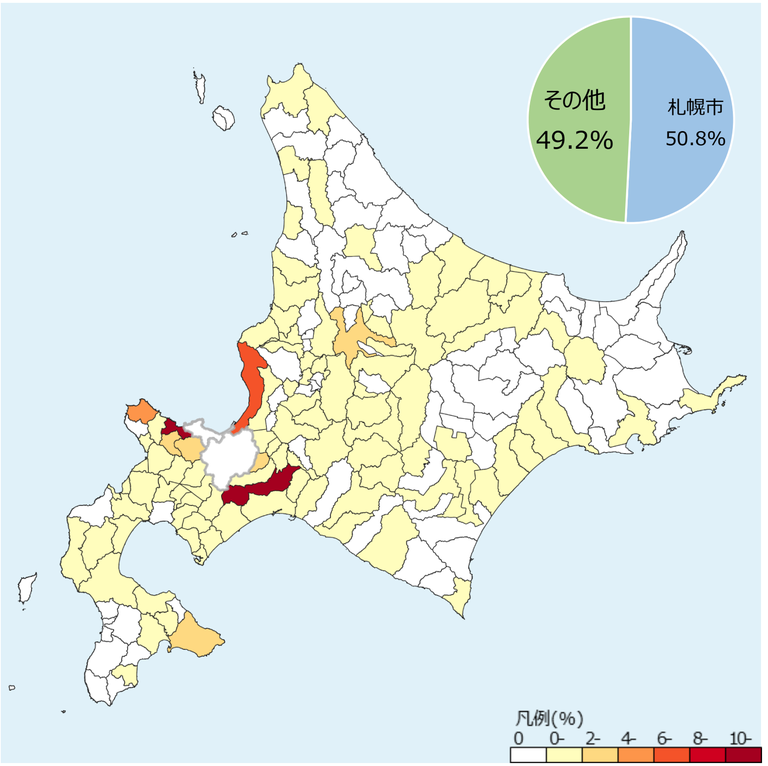
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

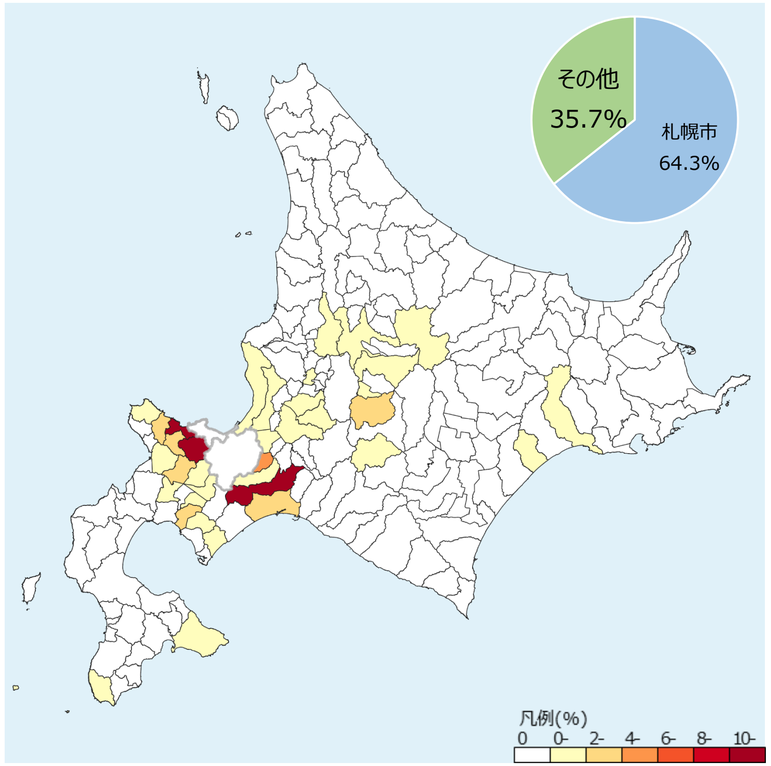
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

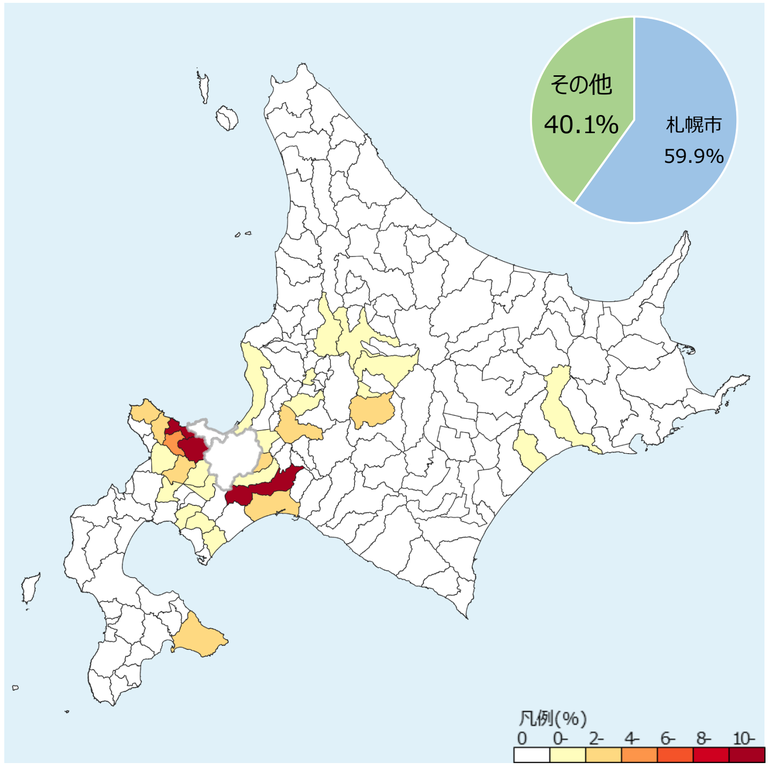
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈全道〉

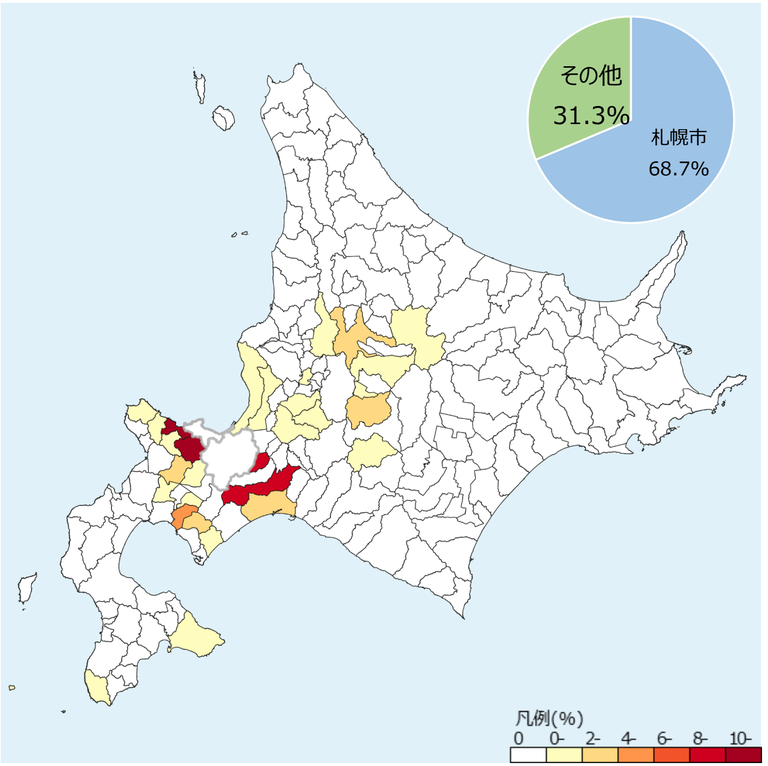
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

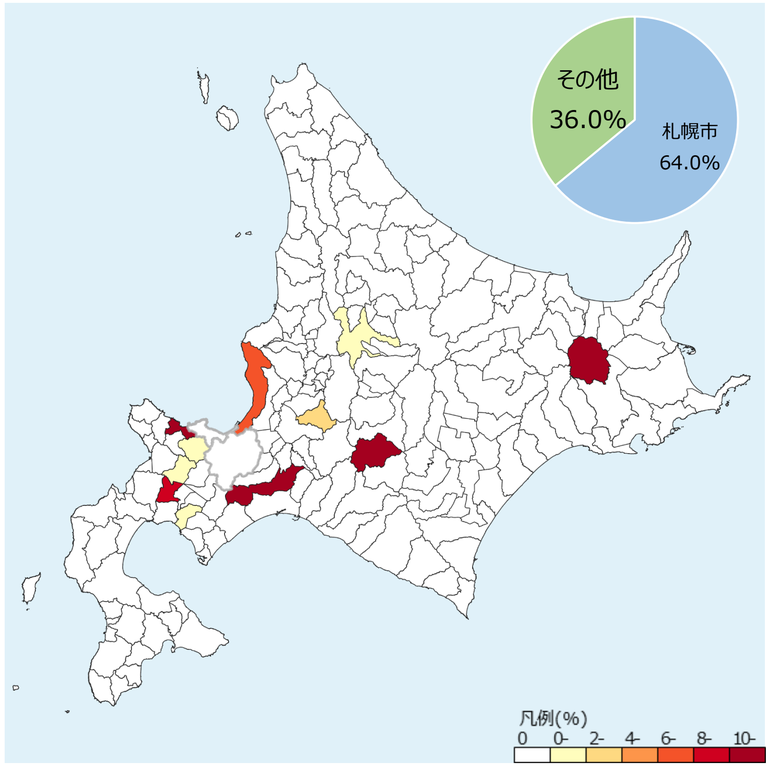
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

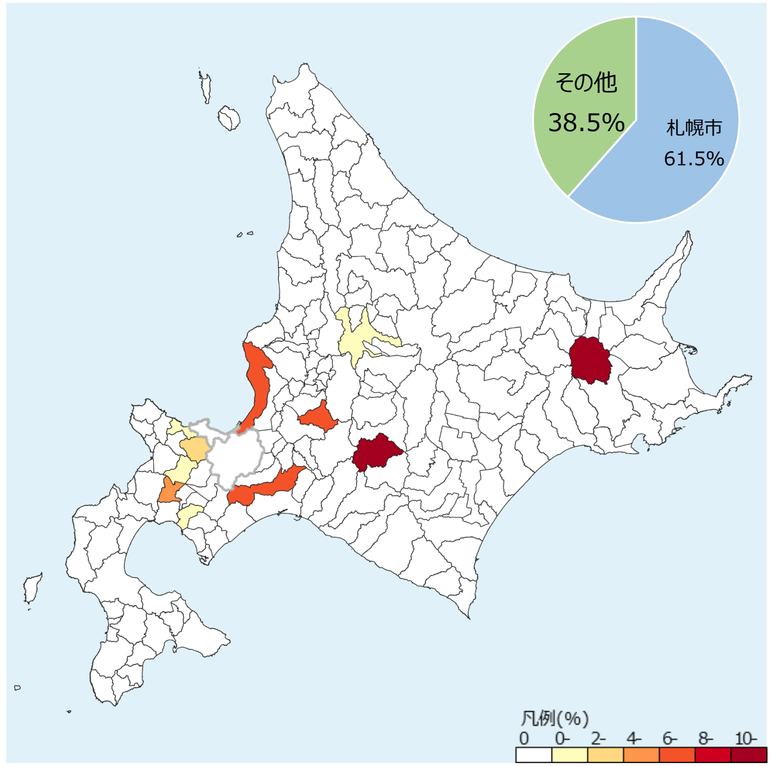
➢ 道全体では小樽・札幌のほか千歳・余市・占冠・弟子屈との周遊が特に多く、次いでニセコ・石狩が多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈全道〉

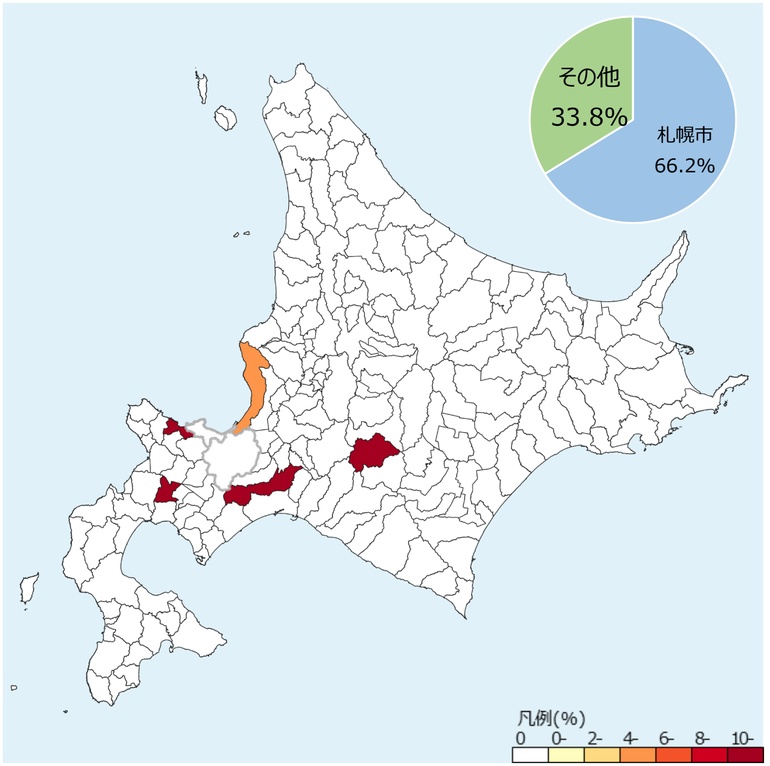
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

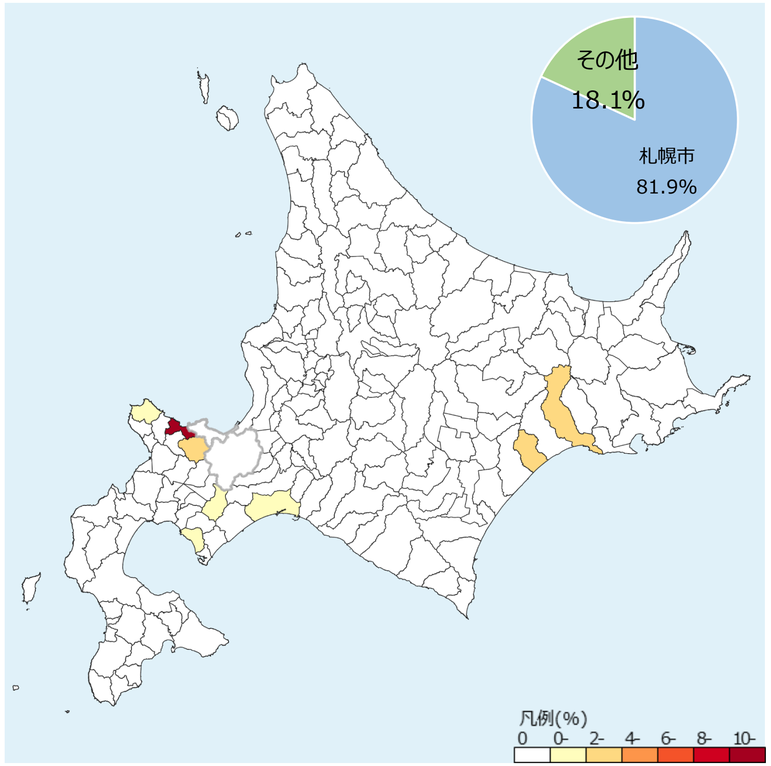
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

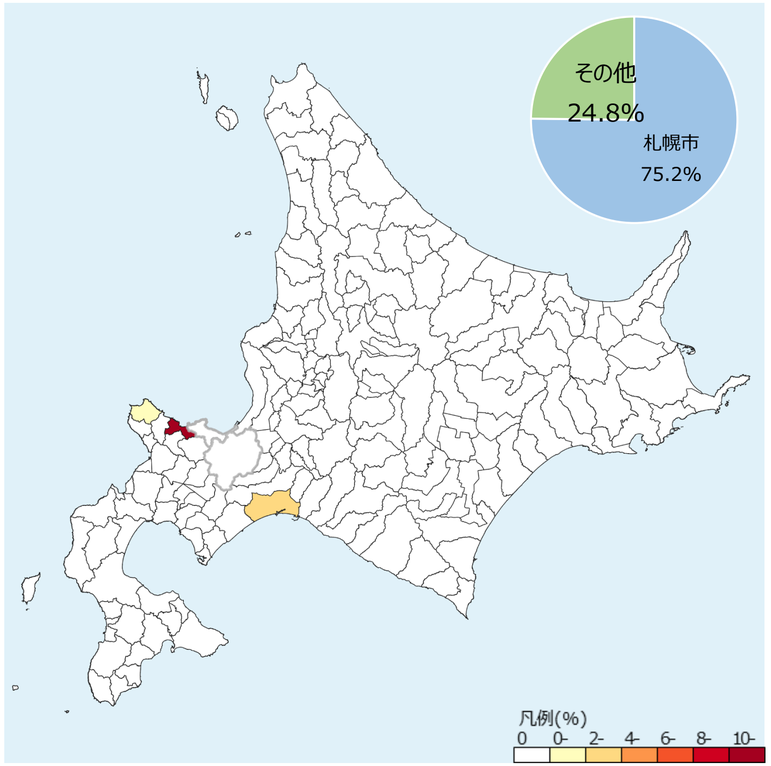
➢ 道全体では小樽・札幌のほか余市との周遊が特に多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈全道〉

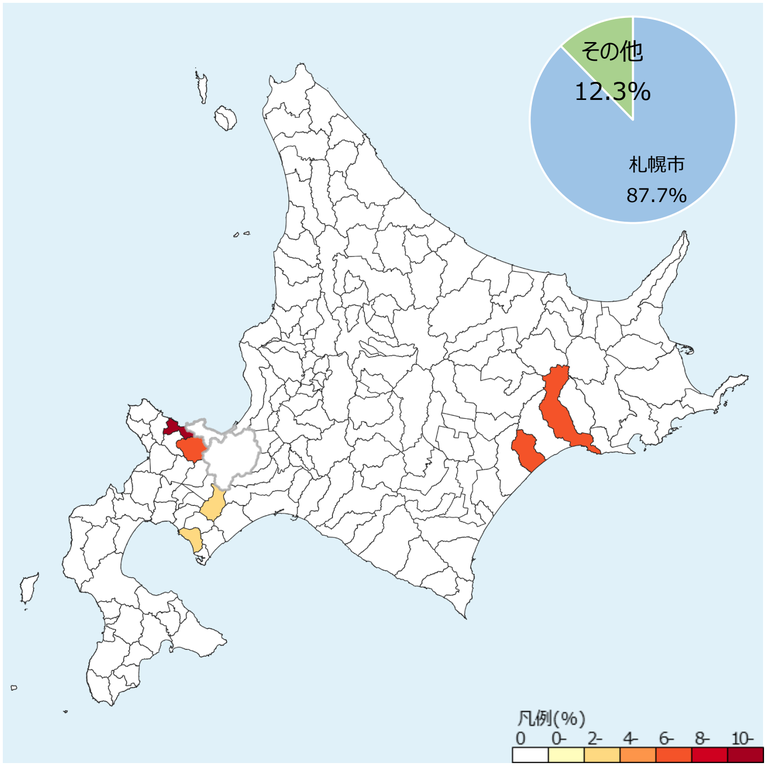
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

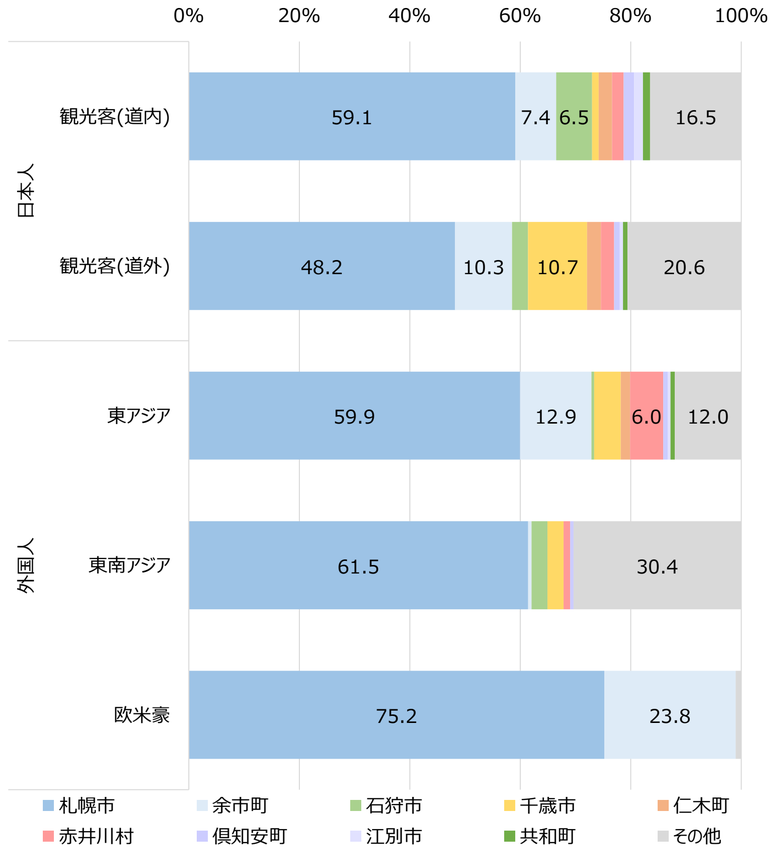
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

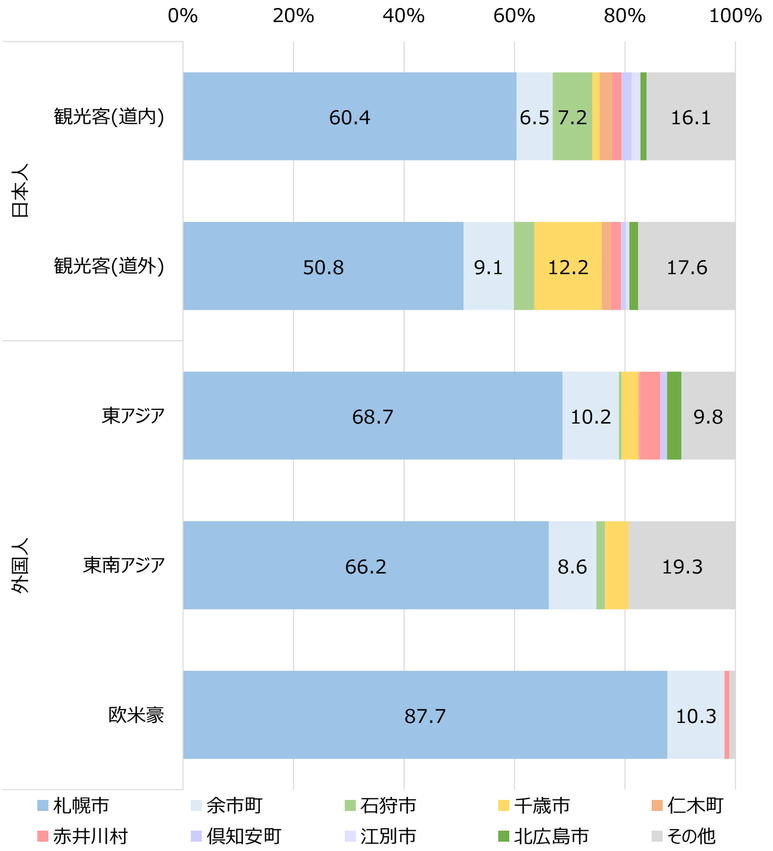
➢ 来訪前/後の周遊先について、インバウンド（特に欧米豪）で札幌市が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈全道〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

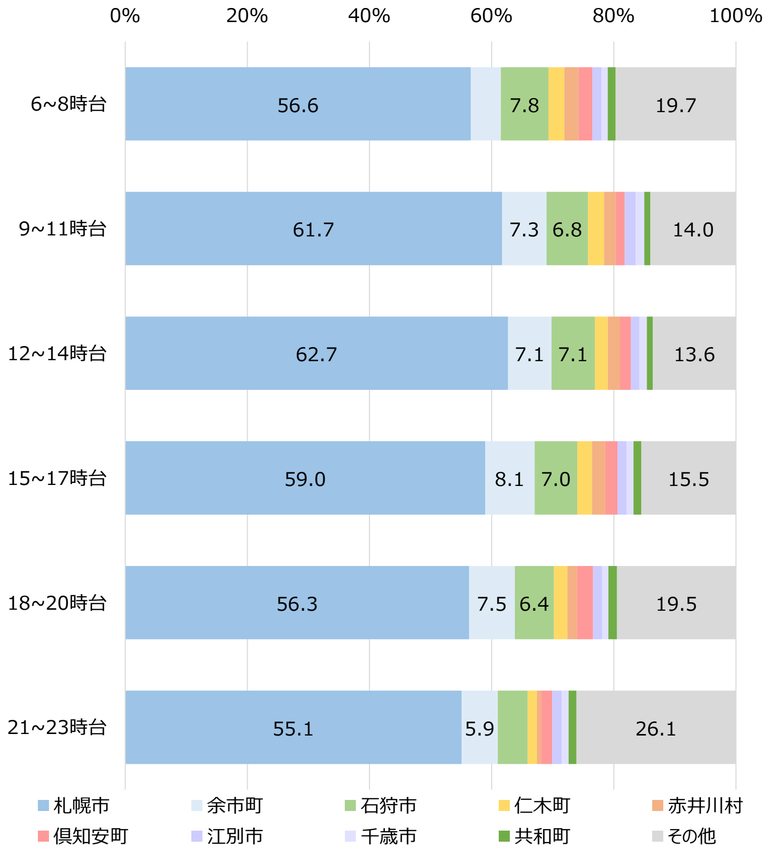
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

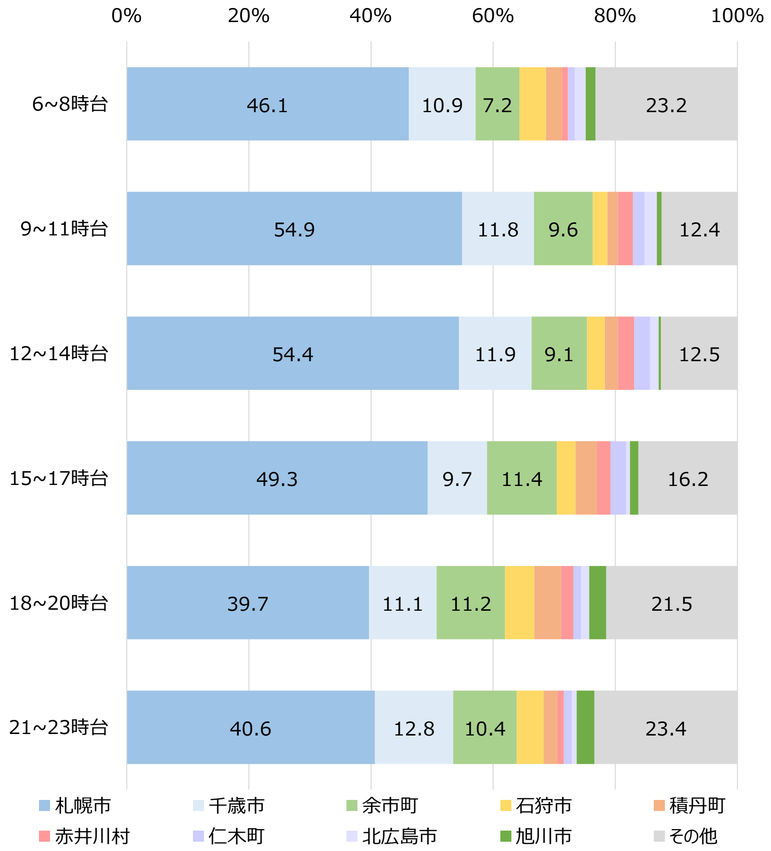
- 道外客は札幌市との周遊が9~11時台に特に多い。千歳市は21~23時台、余市町は15~17時台に特に多い。
- インバウンドは札幌市との周遊が9~11時台に特に多い。余市町は6~8時台、千歳市は18~20時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈全道〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

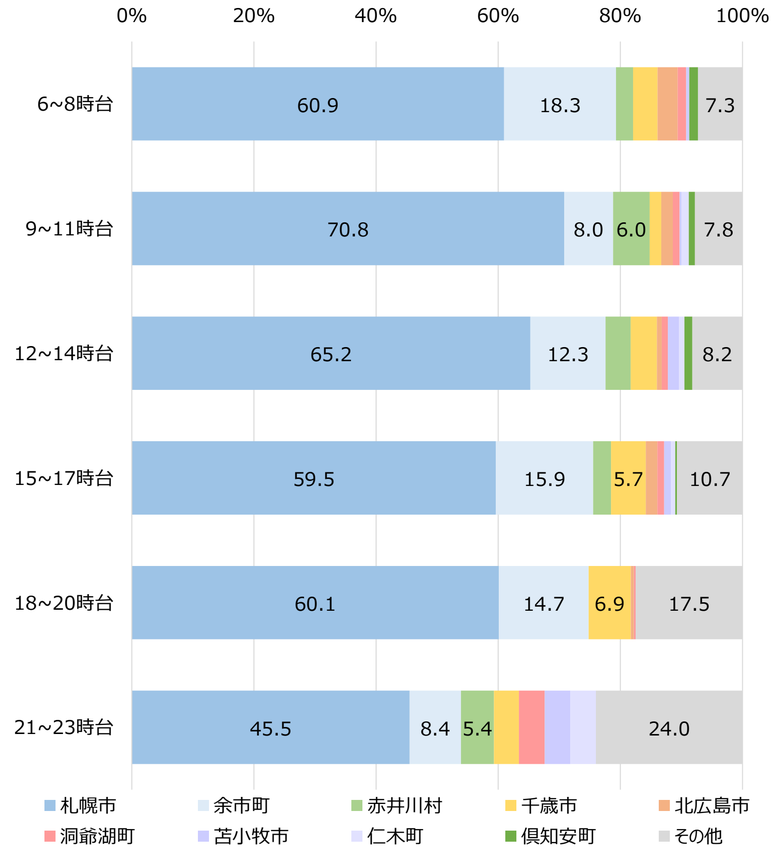
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

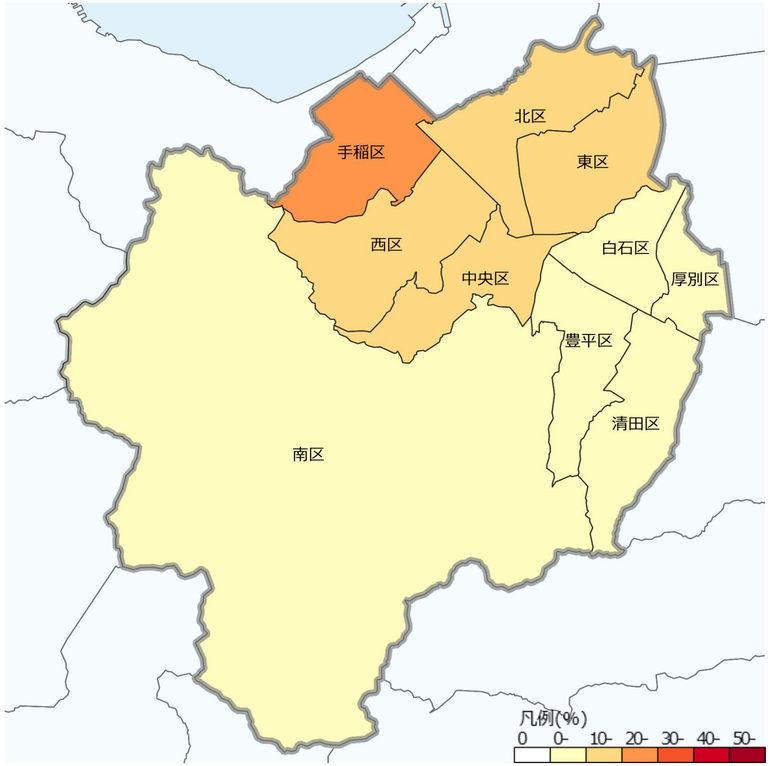
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

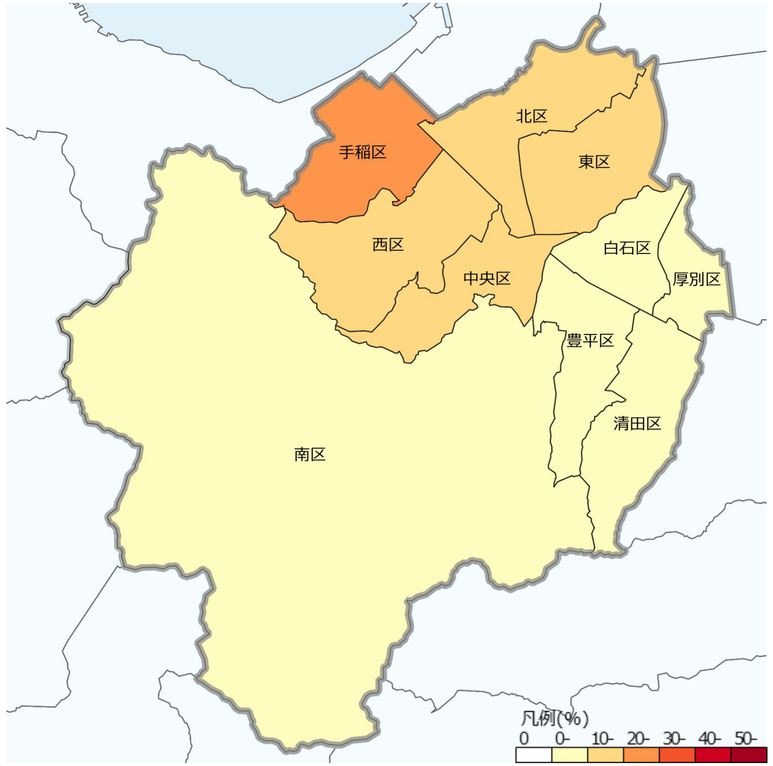
➢ 札幌市との周遊については、手稲区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道内)】〈札幌市区別〉

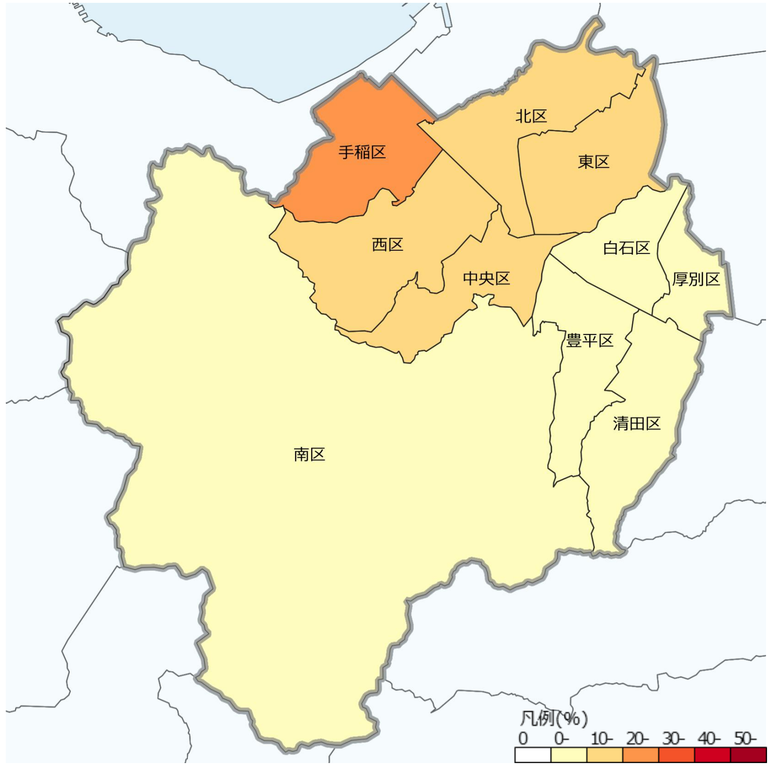
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

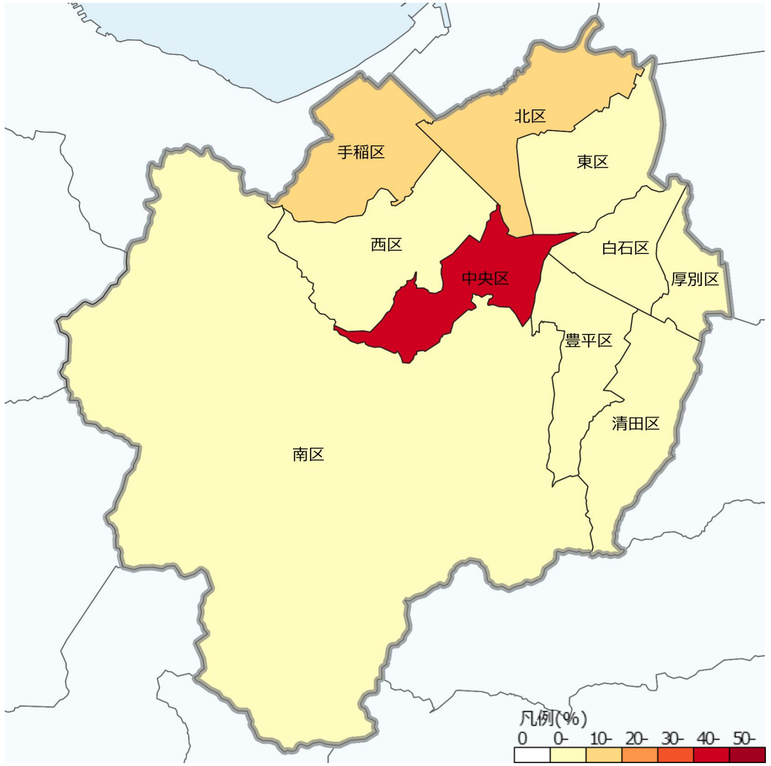
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

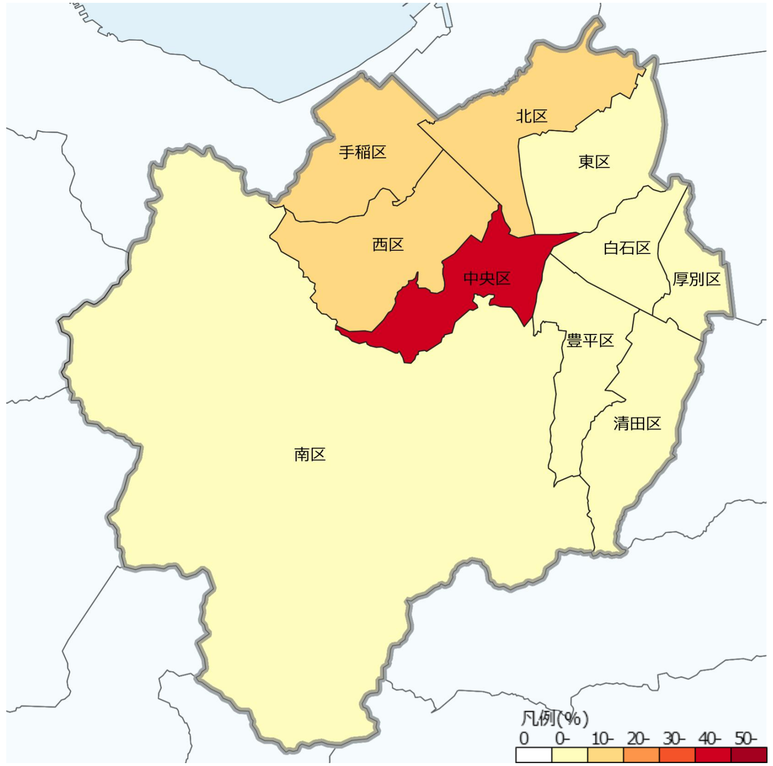
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【日本人観光客(道外)】〈札幌市区別〉

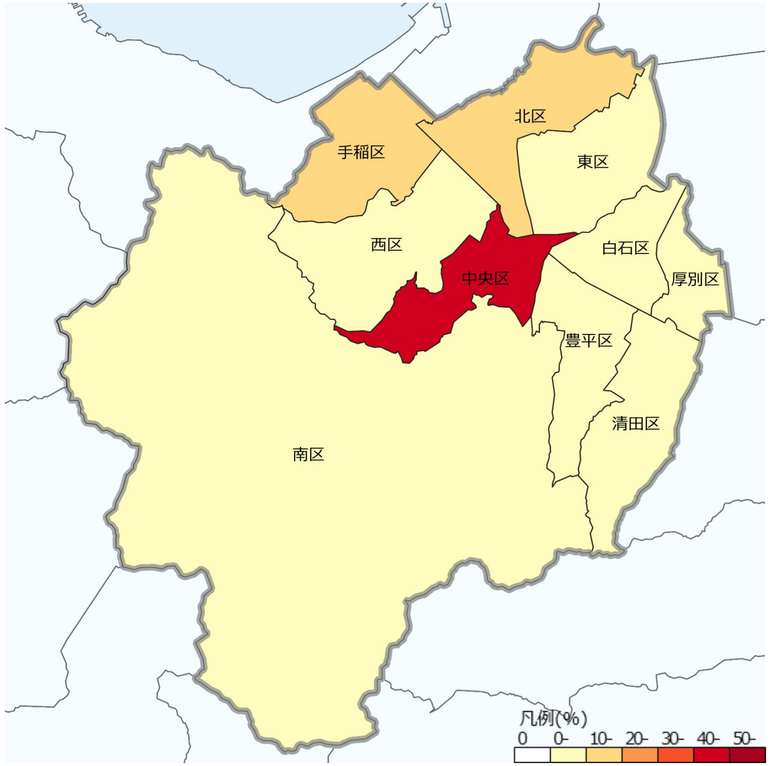
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

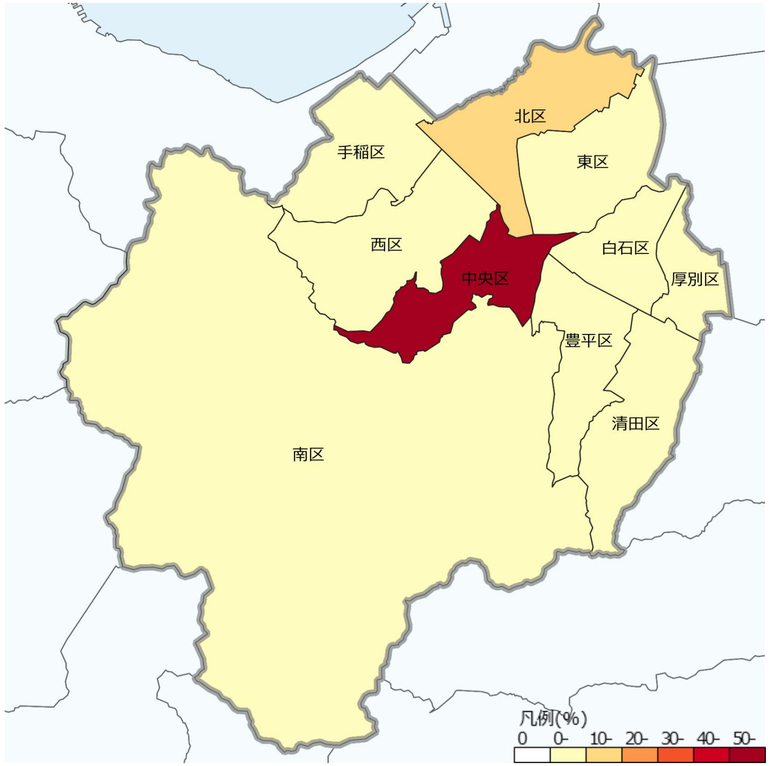
© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

小樽市全域の分析結果（2026年6月）

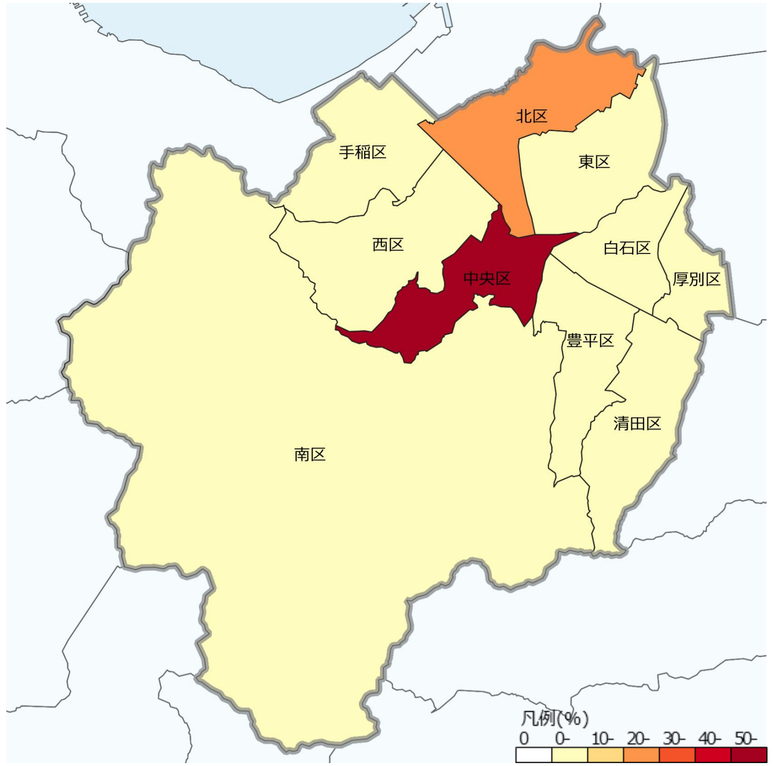
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東アジア】〈札幌市区別〉

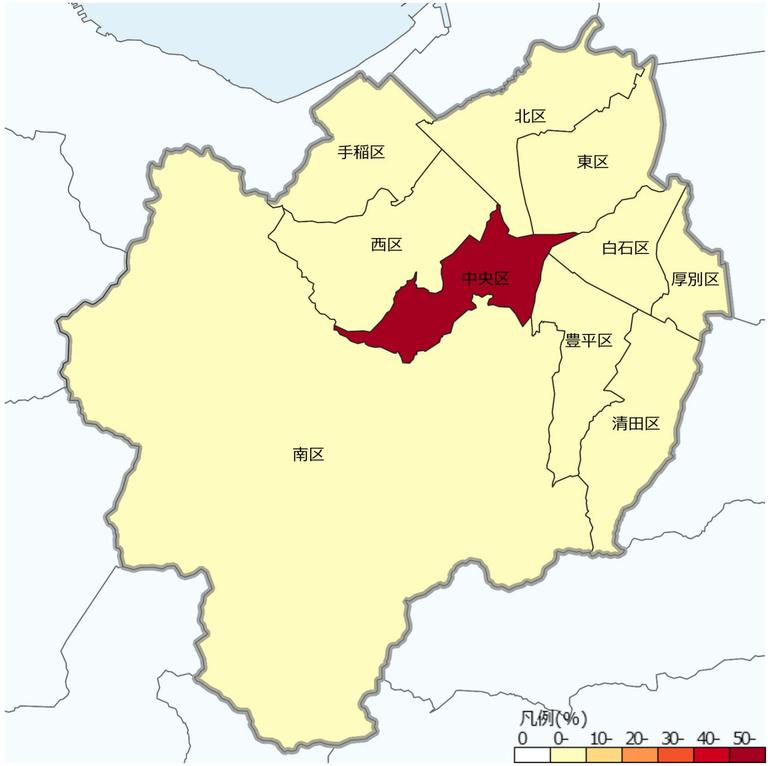
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

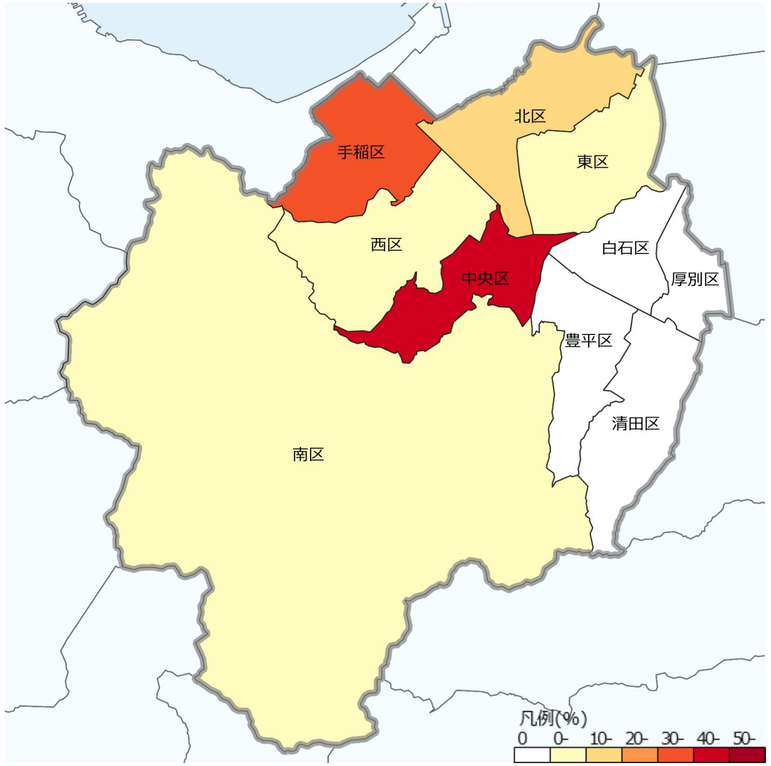
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

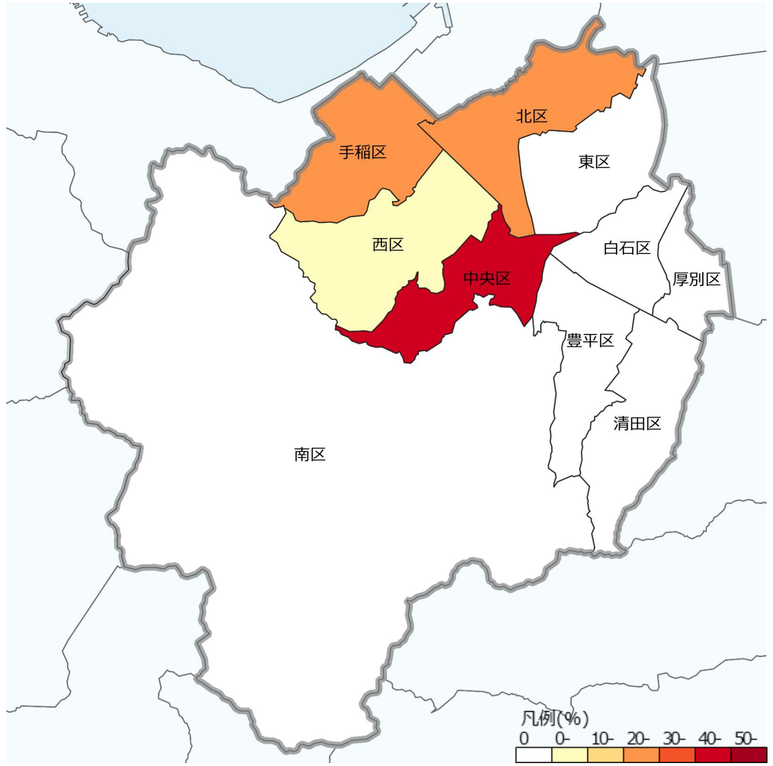
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【東南アジア】〈札幌市区別〉

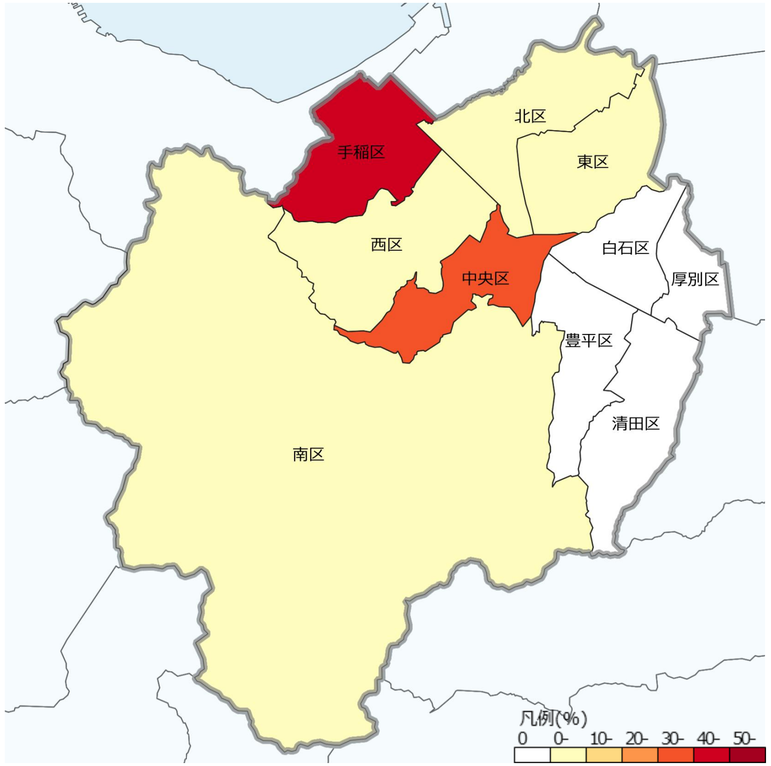
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

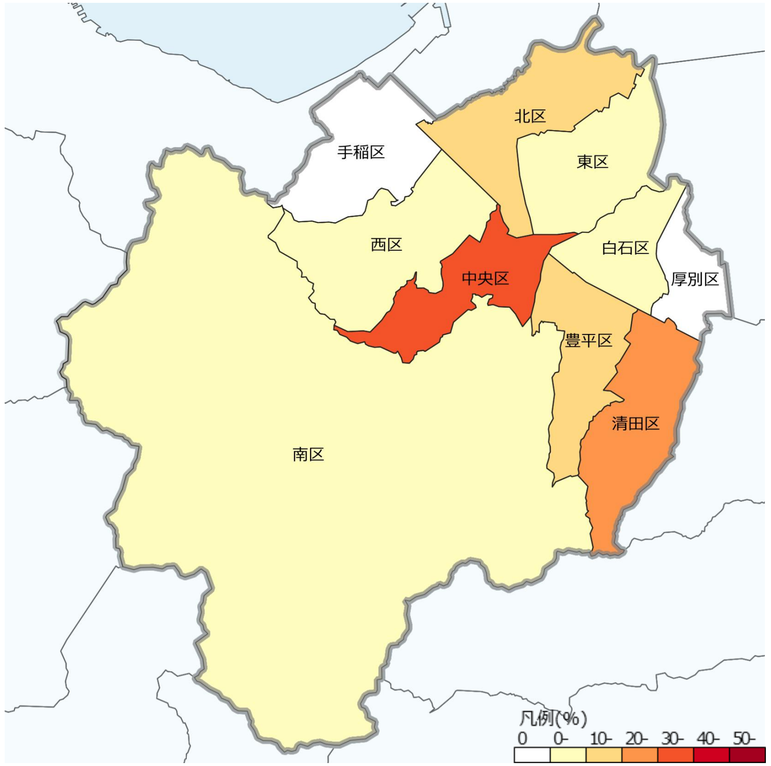
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

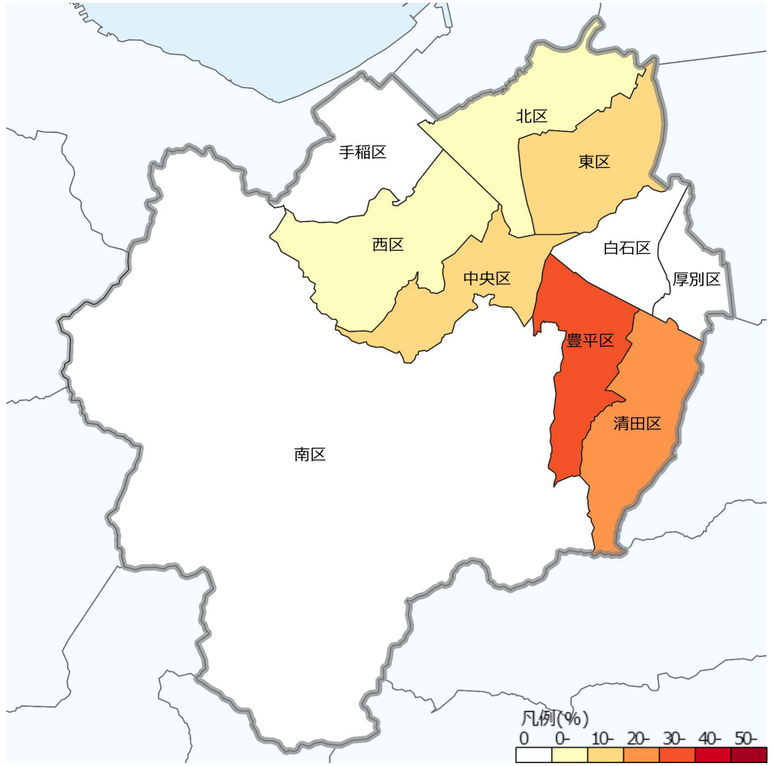
➢ 札幌市との周遊については、中央区が特に多い。

● 周遊先分布 【欧米豪】〈札幌市区別〉

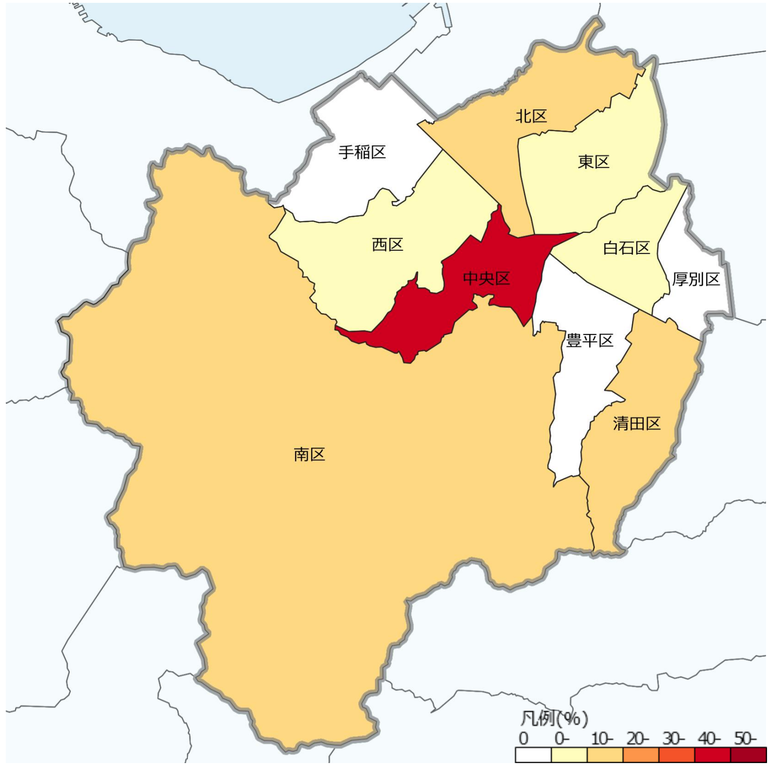
【小樽市来訪**前＋後**合算】



【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※札幌市区別の合計値を100%としている。

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

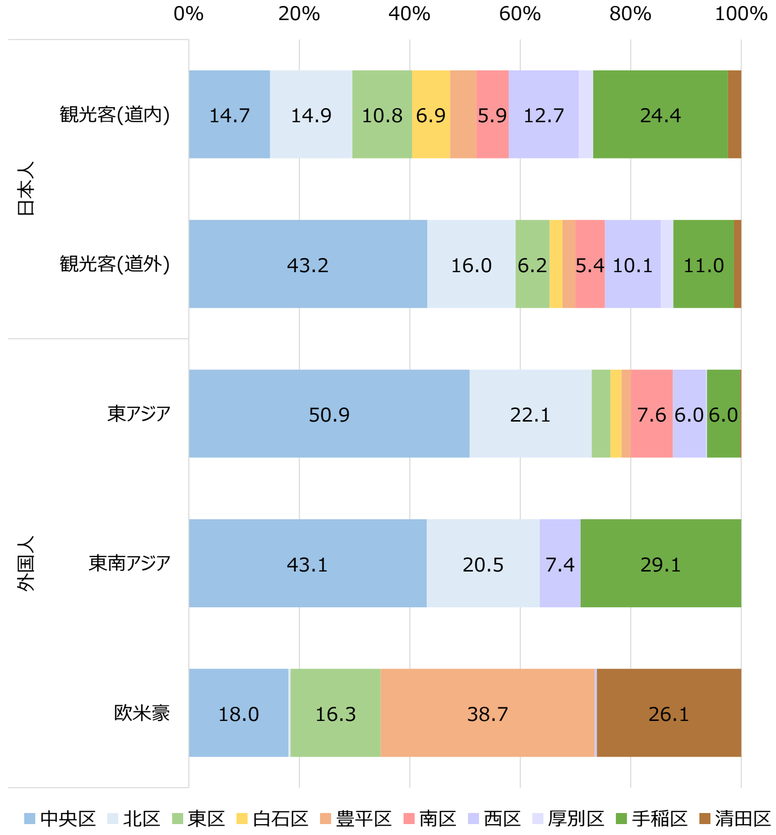
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

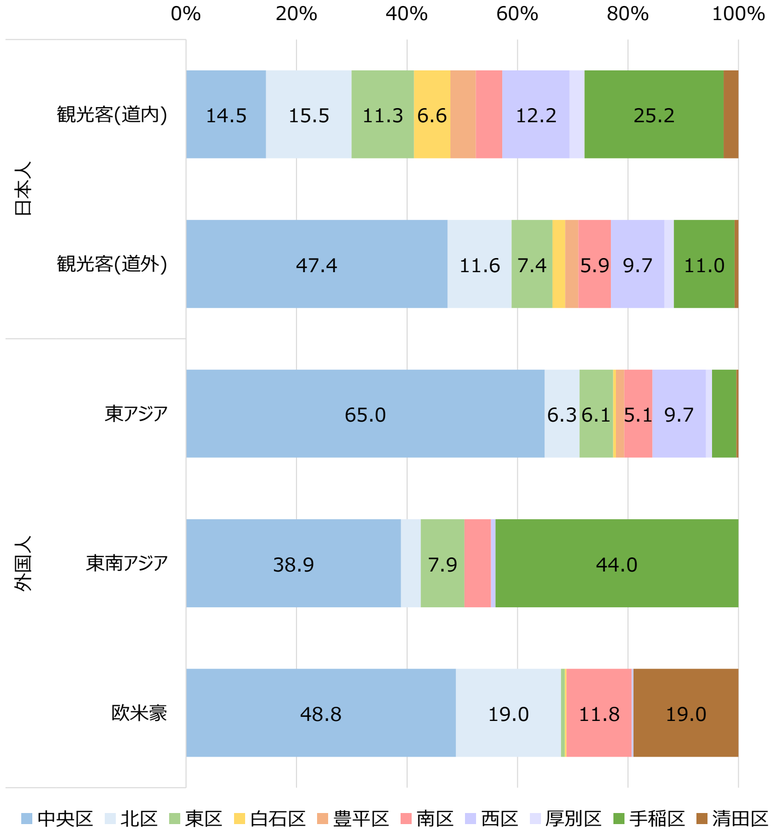
- 来訪前の周遊先について、東アジア・東南アジアは中央区、欧米豪は豊平区が特に多い。
- 来訪後の周遊先について、東アジアは中央区、東南アジアは手稲区、欧米豪は中央区が特に多い。

● 市場×周遊先分布 〈札幌市内〉

【小樽市来訪**前**】



【小樽市来訪**後**】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.

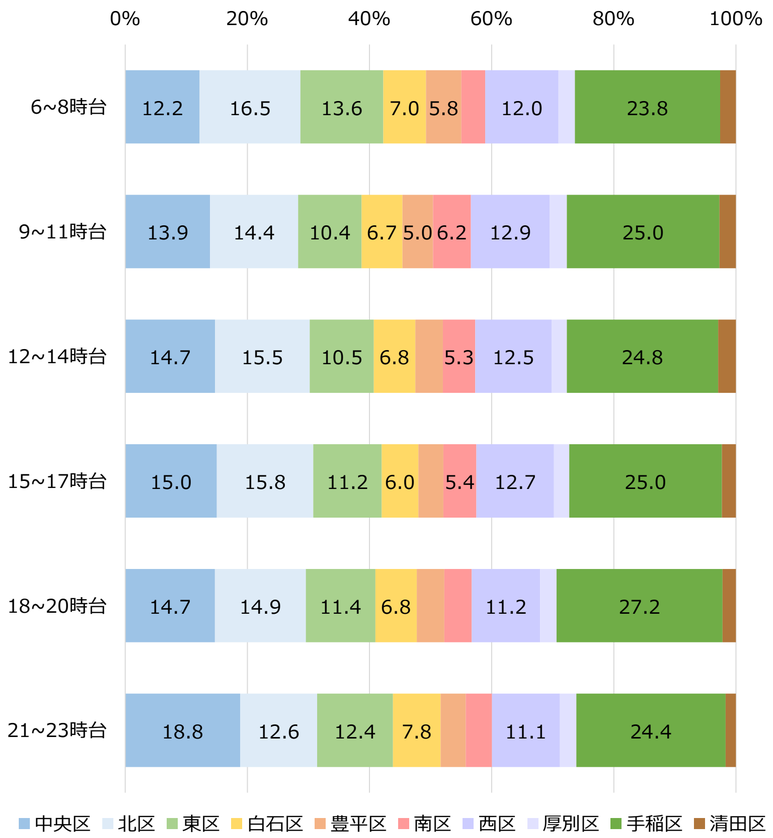
小樽市全域の分析結果（2026年6月）

全国インバウンド統計

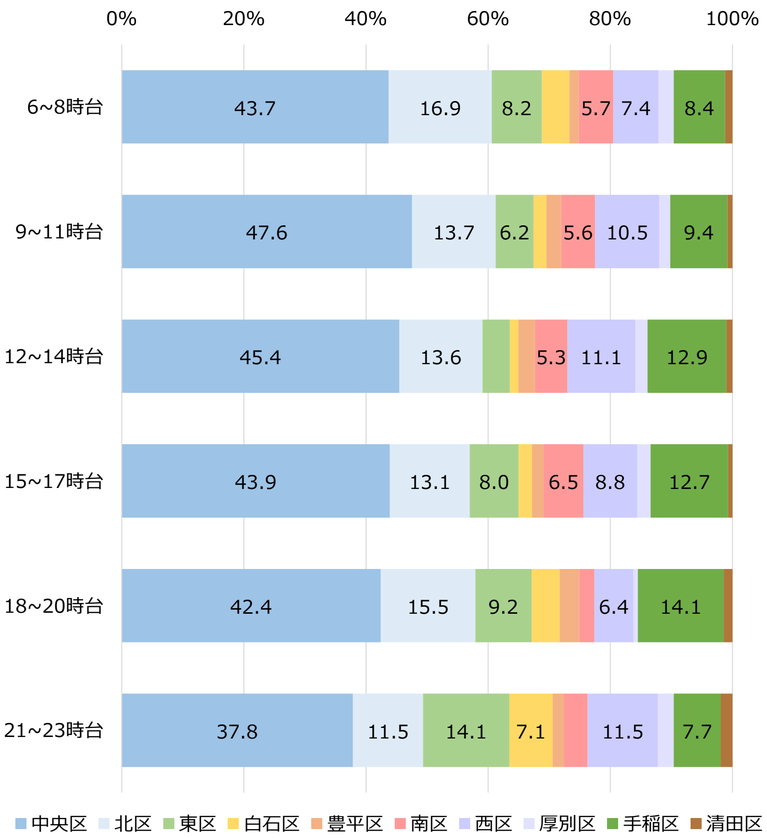
- 道外客は中央区との周遊が平均して4割を占める。北区は6~8時台に特に多い。
- インバウンドは中央区との周遊が21~23時台に特に多い。豊平区は18~20時台、北区は9~11時台に特に多い。

● 来訪時間帯×周遊先分布 〈札幌市内〉【小樽市来訪**前＋後**合算】

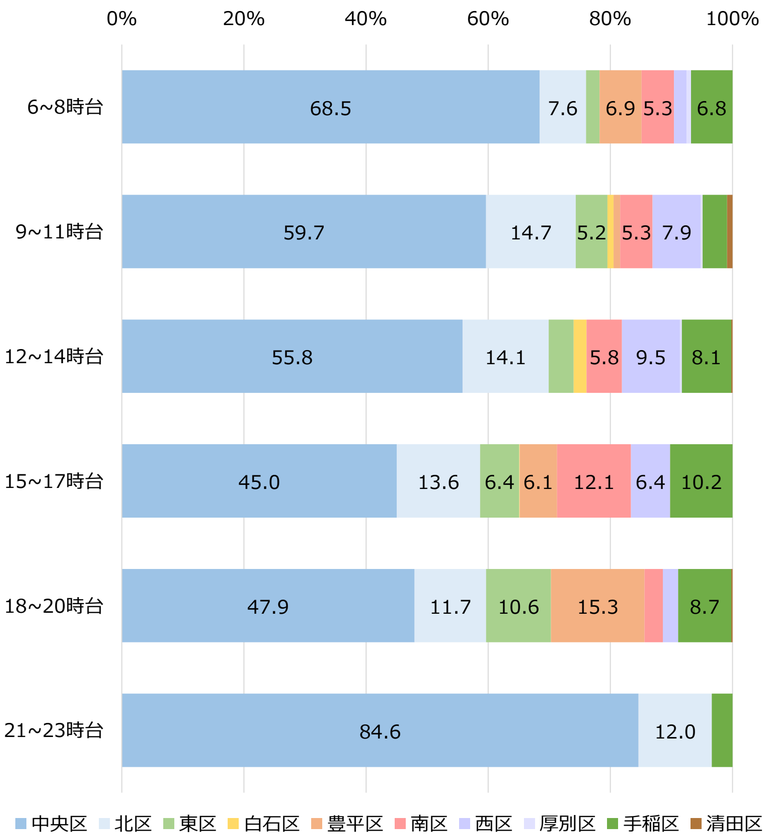
【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



【インバウンド】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

© PACIFIC CONSULTANTS CO., LTD.